



Web Fairy Paradise

第46号

今月のフェアリー詰将棋

- ・ 第 42 回 WFP フェアリー作品展
- ・ 第 54 回 推理将棋出題
- ・ Fairy of the Forest #31
- ・ 背面ばか自殺スタイルメイト詰の紹介

結果発表

- ・ 第 40、41 回 WFP フェアリー作品展
- ・ 第 53 回 推理将棋出題

読み物

- ・ Fairy TopIX2011 お気に入り投票結果
- ・ WFP 作品展番外・アナグラム協力詰(神無七郎)
- ・ WFP 作品展登場ルールのまとめ(30-41 回)
- ・ 太郎さんには内緒だよ(北村太路)



2012/4

はじめに



(新居浜市山根公園の桜)

桜が咲いたと思ったらあっという間に散っていきましたね。気候も暖かく感じられるようになり、プロ野球も開幕して春を感じられるようになりましたが、気が付くと夏が近づいているんでしょう。今年のカーブは強いのか弱いのか未だによく分かりませんが、前田投手がノーヒットノーランを達成するなど話題にはなっているようでまあ楽しめるのではないかと考えております。せめて十何年ぶりのAクラスを期待したいと思います。

さて今月号のWFPですが、Fairy TopIX2011のお気に入り投票結果やWFP作品展の結果発表、読み物など満載でページ数は75ページとなりました。過去最多は2010/4月号の67ページでしたので8ページ更新ということになります。紙ではないのでいくらでもOKなのがWEBの良いところですね。(編集や各担当者の作稿は大変ですが)プリントアウトしてホッチキスの針が届くのが少し心配です。

Fairy TopIX2011の結果は本稿をお読みいただくとして、神無太郎氏の活躍が顕著だった2011年でした。2012年もすでに4ヶ月が過ぎようとしていますが、太郎氏の勢いはまだまだ続いています。すごいエネルギーと言わざるを得ません。同じ年の私も頑張らないといけないなあとつくづく考える次第です。そういえば、2010年度短編の部3位のシン氏が受験が終わり地元大学入学が決まったとのこと。おめでとうございます。復活の時も近そうですので楽しみに・・・。

【募集】

作品

フェアリー作品、PG、推理将棋はそれぞれの投稿先へ投稿下さい。

読み物

フェアリー詰将棋に関するものに限らず日常のことも研究物でも4コマ漫画からパロディ、イラスト、マイベスト10、自己紹介、何でもOKです。

感想

第45号の感想、今後の要望、ご意見等なんでも結構です。是非メールにて私まで

皆様の反応が私の意欲に成りますので是非ご協力をお願いします。

読み物、感想の投稿はこちらまで

たくぼん : takuji@dokidoki.ne.jp

協力いただいている方々のHPアドレス

*ご協力感謝します

妖精都市

<http://www.geocities.jp/cavesfairy/>

詰将棋メモ

<http://toybox.tea-nifty.com/>

詰将棋おもちゃ箱

<http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/>

Onsite Fairy Mate

<http://www.abz.jp/~k7ro/>

K.Komine's Home Page

<http://19900504.web.fc2.com/index.html>

イラスト・素材提供 : 幻想素材サイト First Moon

<http://www.first-moon.com/>

*表紙のイラストを使用させて頂いております。

○	×	○
×	○	○
○	×	×

【三目不並】三目並んだ方が負け

あなたが先手なら初手はどう指しますか？

子供の頃流行ったゲームの一つに「三目並べ」があります。私の地域では「マルペケ」という名前でも知られていました。両者が最善を尽くすと引き分けになることが比較的容易に分かるので、飽きられるのも早いゲームです。

では「三目並べ」のルールを逆にして、三目並べた方が負けとすると、どうなるでしょう？（ここでは仮に「三目不並」と呼びます。）

私がこの疑問を持ったのはかなり昔。フェアリー詰将棋を知った少し後です。先手で引き分けに持ち込む方法は割と容易に分かったので、それ以外の手順は暇なときに調べようと思って放置したまま時間が過ぎ、結局ネットで答えを見つけてしまいました。

結論から言うと「三目不並」は引き分けです。でも、その条件は想像以上に厳しいものでした。初手の選択枝は対称性を考慮して3通りですが、負けたくなければ初手中央が絶対で、それ以外の場所に置くと負けです。元の「三目並べ」が、初手どこに置いても「引き分け」だったのに比べると、ずいぶん厳しいですね。「次の手番から本気出す」という手抜きができないとは……

ただ、引き分けに持ち込む戦略自体はとても簡単です。初手中央に着手し、後は相手の手の点対称に置く「マネ碁」で構いません。これでは「三目不並」が流行らないのも当然です。

では「三目不並」を3×3の盤ではなく、もっと大きな盤で行ったらどうでしょう？ これなら「マネ碁」の戦略は採れません。

「三目並べ」の一般形、m×nの盤でk目並べたら勝ちというゲームはかなり研究されており、その成果は Wikipedia で見ることができます (<http://en.wikipedia.org/wiki/M,n,k-game>)。ここには様々なm n kでの調査結果や、後手の必勝法がないこと、それを証明する「Strategy stealing argument」という不思議な論法の説明などが書かれています。

これほど充実した記事なら「三目不並」についても書いてあるかも…と思ったのですが、こ

のページやそのリンク先 (http://weijima.com/index.php?option=com_content&view=article&id=11&Itemid=15) では、筋か段が偶数の盤で後手が引き分けに持ち込めることや、1×n盤の「二目不並」の結果など、部分的な結果の記載に留まっていた。「三目並べ」の世界でもフェアリーは日陰者なのです。また、「三目不並」は *misère tic-tac-toe* と呼ばれるそうですが、このネガティブな名称もフェアリーらしいですね。

付け加えると「n目並べ」や「n目不並」で詰将棋に相当するものも見つかりませんでした。日本ではかろうじて「詰め連珠」がありますが、この種のゲームが勝敗だけに関心を持たれる状態を越え、創作・出題・解答・鑑賞・評価等の活動を伴う「文化」となるのは、例外的な出来事なのでしょう。詰パラで「虫食算」が定期出題されたり、カピタンで「詰ロードランナー」の記事が載ったりした前例もあります。もし「詰三目不並」や「推理三目不並」が投稿されれば WFP 作品展でも出題したいと思います。

少し雑談が長引いてしまいました。そろそろ3×3の世界から、9×9の世界に戻しましょう。今回の出題作の説明です。

今回は出題数が多いこと、難問が多いこと、更に **Fairy of the Forest #31** と重なることを考慮して、出題をAコースとBコースの2つに分け、Bコースの方の締切を長めに設定しました。難度は担当の主観なので、コース分けや出題順に関係なく、自分が解けそうに思う問題から解いてください。

[各題への補足説明]

42A-1 は3解を求める問題です。ただ、解答成績は1解1点で計上しますので、3解すべて見つけられなくても、解答をお寄せください。

42A-2 は「打歩」条件が先後双方に再帰的に適用される「完全打歩」の設定です。

42A-3 から 42A-5 及び 42B-3 はKマドラシのシリーズ物。本来は一緒に出題したかったのですが、やむを得ず分離しました。表記上 42A-4 はKの付かないマドラシですが、これは単玉であるためKが付いていないだけで、実質的には同じルールです。シリーズ最後の 42B-3 は駒数が拡張され攻方には桂 25 枚、受方には無限の持駒が与えられています。一見難しそうですが、「矢絰」の命名が大きなヒントになるでしょう。

42A-6,7は「受方持駒制限」があります。「成禁」の条件にも注意して解いてください。

42A-8は手数が長いですが、担当の主観的難度によりAコースに置きました。収束がちょっと難しいかも。

42B-1と42B-2は42A-1と同時の投稿ですが、かなり難しそうなので、Bコースに置きました。すぐに解けそうになれば42A-1で感覚を慣らしてから取り組んでみてください。

42B-4はFairy of the Forest #31のお題「ルントラウフ」に協賛しての出題。駒が同じ場所を行ったり来たりする手順をお楽しみください。(今回の出題には他にも地味に「ルントラウフ」になっている作品があります。)

解答要項

解答締切：Aコース 2012年5月15日(火)
Bコース 2012年6月15日(金)

宛先：janacek789@ybb.ne.jp

メールの件名に「解答」の語句を入れてください。

作品投稿について

作品投稿は随時受け付けます。(原則として毎月15日の投稿まで当月号に掲載します。)宛先は解答と同じjanacek789@ybb.ne.jpへ。メールの件名に「作品投稿」の語句を入れてください。添付ファイルも可。f m検討済みなら.fmo形式のファイル添付を推奨します。

ルール説明

【背面】

敵駒と背中合わせになったとき、互いに利きが入り替わる。

【協力自玉スタイルメイト】

先後協力して最短手数で攻方をスタイルメイト(王手は掛かかっていないが合法手のない状態)にする。

【対面】

敵駒と向かい合ったとき、互いに利きが入り替わる。

【打歩】

打歩詰以外の詰手を禁手とする。これは先後双方に再帰的に適用される(完全打歩)。

【協力自玉詰】

先後協力して最短手数で攻方の玉を詰める。

【(K)マドラシ】

同種の敵駒が互いの利きに入ると、利きがなくなる。玉も互いの利きに入ることができ、互いの玉の利きがなくなるものを「Kマドラシ」と呼ぶ。

生駒と成駒は別種の駒として区別する。

【安南】

味方の駒が縦に並ぶと、上の駒の利きは下の駒の利きになる。

【成禁】

手順中に成る手があってはならない。

【安北】

味方の駒が縦に並ぶと、下の駒の利きは上の駒の利きになる。

【持駒：∞】

指定駒を無限に持っていることを示す。

指定が特でない場合は、全種類の駒を無限に持っていることを示す。

【推理将棋】

将棋についての会話をヒントに将棋の指し手を復元する。

《Aコース》

■ 42A-1 小林看空氏作

背面協力自玉スタイルメイト 6手(3解)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
				王					二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
王									九

持駒 角

■ 42A-2 北村太路氏作

対面打歩協力自玉詰 10手

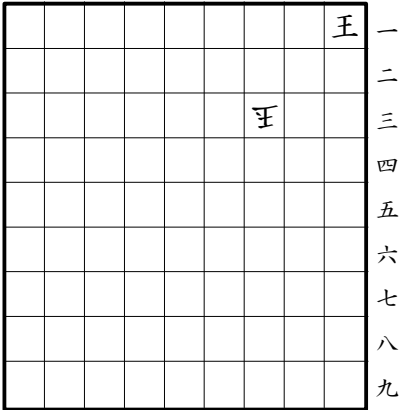
9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
				王					五
									六
									七
									八
			王						九

持駒 角

■ 42A-3 神無太郎氏作

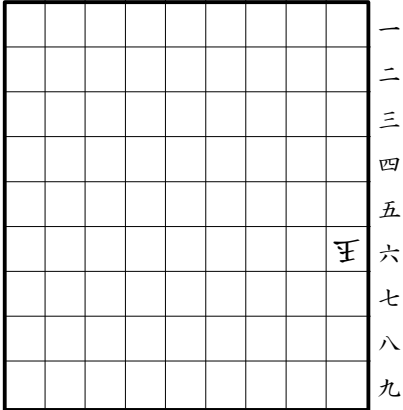
Kマドラシ協力自玉スタイルメイト 12手
9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 桂4

■ 42A-4 神無太郎氏作

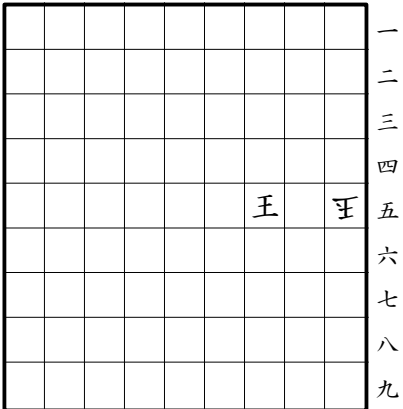
マドラシ協力自玉スタイルメイト 14手
9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 桂4

■ 42A-5 神無太郎氏作

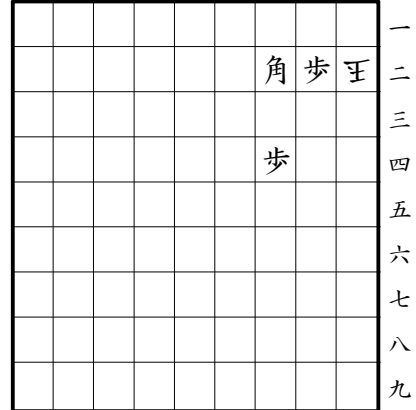
Kマドラシ協力自玉スタイルメイト 16手
9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 桂4

■ 42A-6 たくぼん氏作

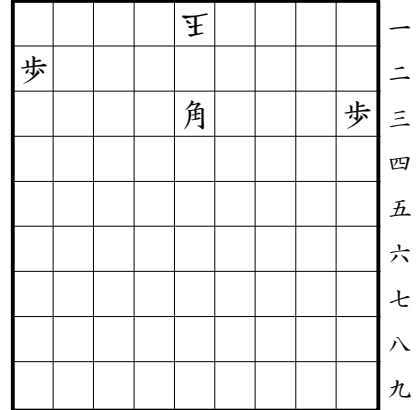
安南成禁協力詰 23手
9 8 7 6 5 4 3 2 1



攻方持駒なし
受方持駒なし

■ 42A-7 たくぼん氏作

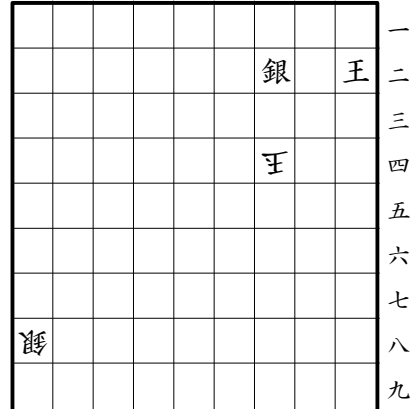
安南成禁協力詰 29手
9 8 7 6 5 4 3 2 1



攻方持駒なし
受方持駒なし

■ 42A-8 変寝夢氏作

安北協力自玉詰 34手
9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 なし

■ 42B-1 小林看空氏作

背面協力自玉スタイルメイト 14手
9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
			王						四
									五
王									六
									七
									八
									九

持駒 銀

■ 42B-2 小林看空氏作

背面協力自玉スタイルメイト 20手
9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
			王	王					八
									九

持駒 桂2 香

■ 42B-3 神無太郎氏作

命名『矢絰II』
Kマドラシ協力自玉スタイルメイト 52手
9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
								王	三
									四
									五
									六
王									七
									八
									九

攻方持駒 桂25

受方持駒 ∞

■ 42B-4 一乗谷酔象氏作

推理将棋『狭い所で長期戦』

「昨日、奇妙な将棋を見たよ。金の手を指した
2手目以降の着手は四カ所だけ、それも縦2
マス横2マス、ある2×2の範囲内だけだっ
た」

「へえ、それは珍しい。そんな狭い所だと、す
ぐに決着がついたんだろうね」

「いや、狭い所でも激しい攻防が長く続いた
よ。駒を打った場所は1カ所だけだったけど、
駒を打った2手後は必ず、駒打ちのあった場
所の隣の筋に着手していたね」

「へえ、何手で詰んだの」

「たしか63手目に駒を打って詰みだったよ」

「そりゃすごい。でも、千日手模様じゃなかつ
たかい？」

「いや、先手の着手の棋譜はダブっていなかつ
たし、同一局面もなかったよ」

条件：

- 1) 63手目に駒を打って詰んだ
- 2) 2手目は金
- 3) 2手目以降はある2×2の範囲内の四カ所
の着手のみ
- 4) 駒を打った場所は1カ所だけ
- 5) 駒を打った2手後は必ず、駒打ち場所の隣
の筋に着手
- 6) 先手の着手に（棋譜表記上）重複なく、
同一局面もなし

以上



推理将棋第54回出題 担当：DD++

将棋についての会話をヒントに将棋の指し手を復元するパズル、推理将棋の第54回出題です。はじめての方は

どんな将棋だったの？ - 推理将棋入門

(http://toybox.tea-nifty.com/memo/2007/05/post_53f2.html) をごらんください。

解答、感想はメールで2012年4月20日までに TETSU まで (omochabako@nifty.com) メール の 題名 は 「推理将棋第54回解答」 でお願ひします。

推理将棋第54回出題 担当 DD++

さて新年度です。このところ難問が続いていましたが、さすがに今月は入門向けということで、優しめかつ基本的な問題をどうぞ。

初級は山葵茶漬けさんのリベンジ。洗練された問題よりもとっつきやすい問題を目指した問題。中級はベテラン渡辺さんから、考えやすいながらもちょっと変わった手触りの問題。上級ははなさかしろうさん、スイリストならぜひとも知っておきたい詰み形の問題です。

■練習問題

「さっきの将棋、▲76歩△34歩▲22角成△62玉▲33馬△72玉まで見てたけどどうなった？」

「9手で詰んだよ、って言えば残りの3手は分かるよね」

さて、残りの3手はどんな手だったでしょうか。

■本出題

54-1 初級 山葵茶漬けさん作

五段目の鉄砲隊 9手

駒打ちという条件が初級用の大ヒント。

54-2 中級 渡辺秀行さん作

一つの銀へのこだわり 10手

事実上先手1手に後手5手。これで作れる詰み形は？

54-3 上級 はなさかしろうさん作

飽きっぽい倉庫番 10手

後手が攻めに使える駒はさて何でしょう。

■締め切り前ヒント (4月16日 DD++)

締め切り前ヒントです。

初級：33まで上がってきた後手玉の24と44への逃げ道を駒打ち一発で両方シャットアウト。

中級：狙うべきは不動金。取った後に金の打ち場所が空いているのはどっち？

上級：69にいる玉を馬1枚だけで詰ませます。さて先手はどういう陣形をとればいいでしょう。

54-1 初級 山葵茶漬けさん作

五段目の鉄砲隊 9手

「しまった、8手目に金を動かしたら25桂と打たれて9手で詰んでしまった！」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・9手で詰んだ
- ・8手目は金の手
- ・9手目は25桂と打った

54-2 中級 渡辺秀行さん作

一つの銀へのこだわり 10手

「昨日の将棋、君は一つの銀を沢山動かしたんだって？」

「うん、しかも4回目に動かした先は初期配置の位置なんだよ」

「そんなことやってるから10手で詰められるんだよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・10手で詰んだ
- ・先手のある銀が4回目に動いた先は初期配置の位置であった。

54-3 上級 はなさかしろうさん作

飽きっぽい倉庫番 10手

- 「なんだなんだ。また散らかってるな」
- 「こっちはいつも通りきちんとしてるよ」
- 「仕事ほったらかしでまた二人して将棋してたな。日誌にメモが残ってる」
- 「どれどれ。角の手3回、歩を突いたのは6手目の一度だけだって」
- 「2手目と7手目は同じ種類の駒か。10手で詰んだみたいだ」
- 「将棋に性格が表れるんならどっちが勝ったか一目瞭然だね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・ 10手で詰んだ
- ・ 角の手が3回あった
- ・ 歩を突いたのは6手目の一度だけ
- ・ 2手目と7手目は同じ種類の駒

練習問題解答

問題以下、▲51馬△52金右▲61角まで。

最後に一段目の角打ちで詰む非常に珍しい手順です。51馬のような実際の将棋では絶対にありえない攻め、52金右のような実際の将棋では絶対にありえない守り。推理将棋を解くにはこういう思い切った手の可能性を考えることが肝要です。

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	桂	銀	角	馬	金	銀	科	科	皇	一
	飛	王		金						二
歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	歩	三
							歩			四
										五
		歩								六
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
							飛			八
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香		九

持駒 なし

Fairy of the Forest #31出題

- 2012年02月20日：課題発表：(協力詰) 回転 (レントラウフ)
- 2012年04月15日：投稿締切
- 2012年04月20日：出題
- 2012年05月15日：解答締切
- 2012年05月20日：結果発表

■ 出題

今回の課題は「回転型レントラウフ」とすべきでしたね。小峰耕希さんからドイツ語の意味を教えてもらったのですが、それから、レント rund は英語の round、ラウフ lauf は英語の run に相当すると解釈して、「ぐるっと回って戻って来る」と推測したのですが、実際は「回らなくても戻ればよい」のですね。だから「レントラウフ」の「回転型」とすべきでした。一応訂正しておきます。

若干の勘違いはあったものの、課題作の集まり具合は好調で、最終的には 10 題を超える盛況となりました。投稿者の皆さんに感謝します。

内訳は北村氏から 5 題！、七郎氏・変寝夢氏、それに私から各 2 題、看空氏・もず氏から各 1 題です。短編から長編まで、容易作から難解作まで、色とりどりで楽しめると思います。

1 題でも解けた方は、下記まで解答・感想をお寄せください。「受方持駒なし」の作も含まれていますので、ご注意ください。

(解答先)
→酒井博久 (sakai8kyuu@hotmail.com)

■ 31-01 北村太路 協力詰 7手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
										三
			皇	皇				馬		四
飛								馬		五
	歩		歩	歩	護					六
		入	王				入	歩		七
		歩								八
				香						九

持駒なし

■ 31-02 変寝夢 協力詰 9手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
						歩				三
						入	銀			四
				料						五
				王						六
		歩								七
				歩		桂				八
			桂		桂					九

持駒なし

■ 31-03 北村太路 協力詰 9手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
								皇	料	三
								歩	王	四
								料	進	五
								銀	歩	六
							桂			七
									桂	八
									香	九

持駒なし

■ 31-04 神無八級 協力詰 11手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
										三
										四
								王		五
									歩	六
						歩	歩			七
										八
										九

持駒 銀

■ 31-05 もず 協力詰 11手

								歩	
								歩	
王								王	
飛								歩	
								馬	
王									

持駒 銀

■ 31-08 神無八級 協力詰 15手

								歩	
						銀			
						歩	王		
						桂	桂		
							歩	歩	

持駒 金

■ 31-06 変寝夢 協力詰 13手 (受方持駒なし)

持駒 なし

■ 31-09 神無七郎 協力詰 27手 (受方持駒なし)

持駒 なし

■ 31-07 小林看空 協力詰 13手

持駒 なし

■ 31-10 北村太路 協力詰 27手

持駒 なし

■ 31-11 北村太路 協力詰 41 手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

				將					一
			歩	歩	歩				二
		歩		桂	銀	歩	金		三
	歩			桂			歩		四
歩		角	桂	王	皇	龍	王		五
				香					六
	桂	香		香			香	香	七
	香	香	香		香	將			八
				香					九

持駒 歩

■ 31-12 神無七郎 協力詰 83 手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
將	香	香	香	將	香	將	將	香	五
皇	皇	歩	歩	歩	歩	香	金	金	六
飛				龍			桂	金	七
王			桂			桂		角	八
	香					王	角		九

持駒 なし

■ 31-13 北村太路 協力詰 117 手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
飛		銀	銀			銀			三
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	桂	四
							王		五
	皇		皇		皇		桂		六
	入		入		入	飛	入		七
香	香		香		香		香	桂	八
	香	皇	香	將	香	皇	香	香	九

持駒 歩

第40回WFP作品展11 及び 第41回WFP作品展結果 担当:神無七郎

今月は第40回11番と第41回の結果発表です。結果から言うと40-11は解答者ゼロ、第41回は下記の通りの成績でした。

〔第41回WFP作品展解答成績〕(敬称略)

○：正解 ー：無解 ×：誤解

解答者名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
一乗谷酔象	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9
たくぼん	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9
神無太郎	○	○	○	○	○	○	○	ー	ー	8
小峰	○	○	○	○	ー	ー	ー	○	ー	5
変寝夢	○	○	○	○	ー	ー	ー	ー	ー	4
DD++	○	○	○	×	ー	ー	ー	ー	ー	3

全解者は一乗谷氏とたくぼん氏のお二人。いつもは出題専門の神無太郎氏からも解答をいただきました。解答のなかった40-11は、次号でヒントを付けて再出題したいと思います。

作品の方では残念ながら41-9に余詰発生。比較的紛れが少ない作だと思っていただけに、意外でした。基本的に担当は検討を行いません(たまたま気付けば別です)ので、機械検討ができない作品の場合は、作者の皆様には万全を期して検討を行われるようお願いいたします。

なお、今回の結果稿に入る前に38-11の改作案の解答を掲載します。解答募集はしませんでした。本来ならWFP43号に解答を掲載するはずでした。どうも最近、忙しさに紛れてミスが増えています。不手際をお詫びすると共に、ここに改めて問題文と解答を掲載したいと思います。

■ 38-11 改 一乗谷酔象氏作

推理将棋『王手4回のスタイルメイト』

博士「君も腕を上げたな。今度は私が先手番でいいね」

助手「はい。では。お願いします」

・・・29手目先手の着手の後、
30手目後手の手番で・・・

助手「負けました。

まだ、詰まされていないけど後手に指す手がないから仕方ありません。

12手目に歩を突いたところではまだま

だと思ったんですけど・・・25手目に馬で取られた駒を三段目に打たれた4回目の王手ですっかり参りました。

私のどの手が悪かったのでしょうか」

博士「2手目と8手目に香の手を指した序盤が甘かったね。」

さて、王手4回のスタイルメイトとはどのような将棋でしょうか？

二人の会話を元に推理してください。

条件

- 1) 29手目を指した局面がスタイルメイト (30手目の後手番で指す手がない)
- 2) 2手目と8手目は香の着手
- 3) 12手目は歩の着手
- 4) 25手目は馬で取った駒を三段目に打つ手で4回目の王手だった

【解答】

76歩 92香 33角成 42金 22馬 14歩
21馬 13香 31馬 33金 53馬 84歩
63馬 34金 73馬 42玉 82馬 33玉
93馬 24玉 71馬 15玉 95飛 85歩
33角 24金 61馬 93桂 43馬 まで 29手

(最終形)

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
										一
皇										二
科						馬	角	香	皇	三
								香	香	四
飛	香								王	五
		歩								六
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
								飛		八
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香		九

攻方持駒金銀2桂歩6

受方持駒なし

【解説】

原作は38-11「至高のスタイルメイト」。

最終形は原作と同じ。

原作では「21手目が初王手」という条件を付け、王手を避ける手順を選ばせて手順を限定していましたが、この改作は逆に、王手を積極的に指させることで、手順を限定しています。

題名が 40-11 「生駒王手 4 回のスタイルメイト」にとっても良く似ていますが、命名のシリーズ性も作者は意識しているのかもしれませんが。40-11 は次号で再出題の予定ですが、題名が似ているからといって詰上りも似ていると思いませんようご注意ください。

《第 40 回 WFP 作品展出題分》

■ 40-11 一乗谷酔象氏作 (正解者なし)

推理将棋『生駒王手 4 回のスタイルメイト』

☆ 本作は解答者ゼロでした。作者ご本人は 40-11 について「40-7,40-8,41-5,41-8の方がずっと難しいと感じました」と仰っていますが、作者の感じる難度と解答者の感じる難度の違いでしょうか。本作は次号にて、ヒント付きで再出題します。

《第 41 回 WFP 作品展出題分》

■ 41-1 変寝夢氏作 (正解 6 名)

二玉詰 5 手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
		龍				龍			二
				銀					三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 飛角桂

※本局は駒詰です。32 龍・72 龍は共に玉。

【ルール】

• 二玉詰

複数の玉のどれかを詰ます。
王手もどれかの玉に掛ければ良い。
王手を外せなければ詰み。

• 駒詰

玉の性能が、指定の駒の性能になる。
玉の性能が変わるだけなので、特に指定がない限り、使用できる駒種・駒数は通常通り。
今回は、玉のみ非標準駒数。

【解答】

54 角 同銀 52 飛 同龍右 44 桂 まで 5 手

(詰上り)

									9	8	7	6	5	4	3	2	1		
																			一
																			二
																			三
																			四
																			五
																			六
																			七
																			八
																			九

持駒 なし

【作者のコメント】

ふと二玉詰みたいなことができないかと思って作ってみました。

【解説】

両取り三連発。つまり攻方の全着手が両取りという作品です。意味付けは非常に明快。玉の性能が龍なので、両取りでなければ、簡単に逃げられてしまうのです。「無仕掛け」から「単騎詰」になる難条件が、このルールだと当たり前に実現するのも面白いですね。

二玉詰は一般に普通の詰将棋よりも詰み易いという特徴があります。2つの玉のどちらかに王手を掛ければ良いからです。特に2枚玉に同時に王手を掛ける両取りの王手(両王手とは異なる概念です)は、王手駒を取らない限り外すことはできません。

通常の二玉詰は淡白な手順になるのを避けるため、この「両取り王手」をとどめに残し、受方にそれを避ける手を選ばせる展開が多いのですが、本作は駒詰の要素を加えて玉の性能を強力にすることで、両取り一辺倒の手順でも、かなり派手に見える手順を生み出しています。これも一種の「逆転の発想」だと思います。

ついでに二玉詰のルーツを紹介しましょう。複数の玉を使うルールというと、中将棋の酔象を使った作品が思い浮かぶと思います。小原大介「象戯綱目」第 10 番がそうです。しかし、この作品は2枚の玉の両方を詰めるルールであり、現在「二玉詰」と呼ばれているルールとは異なります。

現在の二玉詰のルーツは 1981 年に発表された以下の作品。作者は加藤徹氏です。

《参考図1》

加藤徹氏作（カピタン 25号 1981年9月）

二玉詰 27手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

王			王						一
	歩		歩						二
									三
									四
									五
									六
									七
飛			香						八
									九

持駒 桂

81歩成 92玉 51歩成 62玉 82と 93玉
 52と 63玉 83と 94玉 53と 64玉
 84と 95玉 54と 65玉 85と 96玉
 55と 66玉 86と 97玉 56と 67玉
 87と 同玉 79桂 まで 27手

これはフェアリー専門誌「カピタン」の 25号（1981年9月）に発表されたもので、当時は「二枚王詰」と呼ばれていました。創作自体は発表よりかなり前に行われていたようですが、一般公開されたのはこれが最初です。桂による両取り王手を含みにして2枚玉を追う趣向手順が面白く、例題扱いで解答募集が行われなかったのが勿体なく思える好作です。

この後、二玉詰の分野には上田吉一氏の「オーロラII」（25手詰 1989年9月）や、多玉詰に発展させた小野小町氏の「フェアリーの冗談V」（二玉ばか詰 15手 1990年2月）など有名な作品が出てきますが、その割には作品数が極端に少ない状態が続いています。フェアリーデータベースで調べても、わずか6作しか実例がありません。今回の変寝夢氏の作品が、果たしてこの現状を変える契機になるのでしょうか？

【短評】

神無太郎さん

3手目が気持ちいい。

☆ 龍に対して飛で両取りですからね。

同種の駒で両取りなんて、詰将棋でもなければ滅多に見られるものではありません。

本局と次局にはまとめたコメントが多かったので、それは次に紹介しましょう。

たくぼんさん

入門用に最適。3種の駒で両王手。

☆ 「両王手」と書きたい気持ちは分かります。私も解説の下書きでは「両王手」と書いていました。

DD++さん

両方の玉に同時に王手をかけると取るしかない、と。

■ 41-2 変寝夢氏作（正解7名）

二玉詰 7手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
		飛			角				五
									六
									七
									八
									九

持駒 角 金2 銀

※本局は駒詰です。35角・75飛は共に玉。

【解答】

53角 同角 64銀 同角 74金 同飛
 65金 まで 7手

（詰上り）

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
		飛	角						四
			金						五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

【作者のコメント】

チェスの手筋でみるクイーンを捨てて、ナイトでフォークみたいなことがしてみたかったです。

【解説】

前局や加藤徹氏の作品を見ると、二玉詰では桂が極めて強力な駒であることが分かります。しかし、本局でとどめを刺す駒は、桂ではありません。何と「金」なのです。

仕掛けは簡単。玉の性能を飛と角にするのです。通常の玉だと単騎の金など取られて終わりですが、なまじ飛角という強力な駒になったために、却って弱点を突かれる格好になりました。それに、この形をつくるために湯水のごとく捨てまくる手順は、まさに詰将棋の原点。とても爽快ですね。

原点といえばもう一つ。飛角が並んだ形に金や銀で両取りを掛けるのは、将棋の入門書によく載っている形です。もし、家に自分が昔使った将棋の入門書があったら、ぜひ一度見直してみてください。そこには、駒詰に応用できるネタが転がっているかもしれません。

【短評】

神無太郎さん

- ・初手 57 角だな。
- ・あれ、53 角もあるじゃん？
- ・おっと、57 角だと成られるじゃん！

☆ 太郎さんの初めの読み筋は「57 角 同角 66 銀 同角 76 金 同飛 67 金」でしょうか。成る手による逃れはもちろんですが、収束 3 手の非限定でも変だと気付きますね。

一乗谷酔象さん

両題とも二玉両取りの王手のみなので考えやすい。両取りでない王手が入る問題も見てみたい気がします。

小峰さん

二玉詰は単調になりがちなので、却って両王手じゃない手でしかも妙手というのがあったら面白いのだが。

☆ 両取り以外の希望が多いですね。

二玉詰では「両取り」以外に「片方の玉だけを詰める」という結末も考えられます。また、「片方だけに王手を掛けているが、その玉は逃げられない」という結末もあります。両方ともまだ発表例がないので、1 号局の投稿を期待したいと思います。

☆ ついでにもう一つ。両取りは両取りでも 1 枚

の駒ではなく、2 枚の駒で両取りを掛ける例をご覧くださいませ。

《参考図 2》

歩角考内氏作(詰将棋パラダイス 1987 年 4 月)

二玉詰 9 手

					王			王	一
				飛					二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 飛 銀

43 飛 42 飛 同飛 同玉 33 銀 53 玉
13 飛 12 歩 22 銀 まで 9 手

☆ 非限定はありますが、作意では最終手で 2 枚の駒による両取りが出現します。それに、この筋をちょっといじれば、二玉詰を「二重の両王手」を実現する手段として用いることができます。つまり、二玉詰にはまだまだ実例のない作品がごろごろ転がっている、というわけです。作家の皆さん、一番乗りを目指すなら今のうちですよ。

たくぼんさん

二玉詰の手筋を勉強するいい作品。

DD++さん

これ、57 角からは詰まないのでしょうか。もしかして駒詰は玉成が指せるとか……？

☆ 確かにこれはもっともな疑問です。筆者などは現在のルール設定に慣れきっているのですが、玉成が指せることを当たり前に思っていました。結論から言うと、駒詰では指定された駒が成れる駒の場合、玉も成れます。成った後の性能はその駒の成駒の性能です。試しに玉成りのできる図を作って f m に解かせてみてください。「玉成」や「王成」の表記が登場し、画面上「宝」という(玉が冠をかぶった)字で成玉が表記されます。やはり、新しい解答者の方に参入して貰わないと、こういうことに気付かないものですね。

■ 41-3 神無太郎氏作（正解 7 名）

Isardam協力自玉詰 6手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
								王	三
									四
									五
							王		六
									七
									八
									九

持駒 香

【ルール】

• Isardam

同種の敵駒の利きに入る手を禁止する。
玉を取ると同種の敵駒の利きに入る場合は
王手とみなさない。(タイプA)

• 協力自玉詰

先後協力して最短手数で攻方の玉を詰める

【解答】

29 香 28 飛 同香 21 香 27 飛 16 飛
まで 6 手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								皇	一
									二
								王	三
									四
									五
							王	皇	六
							飛		七
							香		八
									九

持駒 なし

【解説】

香頭に飛を重ね打つという普通の詰将棋ではお目に掛かれない Isardam 独自の手順を味わえる作品。

この手順の初出は伊達悠氏作 Isardam 打歩協力詰 9 手「Mr.麻生の景気対策」(Onsite Fairy Mate 第 146 回出題、2009 年 4 月 12 日、http://k_7ro.abz.jp/solve/solution29.html#146) です

が、本局はこれを双裸玉で実現しています。

ところで本局では、なぜ飛を縦から打たねばならないのでしょうか？

これは 5 手目から 36 飛 16 飛と進めてみれば分かります。そう、これでは 33 飛生の受けがあるので詰んでいません。これが横からではなく縦から飛を打つ理由です。

また、最終手の 16 飛が 6 段目（成れない位置）だからこそ、5 手目が限定になっていることにも着目してください。これが 7 段目だと、横からの飛打も有効になります。(下図)

Isardam協力自玉詰 2手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								皇	一
									二
								王	三
									四
									五
								王	六
									七
								香	八
									九

持駒 飛

この図では「37 飛 17 飛」でも詰みです。33 飛生は 13 飛成を防げず、33 飛成は 13 飛生を防いでいません。つまり、**Isardam は成駒と生駒を区別するので、成・生選択が可能な王手に対して、玉に紐を付ける受けは効きません。**これは次以降の作品でも重要なキーポイントとなります。

もう一つ付け加えておきましょう。3 手目 21 香は玉に紐を付ける Isardam 独特の手筋ですが、これは限定打で、見方によっては「遠打」とも呼べる手です。普通詰将棋では受方の駒打ちは「合駒」になってしまうので、「遠打」とは呼びにくいですが、フェアリーだと受方でも「遠打」と呼べる手が出てきます。これは Isardam 以外でも可能なので、様々なルールで「受方の遠打」を考えてみると面白いと思います。

【短評】

変寝夢さん

なるほど香の遠打ちが面白かったです。
イサルダム(?)は難しい。

☆ このルールの読み方は「アイザードム」だそ

うです。Madrasī (マドラシ) の綴りを逆にした造語なので別にどう呼んでも良いのですが、とりあえず英語風を読むのが主流みたいです。

小峰さん

地味ながら5手目が限定されているのが良い感じ。

たくぼんさん

飛打ちが横からだダメ。
ここぞという場所の27飛。

☆ 変寝夢さんは香の限定打に言及、小峰さん、たくぼんさんは飛の限定打に言及。面白く感じるポイントは人によって異なるようです。

DD++さん

なるほど、こういう王手の防ぎ方があるのですね。

☆ Isardam の元ネタの Madrasī では、A が B の利きを消す時、B も A の利きを消しますが、Isardam では特定地点への移動を制限するだけなので、同種の駒で王手を防ぎつつ、相手の玉に王手を掛けるということが出来ます。この非対称性の利用が Isardam の醍醐味でしょう。

■ 41-4 神無太郎氏作 (正解5名)

Isardam協力自玉詰8手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
							王		二
									三
								王	四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金銀

【解答】

13金 33玉 23金 34玉 45銀 25銀
33金 24金 まで8手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
						金			二
						王	王		三
					銀	銀	王		四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

【解説】

本局と次局はどちらも金銀1枚ずつ持った作品ですが、こちらは標準的な手順構成で、次局に向けて Isardam の基本的な手筋や特徴を学ぶことができます。

まず、Isardam の特徴は合駒以外で駒を発生させられることです。これが普通のルールなら金銀の持駒では詰みませんが、Isardam なら同種の駒が発生させられるので、金銀を発生させて詰ませることができます。

次に Isardam では「成駒と生駒は別の駒として区別する」ということ、そして、金は成れない駒であり、銀は成れる駒だということを考慮します。つまり、玉を上部に誘導するまでは、受方の銀を発生させることができないということです。以上のことから玉を上部に追い、4段目まで来たところで、金銀を発生させようという方針が決まります。

その効果が実際に表れるのが5手目。ここで43銀などとしては25銀が受けになりません。25銀は34銀生を受けていますが、34銀成を受けていないためです。45銀なら34銀成がないため、25銀が受けになるのです。

なお、この腹銀の形は協力自玉詰や協力自玉スタイルメイトで(特に後者で)は頻繁に出現する形です。中段に攻方王がいたら、まずはその形を一度考えてみてください。

【短評】

変寝夢さん

イサルダム(?)の成生と安南等の二歩禁の絡む詰不詰の定義は違和感があります。

慣れの問題ですかね。とりあえず4段目に玉をもっていくようにしたら解決しました。

☆ 実は私も違和感があります。

玉は詰めるものであって、取るものという感覚がないからでしょう。ですから「取った後」を考える「利き二歩無効」や Isardam のタイプ A などは、ちょっと苦手です。

小峰さん

想定し易い詰上り。

一乗谷酔象さん

遠い所(45)から打つための限定が巧みですね。

たくぼんさん

腹金がダメとなると 25 銀を目指すしかない。金の横滑りが面白い。

☆ 言われてみるとそうですね。玉が縦に動くので、金が横に動いていることには気付きにくいと思います。

■ 41-5 神無太郎氏作 (正解 3 名)

Isardam 協力自玉スタイルメイト 12 手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								王	一
									二
								王	三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金 銀

【ルール】

• 協力自玉スタイルメイト

先後協力して最短手数で攻方をスタイルメイトにする

• スタイルメイト

王手は掛かっているが合法手のない状態

【解答】

12 金 31 金 22 銀 32 玉 31 銀成 33 玉
43 金 23 金 32 全 43 玉 33 全 同玉
まで 12 手

(最終形)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
								金	二
						王	王	王	三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

【解説】

Isardam の効果を最大限に利用して、解答者の盲点を突く、極めて高度な作品。

前局と違い今回は「詰」でなく「スタイルメイト」となる手順を求めるわけですから、通常は包囲網の形成を考えます。

例えば、初手から 22 銀 32 玉 23 金 21 金… とすればとりあえず 12・22 地点は抑えられるので、後は玉を 4 段目に持ってきて 25 銀や 24 金を発生させる筋が考えられます。それ以外にも「腹銀」の筋が考えられます。初手 12 金や 22 銀から一目散に 4 段目を目指し、23 銀を発生させてから、余分な駒を消去するのです。

しかし、いずれの筋もあと一歩のところで届きません。どれも 14 手掛かってしまうのです。原因は玉を 4 段目に追うのに 6 手も掛かること。何とか玉の移動回数を減らせないでしょうか？

この一見不可能な命題をクリアするのが本作の手順。12 金に 31 金とするは何かピンボケのようで指す気がしませんが、この後何と 31 金を取ってしまうのです！

通常、協力自玉スタイルメイトでは極力攻方の駒が増えないようにするものです。この手順は、後の筋が見えないと絶対に指せません。

この手の意味は 7・8 手目の応酬で判明します。すでに 12 金が配置してあるので、23 金を発生させることができ、これで攻方は身動きが出来なくなるのです。金が動けば王を取られてしまいますし、王は 23 金に睨まれて、12 金を作る安全地帯から動けません。従って、最後に 33 玉として 23 金が取られるのと、22 王の脱出さえ防げば包囲は完了したことになります。

Isardam で玉に紐を付けられることを逆用し、その場所以外はほとんど動けない状態を作り出

してスタイルメイトにする…とい構想は前例が皆無というわけではありません。「第33回神無一族の氾濫」(http://k_7ro.abz.jp/overflow/hr33_r.pdf)の第2番(花井秀隆氏作)も角筋を利用して玉をピン止めしています。しかし、本局はその筋を金という地味な駒で行うことにより、王に紐を付けた駒自体も自然にピン止めされるという状態を作り出し、難解性を増しています。解答者には派手な手は見え易くても、地味な手は見えにくいのです。

際どい紛れが大量にある中、この筋を見つけるのは容易ではないと思われましたが、一乗谷氏とたくぼん氏が見事正解を入れました。お二人には惜しめない拍手を贈りたいと思います。

【短評】

変寝夢さん(※無解)

2二銀、3二玉、3三銀生、4三玉、4四銀生、3四玉、3五銀、2三銀だと思うが・・・あと4手が読めない。3三金、同玉、4四銀、2二銀で一瞬いけたと思ったのに。

一乗谷酔象さん

最後に解けました。それらしい14手解★が見つかったも、12手解はそれと近くない手順だけに難解。初手12金はホントに盲点だった。最終形は12金と23金でまさに金縛りにさせるが、12金の4つの狙いには全く裏をかかれた。

- 1) 12金は質駒(31金)を発生させる
- 2) 12金は後の23金が逆王手にならないように先受けしている
- 3) 12金は13玉の逃げ道封鎖
- 4) 12金は動けない

★12を塞ぐやり方は、はじめ受方の21金か23銀と考えた。たとえば、
 22銀 32玉 33銀生 43玉 44銀生
 34玉 35銀 23銀 33金 同玉 44銀
 32玉 33銀成 同玉(14手)。
 22銀 32玉 23金 21金 33銀生
 43玉 32銀生 34玉 33金 24金
 23銀生 33玉 34銀成 同玉(14手)。

たくぼんさん

23銀を目指したが成生があるので銀が出せず・・・この詰んでるような詰上りが心理的盲点となり手こずりました。

DD++さん(※誤解)

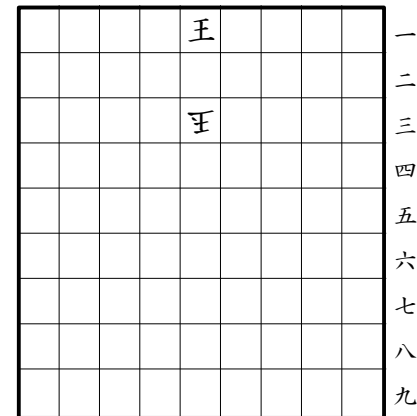
あれ、この問題12手問題ですよ？何かルールを勘違いしているのでしょうか。

☆出題時に「成駒と生駒は区別する」という注記を怠ったために、DD++さんをはじめ多くの方に誤解を生じさせてしまい、申し訳なく思います。

ただ、ルール上の誤解を防ぐために、毎回細則を書いていたのでは、それだけで誌面が埋まってしまうので、別途ルールの一覧と補足事項を書いた資料を作りました。疑問がありましたら、ご参照ください。それでも分からない場合は、メールで筆者にお問い合わせください。問題の答えは教えられませんが、ルールについてはお答えいたします。

■ 41-6 神無太郎氏作(正解3名)

Isardam協力自玉スタイルメイト18手
 9 8 7 6 5 4 3 2 1

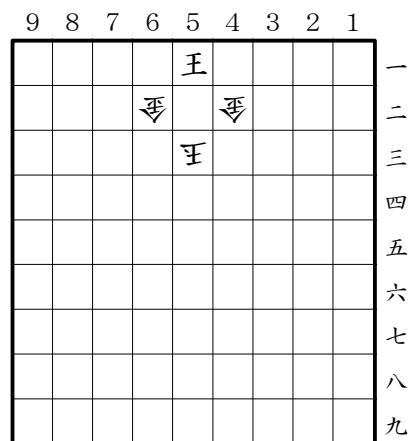


持駒 金歩

【解答】

44金 42金 54歩 63玉 53歩成 72玉
 62と 73玉 72と 63玉 54金 62金
 73と 53玉 63と 54玉 53と 同玉
 まで18手

(最終形)



持駒 なし

【解説】

初形に2枚金を足すと最終形——美しい対比が自然に形作られている作品です。

作意以外で初手の紛れは52金か54歩くらいですが、前者は24手、後者は20手を要します。

自然で素直な手順を追えば解けると思うのですが、正解者はやはり一乗谷氏とたくぼん氏のお二人だけ。前局があったため、皆さん難しく考え過ぎたのでしょうか？

【短評】

一乗谷酔象さん

14手目53玉～16手目54玉が不思議な感触でした。

変寝夢さん（※無解）

5四歩、4三玉、3四金、5三金、同歩生ぐらいかな。金の王手に金で受けられると次に金を移動する手と打つ手はなくなるので地味な展開になりそう。

たくぼんさん

14手目53玉が盲点。
慣れないルールは盲点がいっぱい。
初形詰上りとも文句なしです。

DD++さん（※無解）

できそうでできない。
自玉詰なら高々16手でできるのになあ。

☆これは成駒と生駒を区別しない前提での手数でしょうか？

念のため本図を16手のIsardam協力自玉詰としてf mに解かせたのですが、16手の解は見つからず、18手でようやく2解を検出しました。以下の手順です。

44金 42金 54歩 63玉 53歩成 64玉
54金 73玉 64金 83玉 74金 72玉
83金 71金 63と 同玉 73金 52金打
まで18手（8手目74玉でも良い）

☆もしDD++さんの16手の順が成駒と生駒を区別する前提でも成立していれば、大きな発見です。ぜひ担当までお知らせください。

■ 41-7 神無太郎氏作（正解3名）

キルケ協力自玉スタイルメイト24手

										一
									香	二
										三
										四
				王						五
										六
										七
										八
										九

持駒 桂4

【ルール】

•キルケ

駒取りがあったとき取られた駒が、最も近い将棋での指し始め位置に戻される。

【解答】

37桂 34玉 26桂 23玉 15桂 12玉/19香
24桂 13玉 25桂 24玉/29桂 23桂成 25玉
24圭 26玉 25圭 27玉 26圭 28玉
27圭 29玉 28圭 19玉 29圭 同玉
まで24手

（最終形）

										一
										二
										三
										四
										五
										六
										七
										八
								王		九

持駒 なし

【解説】

四桂連打からの四桂消去を、香1枚の追加配置だけで実現した作品。

キルケは取られた駒が復活するルールです。従って、消しにくい駒をどうやって消すかという興味が湧き、作品にもなります。

消す対象が桂の場合、桂を消せるのは桂の元の位置、すなわち29（あるいは89）が埋まっ

ている時です。途中に合駒などが出て来ないで、置き駒を消すだけだと仮定すると、最後は「29 成桂 同玉」という終わり方しかありません。

ここから作家的視点で考え、逆算をしてみましょう。その前の状態を考えると「28 成桂 19 玉」か「28 成桂 39 玉」の2通りが考えられ、何の追加配置もなければ、収束に非限定を生じます。従って銀か香の追加は、収束の非限定防止から必然的に生じる要請なのです。

本作が巧いのは、収束の非限定防止の香を利用して、途中の非限定まで消しているところ。下手をすると香の追加のせいで余詰が生じる危険さもあるのですが、12 香配置がすべてを丸く収めています。

【短評】

一乗谷酔象さん

香の効きをブラインドするための 15 桂が大活躍。23 桂成が開き王手ではないのは意外でした。

変寝夢さん（※無解）

連打した桂をキルケで復活した香の合駒で取らせるのかな？

☆ 変寝夢さんは香で合駒をする紛れの方にヤマを張ったようですね。3 手目 26 桂の代わりに 46 桂とし、香を入手して 29 香で桂の復活位置を埋める筋はありますが、28 手掛かります。結局玉が出張する方が早く 29 を埋められるのです。

でも近い将来、合駒の筋を作意に据えた作品を神無太郎さんが出してくる可能性は、結構ありそうな気がします。

■ 41-8 たくぼん氏作（正解3名）

強欲協力詰 91手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

		科		と					一
と	銀			龍			角	玉	二
				香	歩	桂	歩	と	三
	歩	と		と				銀	四
歩		飛		歩				と	五
	と		卒					香	六
	香	駒		卒					七
	歩	歩	歩		と	玉	玉		八
銀	手	桂		金	玉	歩		歩	九

持駒 なし

【ルール】

• 強欲

駒を取る手を優先して着手を選ぶ。

【解答】

38 と 19 玉 29 金 同玉 28 と 39 玉
 49 金 28 玉 39 金打 同馬 同金 同玉
 17 角 28 金 同角 同玉 27 金 同玉
 77 飛 同杏 36 銀 同玉 35 と 同玉
 34 と 同玉 25 銀 35 玉 24 銀 26 玉
 15 銀 同玉 14 と 同玉 13 角成 同玉
 12 龍 同玉 22 金 13 玉 12 金 23 玉
 22 金 33 玉 32 金 43 玉 42 金 53 玉
 54 歩 42 玉 53 歩成 51 玉 62 と 同玉
 71 銀生 同玉 82 と 同玉 94 桂 93 玉
 84 と 同玉 95 と 同玉 96 歩 同玉
 97 歩 同玉 98 銀 88 玉 89 銀 79 玉
 88 銀 68 玉 77 銀 78 玉 79 香 87 玉
 76 銀 86 玉 75 銀 95 玉 84 銀 94 玉
 93 銀成 同玉 85 桂 82 玉 73 桂成 71 玉
 72 圭 まで 91 手

(詰上り)

									9
									8
									7
									6
									5
									4
									3
									2
									1

持駒 なし

【作者のコメント】

いつもの強欲協力詰の煙です。考えどころが少ないので何とかならないかと放置していたのですが・・・諦めました。

【解説】

川下りには、穏やかな流れに乗って風景を楽しむものと、急流や岩場など危険な場所を乗り切るスリルを楽しむものがあります。本作は、そんな二つの要素を同時に楽しむ作品。全般的には穏やかな流れの中に、考えどころがいくつか配され、手順にメリハリを生んでいます。

主な考えどころは次の3つ。

(1) 9 手目 39 金

ここから 8 手は小さな伏線。ここですぐに 27 金 同玉…としても 77 飛が王手になりません。39 金から 8 手余分に掛けて馬を消せば、飛を活用できるようになるのです。

(2) 39 手目 22 金

ここは第一感、22 歩成 同玉 13 金 33 玉 …と横から追いたくなる場所です。しかし、横から追っても後が続きません。ここは玉を下段に落とすために、腹金ではなく、尻金で追うのが正解。歩の頭に金を打つ 22 金は、非効率な感じがして指しにくい手です。

(3) 82 手目 95 玉～85 手目 93 銀成

おそらくここが本作最大の難所であり、創作の出発点と思われます。ここは手が続かなくなることと恐れ、なるべく拠点を失わない手を選びたいです。桂を犠牲にして、うまい位置に銀を残そう…誰しもがそう考えるのではないのでしょうか？

正解は「桂も銀も捨てる」という意外なもの。両方捨てても持駒の桂を有効に活用できる方が勝るのです。解答強豪だからこそ解答者の嫌がる手をよく知っているわけですね。

さて、解説では難しい箇所のみピックアップしたのですが、手順全体は淀みない流れで進み、無理作りの感はありません。奇をてらうことなく、考えさせるところと、捌きの手順をバランス良く混在させる……ルールはフェアリーでも、構成は王道の煙詰です。

【短評】

変寝夢さん (※無解)

かなり粘ったけどダメでした。
3 8 手まではすぐなんだけど。

小峰さん

序盤 (創作する側から見ると終盤?) の 17 角、28 金合の応酬が良い。
直前の局面で馬を盤上に残す選択肢もあるのでちょっと迷いました。

一乗谷酔象さん

関門が 3 カ所ほど。

- 1) 39 馬を消しておくかどうか (9 手目 39 金は寄か打か)
- 2) 39 手目 22 金 (とても打ち難い)
- 3) 収束 82 手目 95 玉～93 銀成 (気づきにく

い)

22 金を発見してからも難しかったが、解けてみると心地よい傑作でした。
ルールと使用駒から煙は予想できますが、どうやって創作するのだろうと不思議に思いました。強欲ルール独特の攻めが切れそうで切れない手筋(22 金打ちから 71 桂消去に至る手順や、収束)には、たくぼんさんが開発された手順が織り込まれているのでしょうか。

☆ 強欲協力詰という手順が淡白になりがちなルールで、複数の手の選択の余地を作って紛れを持たせる技法を開発したのは、たくぼんさんの業績です。おかげで、強欲詰は「ただ駒を捨てていけば自然に詰む」退屈なルールから「ぎりぎり切れない手順を見つける」スリリングなルールになりました。

DD++さん (※無解)

煙だろうと予測を立てて進んでいったものの、右上で歩桂歩と並んでいるあたりからどう追っても 6 筋当たりで王手が途切れてしまつて撃沈。

☆ 筆者は(3)が一番の難所だと思ったので解説でもそう書いたのですが、変寝夢さんと DD++さんの短評を見ると、予想以上に(2)が手ごわかったようですね。
もっとも、(2)をクリアしないと(3)まで辿りつけないので、単純に比べられませんが…

■ 41-9 一乗谷酔象氏作 (実質正解 1 名)

推理将棋『四カ所だけ』

「昨日、奇妙な将棋を見たよ。駒を打った場所が四カ所で、駒を成った場所も四カ所だった」
「はあ、そんなのフツウの将棋じゃないのかい？」
「それが、小駒の着手点が四カ所だけ、大駒の着手点も四カ所だけだったんだ」
「へえ、でもそれも有り得る展開かな」
「さらに、2 手目以降の着手点は四カ所だけ、それも縦 2 マス横 2 マス、2 × 2 の範囲内の四カ所だけだったんだ」
「えーっ、それは珍しいね。そんな狭い所なら同じ手順を繰り返したんじゃないの？」
「先手の着手は全部ばらばらだったし、後手の着手も全部ばらばらだったんだけど」

「いったい、何手で詰んだんだい？」
 「21手で詰んだよ。3回目の王手だった」

条件：

- 7) 21手目に3回目の王手で詰み
- 8) 駒を打った場所は四カ所
- 9) 駒を成った場所は四カ所
- 10) 小駒の着手点は四カ所だけ
- 11) 大駒の着手点は四カ所だけ
- 12) 2手目以降の着手点は、ある2×2の範囲内の四カ所のみ
- 13) 先手の着手に（棋譜上）重複なし
- 14) 後手の着手に（棋譜上）重複なし

【ルール】

• **推理将棋**

将棋についての会話をヒントに将棋の指し手を復元する。

【解答】

76歩 32銀 33角成 42飛 32馬 33角
 43馬 32飛 33馬 同飛 32角 43飛
 同角成 32金 33銀 43金 32銀成 33金
 43飛 42角 同飛成 まで 21手

（詰上り）

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	皇	科	爵	丞	王			科	皇	
二					龍	全				
三	糸	糸	糸	糸	糸		丞	糸	糸	
四										
五										
六			歩							
七	歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	
八								飛		
九	香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	

攻方持駒角歩2
 受方持駒角

【作者のコメント】

- 一乗谷作としては、珍しく易問です。
 「33に成るのは角、トドメが42飛成」と決め打ちすれば、打つ場所と成る場所が自然に限定できるはず。
- 条件2)3)6)が本作のテーマです。条件は減らすことができますが、ヒントと余詰め防止のため、あえて残しました。

- 3回目王手は手順限定のため必要。
 21手の手数条件は7)8)があるためおそらく不要。
 4)は初手以外の小駒3カ所限定で、金の軌跡限定(42金は不可)のため必要。
 5)は4)と対比させるために付けただけの不要条件。
- 5手目作意は32馬だが、5手目43馬の変化が際どい。作意と同様に進めたとき、43馬33角32馬43飛33馬同飛32角で作意と同局面になって、次の43飛が指せない(2回目となり条件8に反する)

【解説】

「四」にこだわった推理将棋。

小さな2×2の「四」角形内で、先後とも同一着手を含まない、なるべく長い手順を求めよという問題です。従って、作者の言葉にもあるように条件2)3)6)が基本であり、残りの条件は手順の限定と、別の「四」にまつわる性質を満たしていることを示す装飾的な意味合いを持っています。

解く側から見ると特に条件6)が大きく、先手の着手に33角が含まれる必要性と、玉を詰めるために4筋を使うことから、2×2の枠は32,33,42,43であることが分かります。

基本的な条件が分かったところで、次は詰上りの想定です。作意の詰上り以外では、32龍・43桂という形も考えられないわけではないですが、桂は2段目に打てないので、条件に合う手順はなさそうです。つまり42龍で詰める形は、ほぼ必然です。

ここまで整理すれば、2×2の四角いリングに登るのは飛角金銀の4種5枚。条件4)のうち、初手76歩で、小駒の着手が実質三箇所に限られていることに注意しながら、手順を組み立てていくこととなります。

作意に棋譜上の重複がないことが分かり易いよう、2手ずつ縦に並べてみましょう。

- ▲76歩 △32銀
- ▲33角成 △42飛
- ▲32馬 △33角
- ▲43馬 △32飛
- ▲33馬 △同飛
- ▲32角 △43飛
- ▲同角成 △32金
- ▲33銀 △43金
- ▲32銀成 △33金
- ▲43飛 △42角

▲同飛成 まで

ここで「棋譜上」という言葉の意味を説明しておきましょう。3手目 33角成と9手目 33馬は、「33の地点に先手の馬が出現する」という点では同一ですが、棋譜上は「33角成」「33馬」と異なる表記になります。

このような棋譜上の一致・不一致は一乗谷氏の他の作品でも利用されており、今月の出題や来月に再出題を予定している作品でも使われています。また、筆者が別記事として「アナグラム協力詰」の例題を用意しましたので、棋譜上の一致・不一致を使ったルールの練習をしてみてください。

ただ残念なことに本作は余詰でした。作者が警戒した5手目の紛れではなく、2手目からの分岐で条件を満たす手順があったのです。

発見者はたくぼん氏です。

たくぼん解：

- ▲76歩 △32飛
- ▲33角成 △42銀
- ▲43馬 △33角
- ▲同馬 △同飛
- ▲32角 △43飛
- ▲同角成 △32金
- ▲42馬 △同金
- ▲33銀 △32角
- ▲同銀成 △33金
- ▲43飛 △42角
- ▲同飛成 まで 21手で詰

作者にとっては16手目の後手32角が盲点だったそうで、この余詰を消すため以下の修正案をいただきました。下線部が修正箇所です。たくぼん解では32への駒打ちが2度発生することを利用して、これを防ぐわけですね。条件3)への追加は2)との形式的な一致を意識したものでしょう。

推理将棋『四カ所だけ』（修正）

「昨日、奇妙な将棋を見たよ。駒を打ったのが四カ所で1回ずつ、駒を成ったのも四カ所で1回ずつだった」

「はあ、そんなのフツーの将棋じゃないのかい？」

「それが、小駒の着手点が四カ所だけ、大駒の着手点も四カ所だけだったんだ」

「へえ、でもそれもあり得る展開かな」

「さらに、2手目以降の着手点は四カ所だけ、それも縦2マス横2マス、2×2の範囲内の四カ所だけだったんだ」

「えーっ、それは珍しいね。そんな狭い所なら同じ手順を繰り返したんじゃないの？」

「先手の着手は全部ばらばらだったし、後手の着手も全部ばらばらだったんだけど」

「いったい、何手で詰んだんだい？」

「21手で詰んだよ。3回目の王手だった」

条件：

- 1) 21手目に3回目の王手で詰み
- 2) 駒を打った場所は四カ所に1回ずつ
- 3) 駒を成った場所は四カ所に1回ずつ
- 4) 小駒の着手点は四カ所だけ
- 5) 大駒の着手点は四カ所だけ
- 6) 2手目以降の着手点は、ある2×2の範囲内の四カ所のみ
- 7) 先手の着手に（棋譜上）重複なし
- 8) 後手の着手に（棋譜上）重複なし

【短評】

たくぼんさん

4ヶ所の場所も詰上りも予想がつくのだが、条件を合致しているかどうかの確認作業が結構煩わしい。

とはいえこの順しか無いというのもビックリというかさすがと言うかの内容でした。

☆ 作者以外の正解者はたくぼんさんお一人。

お見事です。

ただ、ご自分の解答が余詰ではなく作意だと思っていたため、上の「この順しか無い」という短評になっています。

☆ なお、作者からは別の修正案も寄せられています。作意が変わってしまうため、厳密には改作になってしまうのですが、修正の仕方としてはこちらの方がスマートだと思います。

■ 41-9改 一乗谷酔象氏作

推理将棋『四カ所だけ』

「昨日、奇妙な将棋を見たよ。駒を打った場所

が四カ所で、駒を成った場所も四カ所だった」

「はあ、そんなのフツの将棋じゃないのかい？」

「それが、小駒の着手点が四カ所だけ、大駒の着手点も四カ所だけだったんだ」

「へえ、でもそれも有り得る展開かな」

「さらに、2手目以降の着手点は四カ所だけ、それも縦2マス横2マス、2×2の範囲内の四カ所だけだったんだ」

「えーっ、それは珍しいね。そんな狭い所なら同じ手順を繰り返したんじゃないの？」

「先手の着手は全部ばらばらだったし、後手の着手も全部ばらばらだったんだけど」

「いったい、何手で詰んだんだい？」

「21手で詰んだよ。2回目の王手だった」

条件：

- 1) 21手目に2回目の王手で詰み
- 2) 駒を打った場所は四カ所
- 3) 駒を成った場所は四カ所
- 4) 小駒の着手点は四カ所だけ
- 5) 大駒の着手点は四カ所だけ
- 6) 2手目以降の着手点は、ある2×2の範囲内の四カ所だけ
- 7) 先手の着手に（棋譜上）重複なし
- 8) 後手の着手に（棋譜上）重複なし

☆ 上記の修正案の解答は別頁（P73）に記載しますので、今回無解だった方は、こちらの条件でチャレンジしてみてください。

【総評等】

神無太郎さん

眺めていたら解けたので。

☆ いつもは出題専門の神無太郎さんから、珍しく解答を戴きました。これは、変寝夢さんの二玉詰の功績ですね。

変寝夢さん

今回は絨毯爆撃の記事があったので、次はたくぼんさんの長編創作過程が知りたいです（動機づけから）。

小峰さん

3・4月は解図時間の確保が難しい…。

一乗谷酔象さん

今回は前回より敷居が低くなり取り組みやすかったかなと思います。

たくぼんさん

二玉詰は目新しい感覚で面白かった。いろいろなルールを楽しみたいです。

☆ 今回の出題は前回よりは易しくなった（はず）ですが、時期的な問題と、出題数の多さで皆さん苦勞されたようです。今月の出題も数が多いので、頑張って解答をお寄せください。

☆ なお6月号はWFP作品展出題がお休みですので、5月16日以降に投稿された作品は、7月号掲載となります。

また、5月号の出題もコース分けをして、6月15日が締切のものと、8月15日のものの2コースに分ける予定です。

絵にするとこんな感じなのですが…



☆ 出題の構成は投稿作品の数や難度にもよるので、この通り行くかどうかは分かりません。おおよその目安、程度に考えてください。

以上

WFP作品展番外 アナグラム協力詰

神無七郎

第 39 回 WFP 作品展で出題された推理将棋「アナグラムな対局」は正解者ゼロという結果に終わったため、再出題を予定しています。

ただ、そのまま再出題しても正解者がほとんど出ない可能性が考えられますので、まずは「アナグラム」に慣れていただくための例題を用意しました。解答は別ページに掲載しますので、「自力で解く」あるいは「解答を並べてみる」のどちらでも好きな方を選んでください。

「アナグラム」は先手と後手が、手の順番を除いて同一の手を指すというもので、指し手の一致は「棋譜表記上」の一致で判断されます。従って、同じ地点への着手でも表記が違えば別の手と判断されますし、別の地点への着手でも「同○」の形式が一致すれば同一の着手と判断されます。この辺りの具体例は WFP45 号の P.10 にある《参考図 1》と、その解説をご覧ください。

今回出題するのは「アナグラム」の協力詰 3 題です。すべて受先形式で、攻方の王手義務はありません。「アナグラム」は手の制約が相当きついルールなので、「アナグラム」関連の出題を行う時は「王手義務なし」をデフォルトとして出題したいと思います。

では、ルール説明と実際の例題の出題に移ります。

【アナグラム】

攻守双方が順番が異なる以外同じ手を指す。
(補足)

1. 手の同一性は棋譜上の一致で判断する
2. 特に注釈がない限り攻方王手義務なし

【協力詰】

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

※Anagram-3 には受方持駒制限があります。

☆解答は別頁 (P69) に掲載します。

■ Anagram-1

アナグラム協力詰 6手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

				王					一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金

■ Anagram-2

アナグラム協力詰 8手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								王	一
							飛		二
									三
								飛	四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 桂2

■ Anagram-3

アナグラム協力詰 14手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								王	一
									二
						歩			三
									四
							歩		五
									六
									七
									八
									九

攻方持駒 銀2

受方持駒 銀2

推理将棋第53回出題解答 担当：DD++

出題： 平成 24 年 3 月 4 日
 解答締切： 平成 24 年 3 月 20 日

推理将棋第53回出題 担当 DD++

今回は本当に申し訳ございませんでした。例題含めて4題中3題が不完全。しかも、例題と初級は私なら簡単に気づけなければいけないレベルの見逃しでした。少し採用にあたっての検討のあり方を見直す必要がありそうです……。

53-1 初級 山葵茶漬けさん作 58～58 8手

「さっきの8手で詰んだ将棋、初手も最終手も58の着手だったね」
 「4手目は6筋の着手だったね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・ 8手で詰んだ
- ・ 初手も最終手も58の着手
- ・ 4手目は6筋の着手

出題のことば (担当 DD++)
 それぞれ58に着手した駒はなんでしょう？

追加ヒント：
 先手金が58にいても後手がうまく取れないので、さらに57金と進めて取らせましょう。

推理将棋53-1 解答
 ▲5八金左 ▽3四歩 ▲5六歩 ▽6六角
 ▲5七金 ▽同角成 ▲3八金 ▽5八金
 まで8手。

詰上がり図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	皇	科	銀	金	王	金	銀	科	皇	
二		飛								
三	歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	
四							歩			
五										
六				歩						
七	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	
八		角			金	飛				
九	香	桂	銀		王	銀	桂	香		

持駒なし

玉を詰めるには2枚の駒が必要です。この手数なら2枚目は先手から奪うことになるわけですが、さてどこでどの駒を、という問題。58からトドメを指すとなれば左右の金をどける必要があるのですが、ならばその金を片方渡してしまっって頭金までというのは自然な発想でしょう。

ところが初手で58に金を上がっても後手が余計な王手をかけずにこれを取るのには困難。そこで先手は58からさらにこの金を動かすこととなります。そして後手は金を取りながら58へと利きを作りたいので57金に同角成という応酬をすることになるわけです。

どちらの金を渡すのかが問題ですが、最後に飛の利きを遮る手を指す必要があるため、左金を渡して7手目に右金を38へ上がる形で頭金の詰み。

だったのですが、余詰の見落としがありました。「58金左、34歩、68金、77角成、48玉、68馬、38金、58金」などはなさかしろうさん、平井康雄さん、渡辺さんからの指摘でした。52の手で詰む7手詰めの手順を入れ替えて初手に58の無駄手を挿入して手順成立。より短手数で詰む無駄手を加えて無理矢理条件を満たす余詰はありがちなので、作家の方々は注意したいところですね。

それではみなさんの短評をどうぞ。

平井康雄 「追加条件だと、4手目は66角以外では考えられないので、簡単になりすぎるんじゃないでしょうか？(初級はそれで良いのかもしれませんが……)『6筋の着手が1回だけあ

った』では駄目だったのでしょか？」

■それでももちろん OK なのですが、初級問題職人さんはなるべく解きやすい方向へ持っていたようです。

渡辺（余詰解） 「(余詰手順羅列) など非限定多数あり、余詰と思います。6筋の着手は一度だったの間違い？」

■単純に余詰見落としでした。申し訳ありません。

はなさかしろう 「8手なのでまず角で行くところですが、上からの攻めを迎えに行くのは盲点でした。解けてみればなるほど、角は歩より一手早いんですね。」

■実ははなさかしろうさん作の中級と同系統だったり。

斧間徳子 「条件次第でまだまだ8手の新作がありうるんですね。しかし、全手順が解析されている8手詰で余詰とは・・・」

■8手詰はなまじ全部わかっているだけに、推理将棋の館のリスト（7手+無駄手の順は掲載されていない）を確認した所で安心してしまってますよね。失敗しました。

NAO 「無事作意の方が先に浮かびました。余詰順は手順前後がいっぱい。」

■しかも成生非限定があり、初手は金でも玉でも可。かなり対応の幅の広い手順ですね。

鈴川優希 「初手、左右の違いが大違い。もちろん最初は『右』と指して、ちょっと待った！」

■指し将棋と異なり、推理将棋では左が多いですね。右なのははてるま手筋の時くらい？

KG 「どちらの金でも同じと思いきや、飛車の利きがあるんですね。」

■こういう左右非限定の自然解消はうれしいもの。

たくぼん 「角をどのルートで動かすかが考えどころ。4手目6筋は超大ヒントでしたね」

■最近バカ詰をやるようになって再認識しました。8手はこれくらい大ヒントがないと初心者には解けない！

チャンプ 「瞬時に解けてしまったので余詰がなんだったのか・・・発表を待つとします（笑）」

■やっぱり気づかないと気づかないですよこの手順。

中村雅哉 「余詰修正によりとても易しくなり、かえって入門作としては良かったかも。」

■ですね。

変寝夢 「初手と最終手の関連が面白い」

■まさにそれが問題の狙いでした。

テイエムガンバ 「初手5八金、最終手5八金だろう、と予想して5八金のままで後手が金を取れないから5七金と動かして、と考えて正解でした。が、初手5八玉でもよかったんだ、と問題の修正後に気づいたりする。」

■余詰があるとと言われて初めてそれが見えることも多いんですよ。

占魚亭 「金と思わせて玉……ではありませんでしたね。捻くれて考えすぎました。」

■初級で玉が作意だったらびっくり（笑）

宮谷保可楽 「結局解けたのは、すぐに見えたこれだけでした。やはり厄年だ・・・」

■中上級が解かれなかったのは私のヒントの出し方が甘かったせいな気も。

S.Kimura 「追加条件が出たため、すぐに分かりました。」

■とても簡単になる修正でしたからね。

諏訪冬葉 「別解の手順は全く分かりません。『6筋の手はなかった』とか『全て奇数筋の手だった』とかで修正できないでしょうか？」

■それなら余詰はなくなるのですが、残念ながら

ら作意手順が変わってしまうので、解答募集形式だとできない修正ですね。

はらたっと 「66 角を取れるのに金まで取らせる。」

■推理将棋は片方が負け上手でないと成立しません。

正解：17名 双方解： はなさかしろうさん
平井康雄さん 渡辺さん

S.Kimura さん 斧間徳子さん KG さん
鈴川優希さん 諏訪冬葉さん 占魚亭さん
たくぼんさん チャンプさん テイエムガンバ
さん NAOさん 中村雅哉さん はなさかし
ろうさん はらたっとさん 平井康雄さん
変寝夢さん 宮谷保可楽さん 渡辺さん

**5 3 - 2 中級 はなさかしろうさん作
9 3 5 7 2 9手**

「それ暗証番号？ 5桁は珍しいね」
「まさか。さっきの将棋のメモだよ。9手で詰んだんだ」
「9手の9か。それじゃ3572は？」
「3筋の手が5回、7筋の手が2回あったのさ」
「ははあ例の...って、あれ？ 97532じゃないのか」
「残念でした。83571なら有名な手筋があるけどね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・ 9手で詰んだ
- ・ 3筋の手が5回あった
- ・ 7筋の手が2回あった

出題のことば (担当 DD++)

3筋5回の内容を推測するのが近道かも。
追加ヒント：

33にいる馬を3筋内で動かす方法は、前進だけではありません。

推理将棋 5 3 - 2 解答 担当 DD++

▲ 7六歩 ▼ 3二金 ▲ 3三角成 ▼ 4一玉
▲ 3四馬 ▼ 3三金 ▲ 同馬 ▼ 7二金
▲ 5一金 まで9手。

詰上がり図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
香	桂	銀		金	王	銀	桂	香	一
	飛	金					馬		二
歩	歩	歩	歩	歩	歩	馬	歩	歩	三
									四
									五
		歩							六
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
							飛		八
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	九

持駒 歩

筋の条件が2つだけ。一見とっかかりがないようですが、実は隠れた第3の条件が存在します。それは「3筋でも7筋でもない着手が2回だけ」という条件。それをふまえて3筋着手の内容を考えてみましょう。

まずほとんどの方が最初に思いつくのが後手が飛金銀あたりを32に動かし、先手が33角成から32馬で取る順でしょう。しかし馬が32に居座ると、3筋7筋以外の手が「玉を52か62へ逃げる手」「6筋方向の逃げ道を埋める手」「トドメ」と3回必要になるので失敗。

では3筋の手をもう1回使って馬を33に引いたらどうでしょう。この場合玉が41に動けるので3筋以外の着手が少なくて済みそうです。いくつか形はありますが、一番惜しいのは32で金を渡して61の金を72へ逃し、33馬51金で41玉を詰める形。3筋でも7筋でもない手は41玉と51金のみですが、「76歩、32金、33角成、41玉、32馬」とした局面が残念ながら王手で困ってしまいます。

しかしまだ1回分残っている3筋の手を使えばこの問題をうまくクリアできるのです。32金を馬で取って33へ戻る代わりに、馬を34へ引いて(!)33まで来た金を戻りながら取る。こうすることで32馬の王手をしないように同じ形

へ持っていけるのです。これに気づかずに撃沈した方が多数。9手の中でもかなり難しい問題だったようです。

それではみなさんの短評をどうぞ。

はなさかしろう（作者） 「△33 金を中心に動かしていたら9手で行けることがわかり、条件付けをしてみました。玉まわりの着手が2手しか出来ないの玉を4筋に沿わせる自然な手順が作意でした。先行作がありそうな手順ですが、5手目と8手目の処理で好みの分かれるところかと。あっさりとした仕上げを心がけましたが、名作『3×3=9』(20-3)には遠く及ばないな、と、苦笑しつつ作っていた覚えがあります。」

■5手目の処理は好評でした。3×3=9レベルは狙って作れるものではないと思います(笑)

平井康雄 「7筋の1つは初手76歩がほぼ決まりなので、もう一つは72金くらいかな？と考えたら正解でした。33角成に41玉とギリギリかわせるところが面白いですね。」

■手順前後が全く存在しない順はそういう面白みのある順が多いですね。

渡辺 「これは巧い限定。金の押し売りが良い感じですよ。」

■推理将棋は協力系なので押し売りというのに違和感がありますが、たしかにいい手です。

斧間徳子 「面白い条件でした。」

■これで限定できたのは美味しすぎです。

NAO 「玉から離れる34馬が指しづらい。」

■完全に読めてないと指せない1手。

鈴川優希 「『9 3 5 7 2』だけで完全限定とは驚き。3二飛から3七飛成と飛び込む手順や、5二の玉に腹金の詰みなど、いろいろ考え、この無駄手のような馬の動きを発見して感動です。暗証番号シリーズ(?)の金字塔になりそうですね。」

■では第2局を鈴川さん投稿よろしく！

KG 「思いのほか悩みました。てっきり玉が6筋の方へ行くのかと思ってました。」

■6筋へ行くと52金までを狙うことになるのでしょうか？

たくぼん 「3筋の手が5回・・・考えれば考えるほど上手い条件付けですね。」

■7筋2回も実はかなりの数の余詰を防いでいます。こっちもうまい。

チャンプ 「これは9手問題としては過去最大に悩んだかも知れません。金を入手するのに33~34馬と一旦バックする発想がありませんでした。散々悩んだ末に想定外の一手があり十分に楽しめました。」

■第50回例題解説で書いたように、33で歩ともう1枚駒を取る順はけっこう多いんですね。

中村雅哉 「5手目34馬は気付きにくい妙手。」

■玉から遠ざかる1手ですからねえ。

テイエムガンバ 「5 3 - 1 と共通点があることに(とどめの金打ちを成立させるために金を取らせるとか、▲3八金に対して▽7二金とか)気づけばもっと早く解けていたはず。」

■取った金の使い方は全然違うんですけどね。

S.Kimura 「金は32で取らせると思っていたので、34馬、33金は意外でした。」

■32馬は意外とデメリットが多い手なのです。

諏訪冬葉 「33角成から3筋で手数を稼ぎながら質駒を取るというのは浮かんたのですが、34馬は見えませんでした。『▲76歩△32飛▲33角成~▲32馬~▲72飛~▲42馬(飛成)』『▲36歩△34歩▲35歩△77角▲同角△42玉▲34歩△52飛▲33角成』あたりの手順が魅力的でした。」

■中級9手ですから少しくらいは捻らないと。

はらたつと 「34馬33金同馬ってそこまでして金を取らせたいのか。」

■逆に先手はそこまで金を取りたくないんでしょ
うか（笑）

正解：14名

S.Kimura さん 斧間徳子さん KG さん
鈴川優希さん 諏訪冬葉さん たくぼんさん
チャンプさん テイエムガンバさん NAOさん
中村雅哉さん はなさかしろうさん はら
たっとさん 平井康雄さん 渡辺さん

5 3 - 3 上級 KG さん作
7 & 7 11 手

「昨日の 11 手で詰んだ将棋、見たかい？」
「うん、駒成りも無かったのによくあんな短手
数で勝負がついたね」
「初手も平凡な歩突きだったんだけどね」
「そういえばその将棋、同種駒の手がちょうど
7 回あったね」
「それだけじゃなくて、偶数筋の手もちょうど
7 回あったよ」
「さらに 7 段目の手がちょうど 2 回あったね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

（条件）

- ・ 11 手で詰んだ
- ・ 同種駒の着手がちょうど 7 回あった
- ・ 偶数筋の着手がちょうど 7 回あった
- ・ 7 段目の手がちょうど 2 回あった
- ・ 初手は歩突き
- ・ 成る手なし

出題のことば（担当 DD++）

11 手のうちで 7 回指せる同種駒は何種類あ
るでしょう？

追加ヒント：

7 回着手するのは将棋で一番大事なあの駒。
5 手目に取った角を 9 手目に打って後手玉の逃
げ道をふさぎましょう。

推理将棋 5 3 - 3 解答 担当 DD++
▲ 4 六歩 ▼ 3 四歩 ▲ 6 八玉 ▼ 7 七角不成
▲ 同 玉 ▼ 4 二玉 ▲ 6 六玉 ▼ 3 三玉
▲ 2 四角 ▼ 4 四玉 ▲ 6 五玉 まで 11 手。

詰上がり図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
香	桂	銀	金		金	銀	桂	香	一
	飛								二
歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	三
					王	歩	角		四
			王						五
					歩				六
歩	歩		歩	歩		歩	歩	歩	七
	角						飛		八
香	桂	銀	金		金	銀	桂	香	九

持駒 なし

11 手と上級としては短めですが、蓋を開けてみ
ると超難問。何しろ理詰めで攻める方法がほと
んどなく、手当たり次第にそれらしい手順を探
してみるしかまともな解法がありません。しか
も修正前条件だと惜しい手順の数が膨大な上に、
7 回着手する駒がまさかの玉。「この条件で飛や
歩が作意じゃつまらない」と思った方以外は
大変な苦勞をしたことでしょう。同時に検討も非
常に困難で、KG さんも私もかなり頑張ったも
のの残念ながら余詰を見逃してしまいました。
申し訳ありません。

作意順は 5-3 とほぼ同一の、44 玉に対して開き
王手で詰め上げる手順です。先手玉の手を稼ぐ
ために 54 への逃げ道は 65 玉で塞ぎ、偶数筋の
手を稼ぐために 35 への逃げ道は 24 角で塞ぎ、
角を使ってしまったので 45 への逃げ道は 46 歩
で塞ぐことで全ての回数 of 辻褄が合います。そ
してそれをうまく並べられる手順は作意順だけ。
かなりうまい手順限定でした。

そして私と KG さんが共に見落とした余詰順は
角を使った手順。最初は NAO さんからの指摘
（1 つめの手順）、その後渡辺さんとはなさかし
ろうさんも加えて自主的に追検討をしてくださ
り、最終的に以下の 4 種類の順が見つかりまし
た。どれもこれも余詰順にしておくにはもった
いない手順です。

・76歩、62玉、33角不成、72玉、42角不成、44角、53角不成、26角、同角不成、64歩、45角

・76歩、52玉、33角不成、44歩、24角不成、33角、46角、24角、同角、62金、25角

・76歩、34歩、22角不成、同銀、52角、88角、61角不成、33角不成、43角不成、42角、61金

・76歩、42金、33角不成、41玉、42角不成、88角不成、53角不成、44角不成、31角不成、62角、42金

なお、修正前のマギレの数々は以下のとおり。みなさんはいくつハマりましたか？

歩：23歩成まで7手の順に歩の無駄手4手を加えた手順などで最大8回着手可能。もちろんそれを7回に減らすこともできますし偶数筋7回もクリアできますが、成らないと詰みません。別系統で「46歩、42金、45歩、52飛、44歩、62銀、43歩不成、14歩、42歩不成、15歩、41金」のような手順もありますが、こっちは駒成がない代わりに偶数筋が8回になってしまって失敗。

桂：「76歩、34歩、77桂、33桂、65桂、25桂、53桂成、17桂不成、同桂、64歩、63桂」のような手順で最大8回着手可能。9手目を同香にすれば7回に減らすことはできますが、駒成はどうしても必要ですし、偶数筋着手も4回しかありません。

銀：「76歩、52玉、33角不成、42銀、同角不成、銀の手、銀打ち、銀の手、銀の手、銀の手、53銀不成」で成なしで銀の手7回が達成できます。あとは6手目～10手目を全て偶数筋に指せればよかったのですがそれはどうやっても達成できません。

金：「76歩、62玉、33角成、42金、同馬、72金、52金」の7手に、互いに金を無駄に上げ下げする2手ずつを加えれば金の手7回偶数筋7回は達成。しかし残念ながら角を成らないと詰まないで失敗。別系統で「76歩、34歩、金の手、42金、金の手、33金、同角不成、52玉、金の手、62金、51金」という順がありますが、駒成がない代わりに偶数筋が5回しかなく失敗。

角：余詰で紹介した通りです。

飛：「26歩、飛の手、25歩、飛の手、26飛、飛の手、76飛、42飛、73飛不成、52金右、71飛成」で最大8回着手可能。それを7回に減らすこともできますし偶数筋7回もクリアできますが、成らないと詰みません。別系統で「66歩、34歩、68飛、66角、同飛、飛の手、63飛不成、62飛、同飛不成、72金、61飛打」のような手順もありますが、こっちは駒成がない代わりに偶数筋が8回になってしまって失敗。

成なしで偶数筋7回というのは数々の余詰をかなり際どく防いでいて、ちゃんと成立していれば絶妙の条件付けだったのです。

それではみなさんの短評をどうぞ。

KG（作者） 「双方玉だけを動かしてたら本手順を見つけて、じゃあ同種駒の手7回の手順はいくつあるか探してみました。そのリストを眺めてると偶数筋の手7回で限定できることに気づいて、今回の問題が出来上がりました。実際には見逃した手順がいくつかあって余詰になってしまいましたが…。申し訳ありませんでした。」

■余詰こそ出ましたが、制作の着眼点はすばらしかったと思います。今後も面白い問題の投稿を期待していますね。

平井康雄 「5手目に角を取るのは66歩、34歩、68飛、66角、同飛が有力だと思ったのですが、後が全然わかりません。後の6手のうち、5手が飛の手って……？最後まで発想の転換ができませんでした。」

■その順からだとはマギレ紹介した通り62で飛を奪って61飛打までで偶数筋過剰ですね。もっとも、一番大切な駒は飛車ではなくもちろん玉なわけですけど。

渡辺 「44玉を66玉からの空き王手で詰めるのは決め打ちました。あとは偶数筋を目一杯多くする手順を構成。歩の余詰がないか心配です(成る手があれば可能)。」

■私は金飛歩の順で警戒していたのですが、警戒すべきはそのうちどの駒でもありませんでした(泣)

はなさかしろう「7回条件のコンビネーションが絶妙で惜しい手順を山ほど読む破目に、『初手は歩突き』という、出て行くのに2手以上かかる駒が突いたところを通過する、と思い込んでしまっただけなのに筋がなかなか見えませんでした。これは意図的?!歩や飛車を単純に使うと偶数筋が7回を越えてしまうあたりに検討の深さを垣間見ました。それから、、と、別途作品にできそうな手順も幾つかあるのでこの辺で……」

■初手 46 歩は全部わからないと見えませんよねえ。別途作品にできそうな順は投稿を期待してもいいのでしょうか。

斧間徳子「初手が歩突きという条件から、まず、66 歩~68 飛以下の飛車の進出を考えたがいま一つ届かず。となれば次は、双方の玉移動に思い当たり解決。初手から、46 歩→45 歩→……→42 歩生→41 金などきわどい筋が多く、作者も検討者も余詰め検討が大変そう。」

■間違いなく担当を引き受けてから一番大変でした。

NAO「飛も歩もハズレ。玉でしたね。これは7段目2回の条件がないと解けません。最近見たような形と思ったら、トドメ駒の玉を飛にした詰パラ132番渡辺さん作とそっくりでした。」

■88角の利きを通して44玉を詰める形はかなりいろんなバリエーションがありますね。最初の作品はどれなんでしょう。

鈴川優希「条件から全く手順が想起できないので、半ば諦め腰だったのですが、余詰修正で追加された条件がヒントとなりました。『同種駒』と駒種を伏せていることと、『初手歩突き(たぶん手順前後防止だろうと見当をつけて)』の条件から、この手順に線がつながりました。おもちや箱5-3の修正版とも思える作品ですが、これでも余詰があるんですね……。」

■意外な駒だろうという予測はこの問題では重要ですね。

たくぼん「第一感玉。無駄な紛れを読まずにすんでラッキーでした」

■これで第一感が玉というのはすごい!

チャンプ「実は以前に全く同じ手順で創作しようとしており、いい条件が思いつかず放置していた順でした。初手は歩突き=先手玉突進がすぐに浮かんでしまったので悩む楽しみが無くなってしまい損をした気が……(苦笑)」

■そういう方のために「7回着手できる駒種はいくつ?」というおまけがあったわけですが(笑)

中村雅哉「条件数が多く、かつ『偶数筋7回』とかあまり楽しくない(解図意欲をそそらない)条件もあり、もう少し工夫が欲しい。」

■5条件目が必要になったのは痛かったですね。もとの4条件なら手順の意外性もあるので十分許容範囲だったと思いますが。

テイムガンバ「同種駒=歩か飛、と予想していたのですが紛れの連続。『一番大事なあの駒』=玉、と気づいてからはわずか3分で解答。もう少し裏読みしすぎない考え方をしないと。」

■思い込みは怖いです。

S.Kimura「双方の玉が出てきて、2枚の角で詰ますと予想したのですが収束がまとまらないまま時間切れでした。」

■おいしい、方向は合っていました!

はらたつ「7段目2回がわからない。。。」

■77での駒交換なのでした。

正解: 10名 双方解: NAOさん はなさかしろうさん 渡辺さん

斧間徳子さん KGさん 鈴川優希さん たくぼんさん チャンプさん テイムガンバさん NAOさん 中村雅哉さん はなさかしろうさん 渡辺さん

総評

はなさかしろう「今回は盲点？ ミスディレクション？ で楽しく悩みました。ミニベロさんの名作が思い出したりもしてすっかり満腹です。」

■言われてみれば思い込みでハマりやすい問題ばかりですね。ちょっと選題バランスが悪かったかなあ。

斧間徳子「今月は手数は短めでしたが、決して易しくはなかったです。」

■ですね。来月はさらに短く易しくいきます。

鈴川優希「今月は難しかったです。条件から詰上がりが見えてこないのも、どうも方針を立てずらく苦手です。春休みの時間を頼りに解図して、やっぱり解いて良かったと思います。」

■これまでどれだけの推理将棋を解いてきているかが物を言ったかもしれませぬね。

KG「私は推理将棋を始めてもうすぐ一年になります。これからもこの調子で解答していきたいと思います。」

■投稿もぜひこの調子でお願いします。

中村雅哉「推理将棋もそろそろ、創作に際して作者が完全性を自分なりに十分確認・検証して投稿する時期に来ていると思います。今まで大量の余詰作を Mixi で発表してきた私が言うのも説得力に欠けますが（笑）。」

■山葵茶漬けさんも KG さんも自分なりの検討はされていましたが、問題は「自分なり」は得てして不十分なことなんですよね。簡単に十分な検討ができればいいのですが、mixi での現状を見ているとやっぱりそれは難しいですよ。

変寝夢「なんとか1問解けました。締め切り前ヒントでやる気がだいぶ変わります。」

■むむ、中上級はもっとやる気の出るヒントが必要でしたか。

はらたつと「余詰については、人間が少数精鋭で検討しなくてはいけない状況下ではやむを得

ず。すべて鈴木さんにコンピューター検討しなくてはならないとなると鈴木さんが一問も解けず、これは違うかなと。dd ++さんを支持します。」

■機械検討もできるものとできない（時間がかかりすぎる）ものがありますからねえ。今回は3題ともコーディングのスキルがあれば短時間でできそうではありますが。

たくぼん「担当者様にも告知いただきましたが現在、Web Fairy Paradise にてお気に入り投票を行っています。当コーナーも候補一覧に入っておりますのでよろしければ投票よろしくお願ひします。」

■ということで、結果発表の閲覧を終わったらぜひすぐに投票へどうぞ！

推理将棋第53回出題全解答者： 17名

S.Kimura さん 斧間徳子さん KG さん
鈴川優希さん 諏訪冬葉さん 占魚亭さん
たくぼんさん チャンプさん テイエムガンバさん
NAOさん 中村雅哉さん はなさかしろうさん
はらたつとさん 平井康雄さん 変寝夢さん
宮谷保可楽さん 渡辺さん

Fairy TopIX2011投票結果

2011年のFairy TopIX投票結果発表です。

投票者は、橋本孝治、小峰耕希、酒井博久、DD++、はなさかしろう、神無太郎、変寝夢、たくぼん計8名でした。(敬称略)投票ありがとうございました。

2011年にネット上で発表された作品は、短編101作、中編、31作、長編18作、推理将棋43作の計193作でした。昨年に比べるとやや増えていますが長編作は少なめでした。今期は神無太郎氏の発表数が群を抜いており、作品の質も高レベルにあるため短中篇で5作受賞と大活躍となりました。他の作家の皆さんも頑張りましょう(笑)。

では各部門別に発表します。申し訳けありませんが敬称は略させていただきますのでご了承下さい。

【短編部門】

投票者：橋本孝治、小峰耕希、酒井博久、変寝夢、若林、たくぼん 計6名

なんと1位～3位を神無太郎氏が独占。もう一つ言えば上位11作中8作が神無太郎氏という物凄い結果になりました。平成23年は太郎氏が質・量とも群を抜いていたということです。突出したポイントの作品がなかった理由は、全体的にレベルが高すぎて票が好みにより分散したのでしょう。

トップ1は短54 神無太郎氏の安南協力自玉スタイルメイト・10手。ため息の出るような収束を是非盤に並べて欲しいと思います。平成24年は他の作家、特に若い方々の活躍を願って止みません。もちろんベテラン陣も…。

またKokoなどの新しいルールも登場しており今年の進展に期待したいところです。

記載は、順位、一覧の番号、作者名、出題年月、出題場所、ルール、手数、お気に入り投票ポイントです。同位の場合は作者名の五十音順に記載しています。

🏆 1位 短54 神無太郎 2011/4
がんばろう日本！祈念作品展第3番
安南協力自玉スタイルメイト 10手

10pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
					王		香		六
								飛	七
						王			八
									九

持駒 角2

19角 37香 同角 45玉 18角 27飛 36香 37
 飛生 31香生 18歩生 まで 10手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							香		一
									二
									三
									四
						王			五
							香		六
						飛			七
						王		飛	八
									九

持駒 なし

受賞コメント 神無太郎

練り上げた作品が評価され、うれしく思います。推敲はするものですね。

★ 3月11日の大震災の復興を祈念して開催された「がんばろう日本！祈念作品展」の1作。正解者0を見ても分かるように難解かつ華麗な1作。

橋本孝治 1位

昨年度の神無太郎氏の作品群、特にスタイルメイト系の作品はどれもレベルが高かった

のですが、本作の収束はなかなか忘れられません。手の切れ味、鮮やかさという点では本作が最高だと思います。

若林 1位

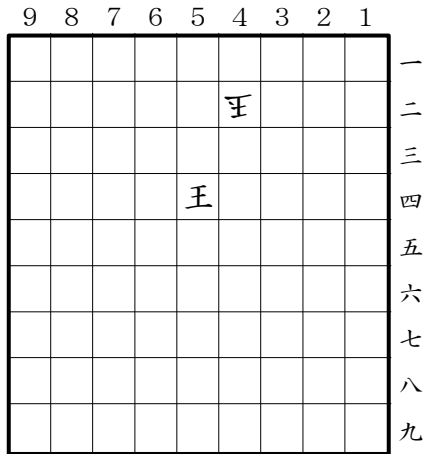
とびきり美しい収束にとびきり巧な序。37飛の前に37香が入るのが特に良いです。

🌸 2位 短19 神無太郎 2011/7

第34回 WFP 作品展 34A-6

対面協力白玉スタイルメイト 12手

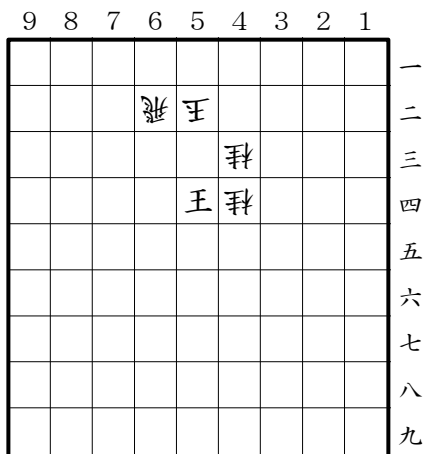
8pt



持駒 金

53金 52飛 同金 51桂 45飛 44桂 33飛成 52玉 63龍 62飛 43龍 同桂 まで 12手

詰上図



持駒 なし

受賞コメント 神無太郎

二段桂には作者も驚きました。

★51 に打った桂が最終手にもう一度跳ねる順は双裸玉とは思えない手順。

酒井博久 1位

派手ではないが、まとまりを買う。

たくぼん 2位

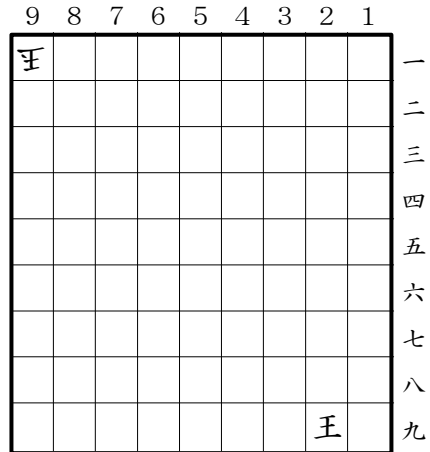
3手目飛を取っての51桂には度肝を抜かれました。

🌸 3位 短1 神無太郎 2011/2

第30回 WFP 作品展 30-1

安南協力白玉スタイルメイト 12手

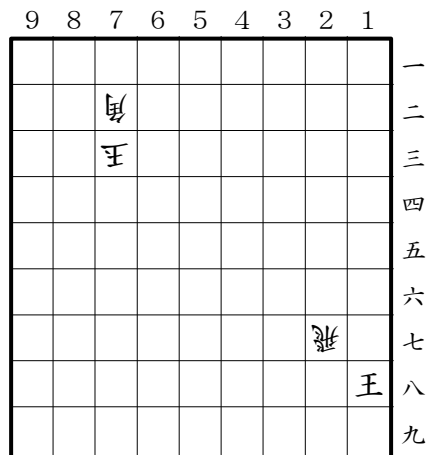
7pt



持駒 角金銀2

19角 82角 81金 同玉 18王 27飛 72銀 同角 82角成 同玉 73銀 同玉 まで 12手

詰上図



持駒 なし

受賞コメント 神無太郎

実は、同時出題された作品（持駒角歩3）の推敲過程の副産物。このルールで金銀3枚の持駒は珍しいかも。

★ 担当者の「様式美を備えた手順」という言葉がピッタリの美しい作品。

変寝夢 1位

手順の流れが美しく感じた。

酒井博久 3位

短評なし

4位 短50 神無太郎 2011/8

第11回詰四会フェアリー作品展3番
対面ばかり自殺スタイルメイト 10手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
						王			四
									五
						王			六
									七
									八
									九

持駒 金

25金 24飛 45金 44飛 同金 同玉
84飛 83角 48飛 47角打 まで 10手

小峰耕希 1位

大駒4枚を立て続けに出現させた後の48飛が感触の良い手。私は駒を斜め方向に大きく動かす短編作品が好きなのですが、角以外でもそれを表現できる性能変化系の特性が活きている。

4位 短65 小林看空 2011/12

第2回フェアリー短編コンクール02-04修正図
Koko協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
						王			二
							王		三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 香歩

5pt

5pt

14歩 24玉 33王 13玉 12香 まで 5手

たくぼん 1位

実は解けなかった。新ルールの盲点にはまりまくりでどっぷり解図の奥深さを感じさせられた作品。修正図だが私のインパクトは本作が断トツ。

6位 短2 神無太郎 2011/2

第30回WFP作品展 30-2
安南協力自玉スタイルメイト 14手

4pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
王									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
							王		九

持駒 角歩3

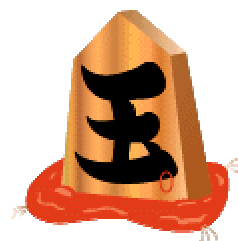
73角 81玉 72歩 71玉 28角成 72玉
73歩 同玉 19王 37飛 74歩 同玉
38馬 同飛成 まで 14手

橋本孝治 2位

性能変化を使って開き王手以外で開き王手と同様の効果が得られることを強烈に印象付けた作。元の利きの復元が、二重に行われるのも構成の妙。

酒井博久 次点

短評なし



7位 短 17 神無太郎 2011/7
 第34回 WFP 作品展 34A-2
 対面協力自玉スタイルメイト 10手

3pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
								三
					王	王		四
								五
								六
								七
								八
								九

持駒 角

66角 65飛 26角 25銀 17角 16飛 77角 43玉 33角成 32桂 まで 10手

変寝夢 2位

対面で角や桂を滑らせるのは定番だが、ここまで続くかと驚いてしまう。

7位 短 21 神無太郎 2011/7
 第34回 WFP 作品展 34B-2
 安北協力自玉スタイルメイト 14手

3pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
								三
								四
								五
								六
						王		七
								八
								九

持駒 桂3香3

29桂 26玉 28香 27角 38桂 53玉 45桂 同角成 54香 同玉 46桂 同馬 55香 同馬 まで 14手

酒井博久 2位

短評なし

7位 短 31 神無太郎 2011/11
 第38回 WFP 作品展 38-2
 マドラシ協力詰 7手

3pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
								三
								四
								五
								六
								七
								八
							王	九

持駒 金4

29金 39金 18金打 29玉 28金打 38金打 19金打 まで 7手

小峰耕希 2位

「持駒∞」が単純ながら良いアイデア。

7位 短 101 小峰耕希 2011/12
 第2回フェアリー短編コンクール 02-11 修正図
 強欲協力詰 6手 (受先)

3pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
							王	二
								三
								四
								五
								六
								七
								八
								九

持駒 なし

21香 29王 28香 同飛 88馬 99香 まで 6手

橋本孝治 次点

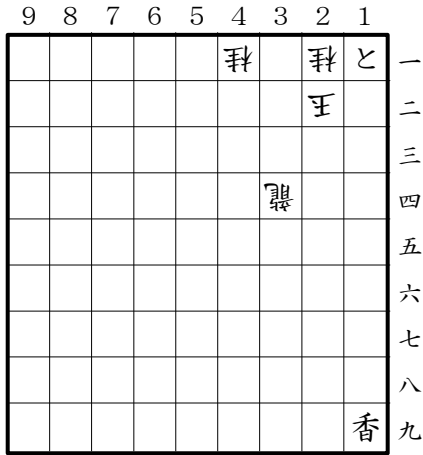
新手筋はそれだけで一定の価値あり。修正図ですが一票を投じます。

たくぼん 3位

強欲ルールの新しい分野を切り開いてくれ

た。

7位 短 25 縫田光司 2011/9
第36回 WFP 作品展 36-8
アンチキルケレトロ協力詰 -2/1手



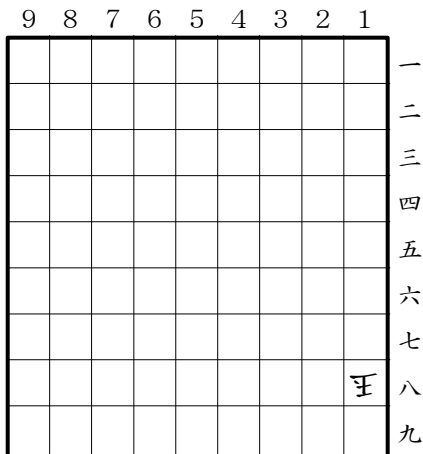
持駒 金

出題図までの手順：32 龍/28 龍 同桂生/21 桂 まで 2手
逆算図からの詰手順：13 香成 まで 1手

若林 2位

縫田氏の作品としてはルールの珍しさをさておけば単純に楽しい作品です。レトロに手を出す方が増えることも願って。

1 2位 短 30 神無太郎 2011/11
第38回 WFP 作品展 38-1
マドラシ協力詰 7手



持駒 金4

17 金 28 玉 27 金打 29 玉 28 金打 19 玉 18 金打 まで 7手

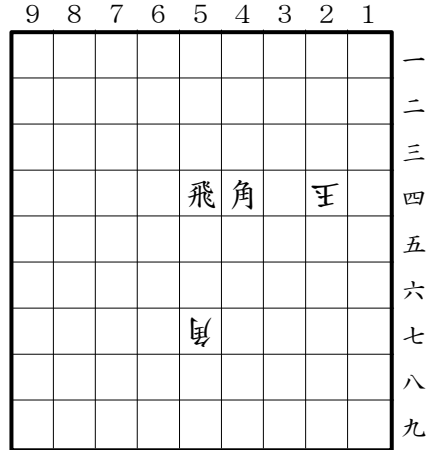
変寝夢 3位

マドラシを石化を使わずに表現していること自体がびっくり。

1 2位 短 52 洞江元太 2011/4

がんばろう日本！祈念作品展第1番

Isardam 協力詰 a)Aタイプ b)Bタイプ 3手 2pt



持駒 なし

a)Aタイプ b)Bタイプ

a) 22 角生 14 飛 13 角生 まで 3手

b) 33 角生 35 玉 24 角生 まで 3手

若林 3位

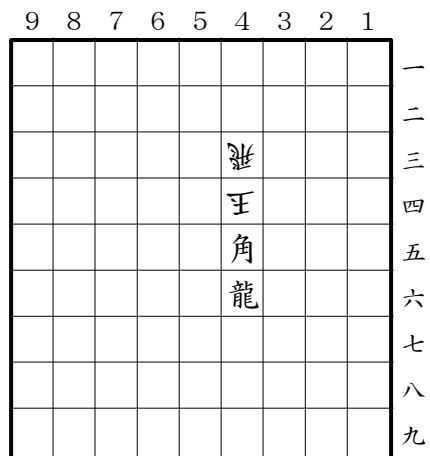
美しい原理図というのが褒め言葉になるかは分かりませんが、好みです。

1 2位 短 27 変寝夢 2011/10

第37回 WFP 作品展 37-3

キルケ協力詰 5手

2pt



持駒 なし

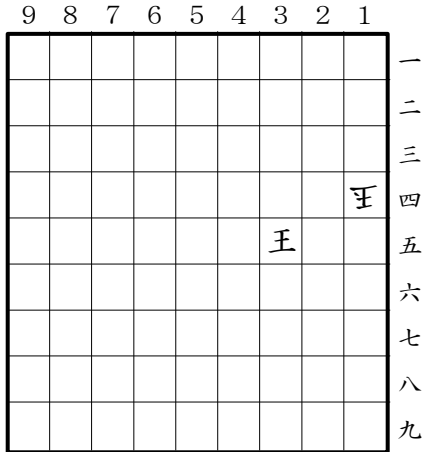
55 龍 35 玉 34 角 同玉/88 角 25 龍 まで 5手

橋本孝治 3位

縦の砲台を横の砲台に組み替え、更に砲台と弾を入れ替えた斜めの砲台に組み替える。象形要素を除いても、論理的な美だけで充分通用する作。

1 5位 短 35 神無太郎 2011/11
 第 38 回 WFP 作品展 38-6
 マドラシ成禁協力詰 13 手

1pt



持駒 桂

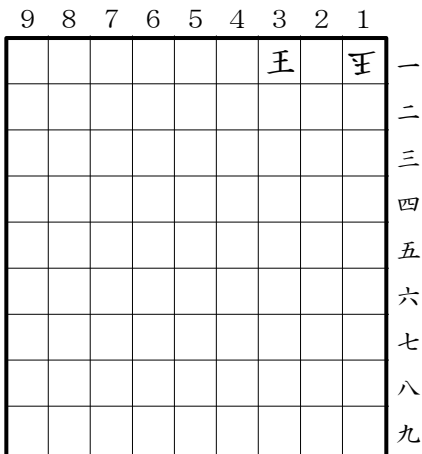
26 桂 34 桂 同王 13 玉 25 桂 33 桂 同王 12 玉 24 桂 32 桂 同王 11 玉 23 桂 まで 13 手

橋本孝治 次点

理屈は不要。これもまた詰将棋の価値の一つです。

1 5位 短 44 神無太郎 2011/8
 Fairy of the Forest #28-04
 協力詰 9 手

1pt



持駒 桂3

23 桂 12 玉 11 桂成 13 玉 12 成桂 同玉 24 桂

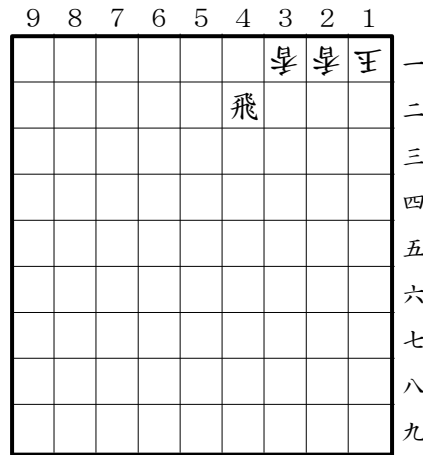
11 玉 23 桂 まで 9 手

橋本孝治 次点

歩 1 枚なら 2 手でやれることを、桂で 6 手掛けて行う。小品ですが、この作品が忘れられたら勿体ない。

1 5位 短 42 神無八級 2011/8
 Fairy of the Forest #28-02
 協力詰 7 手

1pt



持駒 桂3

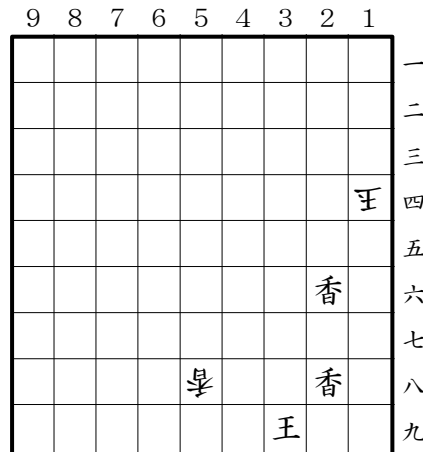
22 飛成 同香 23 桂 12 玉 24 桂 21 玉 13 桂 まで 7 手

たくぼん 次点

簡単ですが、協力詰初心者に出題してみたい作品。

1 5位 短 53 小峰耕希 2011/4
 がんばろう日本！祈念作品展第 2 番
 対面協力白玉詰 12 手

1pt



持駒 香

19 香 18 飛 同香 16 角 94 飛 84 飛 同飛 83 角 74 飛打 73 角 29 飛 84 角 まで 12 手

橋本孝治 次点

自分が解けなかったので1票。後から考えるとなぜ解けなかったか不思議に思うのですが、

15位 短48 たくぼん 2011/8
第11回詰四会フェアリー作品展第1番
協力詰 11手

1pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
		飛							三
									四
									五
									六
									七
			王	飛					八
角	角								九

持駒 なし

77 角 57 玉 66 角 46 玉 55 角 35 玉 44 角 24 玉 33 角成 13 玉 23 角成 まで 11 手

酒井博久 次点

単純だが、面白い

【総評】

橋本孝治

Koeko など新ルール系は投票見送り。目新しさはあるものの、まだまだこれからという印象を受けました。むしろ既存ルールの深耕が進んだことを強く感じる年でした。

酒井博久

太郎さんの協力自玉スタイルメイトが充実していました。短2 1・1・2は、いずれも派手な展開。読みづらと思います。

若林

数が多いので大変かと思いましたが、素直に好みの作をピックアップしていったら以外とあっさり決まりました。

【中編部門】

投票者：橋本孝治、小峰耕希、酒井博久、変寝夢、若林、たくぼん 計6名

中編部門の投票者は6名でした。

中編部門の1位に輝いたのは、短編に続き神無太郎氏の中24・グラスホッパー王ばか自殺スタイルメイト36手。投票者も良く分からない感覚での投票でした？が内容は一級品。何度も並べて初めて理解できるのかもしれませんが。2位は打って変わって楽しめる場所を移動しての「1」→「1」の神無七郎氏の立体曲詰。趣向的手順の中、奇跡的な一品。3位は再び神無太郎の安南協力スタイルメイト。

🌸 1位 中24 神無太郎 2011/8
第11回詰四会フェアリー作品展第5番
グラスホッパー王ばか自殺スタイルメイト 36手

13pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
				王					四
					G				五
						G			六
									七
									八
									九

持駒 金銀桂3

67 桂 37G 29 桂 77G 78 銀 79G 68 金 19 G 79G 39G 49 桂 19G 37 桂左 69 角 59G 46G 19G 28 飛 57 金 68G 58 金 同飛成 69 銀 同龍 13 角 46 飛 同角成 66G 63 飛 64 角 55 馬 63G 75 桂 同角 64 馬 同角 まで 36 手

受賞コメント 神無太郎

「大駒4枚使用」の課題がなければ陽の目を見なかったであろう解説不能な作品。向こう見ずな出題を敢行してくださったたくぼんさんと、果敢に解答を寄せてくださった七郎さんに感謝。持つべきものは同志ですね。

★ 何度並べても理解するのが難しい内容。独特の嗅覚が必要かもしれません。正解者は橋本

さん1名のみ。これを解いてくる解図力にも脱帽です。

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
			金						三
			銀						四
									五
									六
							桂		七
									八
			馬				桂	G	九

持駒 なし

橋本孝治 2位

グラスホッパー+ステイルメイト。いかにも大技が出そうな設定から、期待を裏切らない手順が出てきます。盤上にこれといった仕掛けがなくても、組み立て→解体のストーリーが出てくるのですから、フェアリーは面白い物です。

小峰耕希 1位

全然理解出来てないけど、凄い事をやっているような気がする。

変寝夢 1位

並べても理解できないところがかっこよく感じました。

2位 中30 神無七郎 2011/11 年賀詰作品展 年賀3 強欲成禁協力詰 45手

9pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
							銀		五
							銀		六
							銀		七
							銀		八
							王		九

持駒 歩5

28 銀 38 玉 27 銀上 37 玉 26 銀引 46 玉 47 歩 56 玉 45 銀 47 玉 36 銀上 46 玉 35 銀右 55 玉 56 歩 65 玉 54 銀 56 玉 45 銀上 55 玉 44 銀右 64 玉 65 歩 74 玉 63 銀 65 玉 54 銀上 64 玉 53 銀右 73 玉 74 歩 83 玉 72 銀 74 玉 63 銀上 73 玉 74 歩 82 玉 71 銀 同玉 62 銀右 82 玉 73 銀 71 玉 72 銀右 まで 45手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
			王						二
			銀						三
			銀						四
			歩						五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

受賞コメント 神無七郎

年賀詰で一番悩むのは「ネタ」を何にするかです。お正月らしく軽く、気の利いたネタを…と思うのですが、なかなか思うようにはいきません。もし何も思いつかなければ初形曲詰を作ることにしているのですが、今回は偶然に詰上りも曲詰になって、立体曲詰だと主張することができました。趣向自体は強欲協力詰ではありますが、年賀詰ということで、投票者の皆さんも大目に見てくださったのだと思います。

★ 「1」→「1」の立体曲詰での年賀詰。この全ての条件含めての作品的価値の評価でしょう。成禁条件をうまく使うことで限定させています。決してマイナスとは思いませんね。

たくぼん 1位

強欲フリークとしては羨ましいほどの作品。

変寝夢 2位

フェアリーなのにスローな趣向が素敵です。

若林 次点

これは苦労しました。近年の強欲は楽しく難しい作品が多く喜ばしいことです。

3位 中9 神無太郎 2011/7
第34回 WFP 作品展 34B-3
安南協力白玉スタイルメイト 20手

7pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
				王		王			八
									九

持駒 桂2香2

69香 77玉 79香 78角 同香 同玉 67角 77玉 66桂 同玉 58角 67角 59桂 75玉 57王 58角生 67桂 76玉 68王 67角生 まで 20手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

受賞コメント 神無太郎

地味な感じの作品というのが私の印象でした。改めて作意を並べてみましたが、その印象には変わりはなく、推薦して下さった方々には申し訳なく思います。

★ 双裸玉の初形と持駒からこれだけ角の活躍する手順が出てくるとは予想もつかないだろう。23年度発表作の中でもトップ5に入る難解作であろう。

橋本孝治 1位

どれもレベルが高かった昨年度の神無太郎作品で、最も凄みを感じる作品がこれ。67と58を行き来する双方の角は、このルールに内在する人智を越えた「理」を示すかのようです。

たくぼん 次点

見た目からは信じられない応酬が繰り広げられる。

酒井博久 次点

短評なし

4位 中6 雲海 2011/5

第33回 WFP 作品展 33-2

協力白玉詰 46手

5pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
								角	角
								金	桂
								飛	銀
								王	王
								金	桂
								金	桂

持駒 なし

18飛 同玉 27銀 29玉 16銀 27飛 同飛 18玉 28飛 17玉 27飛 16玉 46飛 26銀 同飛上 17玉 28銀 18玉 27銀 29玉 36銀 27銀 同飛 18玉 28飛 17玉 27飛 16玉 47銀 26銀 同飛上 17玉 28銀 18玉 27銀 29玉 36銀 右 27銀 18銀 同玉 16飛 17銀 同飛 同玉 28銀 同銀生 まで 46手

酒井博久 1位

短評なし



4位 中8 神無太郎 2011/7
 第34回 WFP 作品展 34A-7
 協力自玉スタイルメイト 20手

5pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
						王			六
									七
									八
								王	九

持駒 桂4香4

49香 36玉 39香 37飛 48桂 46玉 38桂 同
 飛成 36桂 49龍 38桂 36玉 37香 同玉 26
 桂 39龍 29桂 26玉 27香 同玉 まで 20手

橋本孝治 3位

正解者ゼロが惜まれる作。盤上にない飛
 (龍)が影の主演になり、桂香が小気味よい
 リズムで趣向的な手順を繰り出します。決して、
 ただ煩雑なだけの作品ではありません。

たくぼん 3位

解けなかったので1票。詰上りの予想が違
 いましたね

酒井博久 次点

短評なし

4位 中3 神無七郎 2011/3
 第31回 WFP 作品展 31-4
 安騎成禁協力詰 28手

5pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
									一	
									二	
				王					三	
									四	
									五	
									六	
									七	
									八	
科	科							科	科	九

持駒 歩9

22角 54歩 64玉 65歩 75玉 76歩 86玉 87
 歩 96玉 97歩 85玉 86歩 74玉 75歩 63玉
 64歩 52玉 53歩 42玉 43歩 32玉 33歩 23
 玉 24歩 14玉 15歩 41玉 42歩 まで 28手

若林 1位

安騎で角にした王を歩で埋め立てる。
 Beautiful.

4位 中25 神無七郎 2011/4
 がんばろう日本！祈念作品展第4番
 PWC 協力自玉スタイルメイト 18手

5pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
						王			四
									五
									六
								王	七
								王	八
									九

持駒 飛2香3

47香 46桂 15飛 36玉 38飛 47玉/36香 17
 飛 37桂 48香 36玉/47香 37飛寄/17桂 25
 玉 29香 28角生 同飛/38角 27桂 同飛寄/37
 桂 26桂 まで 18手

小峰耕希 2位

フリーズした3段ロケットが印象的。

若林 3位

飛道具スタイルメイトとして、最終形を想定
 することすら難しい。香も4枚使いきるのは
 流石に難しいですか。



8位 中 10 神無太郎 2011/9

第36回 WFP 作品展 36-4

協力詰 29手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
					角	角		香	六
						銀	香		七
					香	金			八
						龍	香	歩	九

持駒 香2

18香 27玉 38金 同飛生 28歩 同飛生 38龍
同飛生 29香 28飛打 同香 同飛生 38銀 同飛
生 29飛 28香 同飛 同飛生 38角 同飛生 29
香 28角 同香 同飛生 49角 38歩 同角 同飛
成 28歩まで 29手

酒井博久 2位

短評なし

8位 中 5 神無七郎 2011/4

第32回 WFP 作品展 32-7

対面成禁協力詰 21手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				飛	飛				一
					玉				二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 桂

64桂 63飛 44桂 53玉 52桂生 64玉 56桂生
55飛 76桂 65玉 64桂 76玉 68桂 67飛生
88桂 87飛生 68桂 86玉 56桂 95玉 96桂
まで 21手

若林 2位

作品的価値としては 53 手のほうが上かもし
れませんが、対合がないこちらのほうが個人
的には楽しめました。いや、こちらしか解け
なかったんですけど。

3pt

8位 中 29 神無七郎 2011/6

JIGSAW BOX #6 06-05

対面取禁協力詰 47手

3pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							香	香	一
						香			二
									三
				入					四
						玉			五
									六
							香		七
									八
						桂			九

持駒 なし

57桂 54玉 65桂 43玉 55桂 32玉 43桂生
22玉 34桂生 33飛 14桂 13角 32桂生 23
玉 22桂生 34玉 26桂生 25龍 46桂 45龍 26
桂 23玉 14桂 24玉 36桂 35龍 16桂 15角
34桂 25玉 14桂 16玉 36桂 26銀 27桂 25
玉 16桂 36玉 27桂 47玉 36桂 38玉 27桂
49玉 16桂 48玉 49桂 まで 47手

たくぼん 3位

握り詰で 49 桂が還元する構成は見事です。

3pt

8位 中 23 小林看空 2011/10

Fairy of the Forest #29-04

協力詰 47手

3pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								銀	一
馬		銀	金	金			香	歩	二
	香	香	香	歩		香		玉	三
			香	香	香				四
						香	香		五
玉				角		香	香		六
	香		歩			香			七
									八
					入				九

持駒 香

19香 18歩 同香 17桂 同香 16桂 同香 15桂
同香 14桂 同香 24玉 16桂 15玉 27桂 16
玉 28桂 27玉 39桂 28玉 29歩 39玉 93馬
84桂 同馬 75桂 同馬 66桂 同馬 37桂 同馬
48と 同馬 同玉 49歩 57玉 69桂 56玉 68
桂 65玉 66歩 75玉 67桂 84玉 76桂 74玉
86桂 まで 47手

橋本孝治 次点

四桂連合をさらっと2回。いとも簡単に妙技
を出すのが職人の腕。

酒井博久 次点

短評なし

若林 次点

後半だけでも充分なのに前半まで組み込まれ
ては脱帽。

1 2 位 中 11 神無太郎 2011/9

第 36 回 WFP 作品展 36-5

打歩協力詰 27手

2pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
							銀		四
					銀				五
				角	科	歩		龍	六
				金	王			香	七
			龍			歩	王		八
					歩	角		歩	九

持駒 なし

26龍 同玉 48角 37飛 同角 同玉 47金 26玉
37金 同玉 97飛 87歩 同飛 77龍 同飛 67金
57飛 同金 同飛 47飛 48金 26玉 27歩 同飛
生 37金 同飛成 27歩 まで 27手

酒井博久 3位

短評なし



1 2 位 中 21 たくぼん 2011/8

Fairy of the Forest #28-05

協力詰 47手

2pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
角	銀	銀	金		銀	銀	金	角	五
歩	歩	香	香	歩	香	歩	歩	龍	六
					ス	歩		飛	七
				歩	王				八
王	王	ス			ス	ス		王	九

持駒 桂2香歩4

18飛 57玉 59香 58と 同香 68玉 57香 38
歩成 69歩 67玉 59桂 同と 68歩 57玉 17
飛 48玉 49歩 同と上 18飛 57玉 17飛 68
玉 18飛 48と 69歩 67玉 17飛 47と 68歩
同玉 18飛 58と上 69歩 57玉 17飛 48玉 18
飛 38と 49歩 47玉 17飛 37と 48歩 38玉
18飛 27玉 39桂 まで 47手

酒井博久 次点

短評なし

若林 次点

作品集では是非龍に協力詰。やりたいことが
明確なのに難しい好みの中編。改良案は流石
です。

1 4 位 中 18 神無七郎 2011/1

Fairy of the Forest #26-03

協力詰 41手

1pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
				歩					二
				歩		香			三
金	歩				香				四
歩			桂			香	金	銀	五
			王	桂			香	王	六
歩	歩	龍							七
桂	歩			歩			銀	歩	八
			金	桂					九

持駒 なし

17 銀 27 玉 28 銀 36 玉 37 銀 45 玉 46 銀 54 玉 55 銀 63 玉 64 銀 74 玉 75 銀 85 玉 86 銀 96 玉 97 銀 85 玉 86 銀 74 玉 75 銀 63 玉 64 銀 54 玉 55 銀 45 玉 46 銀 36 玉 37 銀 27 玉 28 銀 38 玉 39 銀 37 玉 38 歩 36 玉 37 歩 27 玉 28 銀 16 玉 17 歩 まで 41 手

酒井博久 次点

短評なし

【総評】

橋本孝治

普通に選んだら神無太郎氏作ばかりになってしまいました。昨今の氏の充実ぶりからすれば、当然でしょうか。

酒井博久

ここも太郎氏の充実ぶりが目立ちます。ただし、1位は雲海作にしました。あと、FOFから3作。

若林

今回は最初は3作だけ選ぶ方針だったのですが、全く絞りきれず観念しました。

【長編部門】

投票者：橋本孝治、小峰耕希、酒井博久、若林、変寝夢、神無太郎、たくぼん 計7名

長編部門の投票者は7名でした。

長編部門の1位に輝いたのは、雲海さんのナイト王成禁協力詰 87 手、Onsite Fairy Mate 最期の出題で、解説での解析は近来稀なる論考と言える。2位にも雲海氏の 306 手の協力自玉詰が入り、雲海氏のワンツーフイニッシュとなりました。関東に引越し後休眠中の作者ですが、これを機に復活を期待したところです。3位には神無七郎氏の対面取禁協力詰が入りました。WFP 担当として頑張っておられますが、氏の長編を待っている方もたくさんいるはずでたくさんの方の発表をお願いいたします。



🌀 1位 長 11 雲海 2011/1/16
Onsite Fairy Mate 第 167 回出題
ナイト王成禁協力詰 87 手

17pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
			歩	歩					一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
			歩	駒	歩				八
									九

持駒 歩

59 歩 46 駒 47 歩 38 駒 39 歩 57 駒 58 歩 45 駒 46 歩 37 駒 38 歩 56 駒 57 歩 68 駒 69 歩 76 駒 77 歩 55 駒 56 歩 67 駒 68 歩 46 駒 47 歩 54 駒 55 歩 66 駒 67 歩 47 駒 48 歩 28 駒 29 歩 36 駒 37 歩 55 駒 56 歩 67 駒 68 歩 75 駒 76 歩 54 駒 55 歩 35 駒 36 歩 27 駒 28 歩 46 駒 47 歩 34 駒 35 歩 26 駒 27 歩 45 駒 46 歩 66 駒 67 歩 74 駒 75 歩 53 駒 54 歩 65 駒 66 歩 73 駒 74 歩 52 駒 53 歩 33 駒 34 歩 25 駒 26 歩 44 駒 45 歩 32 駒 33 歩 24 駒 25 歩 43 駒 44 歩 64 駒 65 歩 72 駒 73 歩 84 駒 85 歩 63 駒 64 歩 51 駒 52 歩 まで 87 手

受賞コメント 雲海

相馬康幸氏の言葉を借りれば捕まえた作品。今まで自分の名を冠して発表した作品の中で1番気に入っています。恥ずかしながら、この作品の本質に気づかず投稿してしまったのですが、太郎さんの証明を見て目から鱗が落ちました。この作品の本質を分析して頂いた太郎さんと詳細で分かり易い解説をして頂いた七郎さんにお礼を申し上げます。

★ 見えないところにこれほど奥深い部分が潜んでいるとは、解説と作品と一体となって評価されたと言ってもいいでしょう。

橋本孝治 1位

この作品には多くの不可視・不可逆の落とし穴が空いています。私もその落とし穴に入り、すぐ隣にある正解に至る道に、なぜ飛び移れないのだろう、なぜ戻れないのだろう、と首を傾げるばかりでした。数学的手法で落とし

れても良かったのですが、まだ発展性があるはず、ということで敢えて次点にしました。

3位 長2 神無七郎 2011/4
第32WFP 作品展 32-8
対面取禁協力詰 53手

11pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
			桂	玉	王	飛	龍		一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 桂

52桂 42玉 34桂生 33飛 54桂 53飛 34桂
 52玉 22桂生 63玉 52桂生 62玉 74桂生 73
 飛 54桂 52玉 62桂生 43玉 52桂生 33玉 34
 桂生 25玉 22桂生 34玉 52桂生 43金 74桂
 生 33玉 34桂 25玉 22桂生 35玉 62桂生 34
 玉 44桂生 55金 52桂生 43金 74桂生 33玉
 34桂 25玉 22桂生 35玉 62桂生 34玉 44
 桂生 35金 52桂生 44玉 74桂生 43玉 44桂
 まで 53手

受賞コメント 神無七郎

この作の受賞に関しては、対面取禁というルールに助けられた要素が強いのと思います。「取禁」は途中で持駒が増えることがないので、詰上り手余りに悩まされません。「対面」は合駒以外でも受方の駒を発生させることができます。これらは作図上とても都合の良い性質です。本作で初形が「一」になったのは偶然ですが、フェアリーにはまるで詠えたような作品が眠っていることがしばしばあるので、今回は運よくそれに行き当たったということでしょう。また、fmに取禁機能を付けてくれた神無次郎さんにも感謝したいと思います。「持駒が増えない」「合駒以外でも受方の駒を発生させられる」という特徴を持つルールは、「取禁」「対面」以外にもあるので、また違う組合せも試してみたいと思います。

★ 持駒桂1枚で53手。手順も複雑で難解。初形は美しい横一線だが…。

小峰耕希 1位

初形も手順も申し分のない内容。

変寝夢 1位

美しい。奇跡的な作品。

たくぼん 次点

解けなかったことが悔やまれるほどの内容。

4位 長8 たくぼん 2011/8

第35WFP 作品展 35-4

協力白玉詰 76手

9pt

後手：持駒なし

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
								入	二
									三
	銀								四
歩	歩	金	金	金					五
	王	歩	歩	歩					六
					歩				七
香		飛			香	銀			八
馬	王	桂			香				九

持駒なし

88飛 77玉 68飛 同玉 77馬 69玉 87馬 68
 玉 86馬 77飛 同馬 同玉 97飛 87角 同飛
 68玉 13角 同と 88飛 78角 同飛 57玉 24
 角 同と 77飛 67角 同飛 58玉 57飛 69玉
 59飛 68玉 35角 77玉 57飛 68玉 87飛 35
 と 88飛 78角 同飛 57玉 46角 同と 77飛
 67角 同飛 58玉 57飛 68玉 58飛 77玉 57
 飛 同と 59角 68飛 同角 同と 57飛 67角 同
 飛 同と 99角 88飛 同角 86玉 77角 同と
 88飛 87角 同飛 同と 97角 77玉 88角 同と
 まで 76手

若林 1位

呼び出しというと普通は繰り返し手順となったものですが、これは別格。「同とじゃない！」の衝撃は2011年のフェアリー一番。

酒井博久 3位

短評なし

小峰耕希 次点

初形からしてと金の呼び出しが見え見えなだけに、凝った不規則趣向が飛び出す展開は予想外だった。

橋本孝治 次点

定常と逸脱の混在する不規則趣向の魅力を示

す作。これを破綻なくまとめるのは難しく、8・9筋の配置に作者の苦闘の後が残っています。

5位 長12 雲海 2011/1
Fairy of the Forest #26-04
 協力詰 89手

5pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
					銀	銀	歩		三
				銀	歩	歩	飛	香	四
			銀	桂	桂		歩	歩	五
			金	香					六
			金	香		桂			七
			金	香				王	八
			金	飛	桂				九

持駒 角

36角 27角 同角 29玉 47角 38歩 同角右 18玉 29角 27玉 36角 同玉 18角 27角 同角 47玉 29角 38歩 36角 同玉 18角 27角 同角 47玉 38角 36玉 47角 27玉 36角 28玉 19角 29玉 47角 38歩 同角 18玉 27角 29玉 18角 39玉 28角 48玉 39角 47玉 29角 38歩 同角 36玉 47角 26玉 17角 15玉 16歩 同玉 38角 17玉 18歩 同玉 29角 17玉 18歩 16玉 38角 27角 17歩 同玉 18歩 同玉 27角 29玉 47角 38歩 同角右 18玉 29角 17玉 18歩 16玉 17歩 27玉 36角 同玉 18角 27角 同角 26玉 35角 15玉 16歩 まで89手

橋本孝治 2位

主題の先打突歩詰が霞んでしまうほどの手数短縮のマジック。角2枚の往復運動と回転運動の両方が可能で、どこでどう切り替えるか、「どこでも同じ」が「実は違う」に変わるまで、ずいぶん盤上を彷徨いました。

酒井博久 次点

短評なし

たくぼん 次点

チャレンジしたかった内容の作品でした。忙しい時期と重なり申し訳ない次第。

5位 長14 神無七郎 2011/8
Fairy of the Forest #28-06
 協力詰 71手

5pt

後手持駒：桂

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
				金	香				四
				銀	王	王			五
				皇	桂	王		歩	六
				飛					七
				王					八
					王		入		九

持駒 歩16

37歩 27玉 28歩 17玉 36歩 27桂 18歩 26玉 27歩 36玉 37歩 27玉 39桂 同成銀 28歩 18玉 19歩 17玉 36歩 27桂 18歩 26玉 27歩 36玉 37歩 27玉 28歩 26玉 38桂 同成銀 27歩 同玉 28歩 18玉 19歩 17玉 36歩 27桂 18歩 26玉 27歩 36玉 37歩 27玉 28歩 同成銀 36歩 26玉 18桂 同成銀 27歩 17玉 26歩 47桂 18歩 27玉 38銀 36玉 47銀 45玉 37桂 まで71手

酒井博久 2位

短評なし

たくぼん 3位

難易度と謎解きのベストマッチ。

7位 長15 小林看空 2011/8
Fairy of the Forest #28-07
 協力詰 79手 「風船虫」

4pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
			飛	角	銀	銀	銀	銀	四
		桂	飛	歩	歩	歩	桂	歩	五
		金	香						六
		金	香			王			七
		金	香	入			桂		八
		金	香		入			角	九

持駒 桂

36 桂 同玉 28 桂 46 玉 36 桂 28 歩 同角 57 玉 39 角 48 と寄 同角 46 玉 57 角 37 玉 48 角 28 玉 29 歩 17 玉 39 角 26 玉 48 角 37 桂 同角 17 玉 28 角 26 玉 17 角 36 玉 48 桂 46 玉 28 角 37 桂 同角 57 玉 46 角 48 玉 57 角 37 玉 48 角 27 玉 39 桂 同と 28 歩 同玉 39 角 27 玉 28 歩 26 玉 48 角 37 桂 同角 17 玉 26 角 28 玉 37 角 39 玉 48 角 28 玉 39 角 27 玉 28 歩 26 玉 48 角 37 桂 27 歩 17 玉 39 角 28 歩 同角 27 玉 39 桂 26 玉 37 角 17 玉 28 角 26 玉 27 歩 36 玉 48 桂 まで 79 手

橋本孝治 3位

たとえ長編でも細部は大切。序の4手でこの作への評価が跳ね上がりました。予定調和という言葉がありますが、こういう予定調和は大歓迎です。

酒井博久 次点

短評なし

たくぼん 次点

1筋ではなく3筋で詰上げるのに驚いた。

8位 長3 たくぼん 2011/8

第33回 WFP 作品展 33-3

強欲協力詰 63手

3pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
		銀	金		金				四
									五
						銀		金	六
						銀			七
									八
	金						王	銀	九

持駒 歩18

38 銀 同玉 27 銀 同玉 18 銀 16 玉 17 歩 26 玉 27 歩 35 玉 36 歩 44 玉 45 歩 同玉 46 歩 36 玉 37 歩 同玉 38 歩 同玉 29 銀 27 玉 28 歩 17 玉 18 歩 26 玉 27 歩 同玉 28 歩 37 玉 38 銀 46 玉 47 歩 56 玉 65 銀 55 玉 56 銀 64 玉 65 歩 75 玉 76 歩 同玉 67 銀 65 玉 66 歩 75 玉 76 歩 86 玉 87 歩 同玉 88 歩 77 玉 78 銀 76 玉 77 歩 66 玉 67 銀 77 玉 78 銀 86 玉 87 銀 97 玉 98 金 まで 63 手

若林 2位

18 銀の壁を超えた時点で力尽きました。たくぼん氏の強欲からはこれを。

9位 長4 小峰耕希 2011/5

第33回 WFP 作品展 33-5

成禁協力自玉詰 330手

「King On The Silver Mountain」

2pt

成禁協力自玉詰 330手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	一
馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	二
馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	三
馬	馬	歩	馬	馬	馬	馬	馬	馬	四
馬	馬	馬	馬	馬	桂	馬	馬	馬	五
馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	王	六
馬	馬	馬	馬	馬	桂	王	王	王	七
馬	馬	馬	馬	馬		銀	銀	桂	八
馬	馬	馬	桂	王	歩	桂	銀	王	九

持駒 麒163

48 麒 同銀 57 麒 同銀右引 68 麒 同玉 59 麒 同銀左 48 麒 同銀上 57 麒 同銀右 66 麒 同銀右引 77 麒 同銀引 88 麒 同銀左引 79 麒 同玉 68 麒 同銀右 77 麒 同銀右引 88 麒 同玉 79 麒 同銀左 68 麒 同銀右上 77 麒 同銀右 86 麒 同銀右引 97 麒 同玉 88 麒 同銀左上 77 麒 同銀右上 86 麒 同玉 97 麒 同銀引 88 麒 同銀左上 77 麒 同銀左上 66 麒 同銀右上 75 麒 同玉 86 麒 同銀左 77 麒 同銀左上 66 麒 同銀左上 55 麒 同角 64 麒 同銀右 73 麒 同銀右引 84 麒 同玉 75 麒 同銀上 64 麒 同銀右上 73 麒 同銀右 82 麒 同銀右引 93 麒 同玉 84 麒 同銀左上 73 麒 同銀右上 82 麒 同玉 93 麒 同銀引 84 麒 同銀左上 73 麒 同銀左上 62 麒 同銀右上 71 麒 同玉 82 麒 同銀左 73 麒 同銀左上 62 麒 同玉 71 麒 同銀 82 麒 同銀左引 73 麒 同銀左 64 麒 同銀左 53 麒 同銀左上 42 麒 同銀右上 51 麒 同玉 62 麒 同銀左 53 麒 同銀左上 42 麒 同玉 51 麒 同銀 62 麒 同銀左引 53 麒 同銀左 44 麒 同銀左上 33 麒 同銀左上 22 麒 同銀右上 31 麒 同玉 42 麒 同銀左 33 麒 同銀左上 22 麒 同玉 31 麒 同銀 42 麒 同銀左引 33 麒 同銀左 24 麒 同銀左 13 麒 同玉 22 麒 同銀引 33 麒 同銀左引 24 麒 同玉 13 麒 同銀右 22 麒 同銀右引 33 麒 同銀引 44 麒 同銀引 35 麒 同銀左 26 麒 同角 15 麒 同玉 27 桂 24 玉 15 麒 同角 26 麒 同銀右 35 麒 同銀

右上 44 麒 同銀左上 33 麒 同銀左 22 麒 同銀
 左引 13 麒 同玉 24 麒 同銀右上 33 麒 同銀左
 上 22 麒 同玉 13 麒 同銀引 24 麒 同銀右上
 33 麒 同銀右上 42 麒 同銀左上 31 麒 同玉 22
 麒 同銀右 33 麒 同銀右上 42 麒 同玉 31 麒
 同銀 22 麒 同銀右引 33 麒 同銀右 44 麒 同銀
 右 53 麒 同銀右上 62 麒 同銀左上 51 麒 同玉
 42 麒 同銀右 53 麒 同銀右上 62 麒 同玉 51
 麒 同銀 42 麒 同銀右引 53 麒 同銀右 64 麒
 同銀右上 73 麒 同銀右上 82 麒 同銀左上 71
 麒 同玉 62 麒 同銀右 73 麒 同銀右上 82 麒 同
 玉 71 麒 同銀 62 麒 同銀右引 73 麒 同銀右
 84 麒 同銀右上 93 麒 同玉 82 麒 同銀引 73
 麒 同銀右引 84 麒 同玉 93 麒 同銀左 82 麒
 同銀左引 73 麒 同銀引 64 麒 同銀引 75 麒 同
 玉 84 麒 同銀引 95 麒 同銀引 86 麒 同玉 75
 麒 同銀引 66 麒 同銀右引 77 麒 同銀右 88 麒
 同銀右上 97 麒 同玉 86 麒 同銀引 77 麒 同銀
 右引 88 麒 同玉 97 麒 同銀左 86 麒 同銀左引
 77 麒 同銀引 68 麒 同銀右引 79 麒 同玉 88
 麒 同銀左 77 麒 同銀左引 68 麒 同玉 79 麒
 同銀右 88 麒 同銀左上 77 麒 同銀左 66 麒 同
 銀左 57 麒 同銀引 48 麒 同銀引 59 麒 同玉
 68 麒 同銀左 57 麒 同銀左上 39 麒 同麒 まで
 330 手

小峰耕希 次点

わざわざ自薦するほどの内容でもないの
 ですが、従来の作例では「麒麟」の扱いが何と
 も不遇なので、今後に繋がって欲しいという
 意味で一票。

橋本孝治 次点

まだ発展の余地がありそうに思いますが、「麒
 麟」というほとんど未知の駒を使った往復趣
 向を、伏線などを交えながら手堅くまとめた
 点に1票を投じます。



9位 長5 たくぼん 2011/8

第35WFPP 作品展 35-1

強欲協力詰 75 手

2pt

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	香	と							銀	
二		歩	ス							
三	と		歩	ス						歩
四		と	ス						香	
五		と	と		王	角	桂			
六			歩			桂	と	香		
七		と		歩	科	歩		歩	香	
八	歩			香	銀	王		香		
九		銀	金	飛	手	金	龍	香		

持駒 なし

65 と 同玉 76 と 同玉 75 と 同玉 74 と 同玉
 63 角生 73 玉 72 角成 同玉 71 と 同玉 81 歩
 成 同玉 82 歩 同金 同と 同玉 83 歩 同玉 84
 歩 同玉 85 歩 同玉 96 金 同玉 97 歩 同玉 88
 金 同玉 89 飛 同玉 78 角 同玉 69 銀 同玉 59
 金 同全 同龍 同玉 48 銀 68 玉 57 銀 67 玉
 56 銀 同玉 48 桂 47 玉 37 と 同玉 49 桂 27
 玉 28 香 同玉 37 銀 17 玉 26 銀 同玉 25 金
 同玉 37 桂 24 玉 36 桂 13 玉 25 桂 22 玉 34
 桂 21 玉 33 桂生 12 玉 24 桂 11 玉 23 桂生 ま
 で 75 手

小峰耕希 3位

強欲の長編趣向作の探求は目下たくぼんさ
 さんの職人芸状態ですが、それらの作品の中
 でも逆算が一番巧くいったものの1つでは？
 私も「強欲」条件を利用した作例を複数発表
 していますが、たくぼんさんと私では方向性
 が全然違うので、次にどのようなアイデアが
 飛び出すのか楽しみにしています。



1 1 位 長 13 神無七郎 2011/4

Fairy of the Forest #27-056

協力詰 55 手

1pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
							ス	ス	四
						ス	ス	王	五
							ス	ス	六
						ス		ス	七
								ス	八
									九

持駒 桂3香3歩

27 桂 同と上左 16 香 同玉 28 桂 同と上左 17 香 同玉 29 桂 同と左 18 歩 16 玉 17 歩 15 玉 16 歩 同玉 19 香 18 香 同香 17 と上 同香 同玉 18 歩 16 玉 17 歩 15 玉 16 歩 同玉 19 香 18 香 同香 17 桂 同香 同玉 19 香 26 玉 18 桂 15 玉 26 桂 18 香 同香 17 香 同香 16 と 同香 同玉 19 香 18 香 同香 同と上 17 歩 26 玉 27 香 15 玉 16 香 まで 55 手

酒井博久 次点

短評なし

1 1 位 長 10 たくぼん 2011/9

第 36 回 WFP 作品展 36-7

協力詰 107 手

1pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
飛					飛	ス	皇		一
馬	歩	歩	金	歩		歩	科	科	二
		飛	歩			皇			三
					皇	ス	科	科	四
王				歩	歩	ス			五
					歩	ス			六
馬		歩	ス			歩	銀		七
				皇	王		ス		八
飛		皇				桂	香	飛	九

持駒 歩

93 馬 49 玉 38 銀 同玉 92 馬 39 玉 93 馬 38 玉 92 馬 48 玉 93 馬 47 玉 92 馬 57 玉 93 馬

56 玉 92 馬 66 玉 93 馬 65 玉 98 馬 64 玉 97 馬 54 玉 98 馬 53 玉 97 馬 43 玉 98 馬 42 玉 97 馬 32 玉 98 馬 42 玉 97 馬 43 玉 98 馬 53 玉 97 馬 54 玉 98 馬 64 玉 97 馬 65 玉 92 馬 66 玉 93 馬 56 玉 92 馬 57 玉 93 馬 47 玉 92 馬 48 玉 93 馬 38 玉 39 歩 同と 92 馬 48 玉 93 馬 47 玉 92 馬 57 玉 93 馬 56 玉 92 馬 66 玉 93 馬 65 玉 92 馬 54 玉 98 馬 53 玉 97 馬 43 玉 98 馬 42 玉 97 馬 32 玉 98 馬 23 玉 24 香 同桂 15 桂 12 玉 23 桂成 11 玉 22 圭 同と 23 桂 12 玉 11 桂成 13 玉 12 圭 23 玉 22 圭 同玉 23 歩 31 玉 97 馬 42 銀 22 歩成 41 玉 51 歩成 同銀 31 と まで 107 手

酒井博久 次点

短評なし

【長編部門・総評】

橋本孝治

コメントでも書きましたが、雲海氏作のナイト王成禁協力詰についての神無太郎氏の分析は作品の本質を炙り出す、大変優れたものだったと思います。「研究」に対する賞があったら、受賞級ではないでしょうか？

若林

ここは客観的とかいうことを言い出すといつまでたっても決まりません。えいや、と決めてしまいました。でもこちらも4作。

酒井博久

FOFの長編はいずれも捨てがたい。ただし、1位は中編に引き続き、雲海作。あと、たくぼん作も良かった。

【推理将棋・プルーフゲーム部門】

投票者：橋本孝治、DD++、はなさかしろう、若林、たくぼん 計5名

推理将棋・プルーフゲーム部門の投票者は5名でした。昨年同様、実際に解図されている方の投票が少ないのがちょっと残念です。

推理将棋・プルーフゲーム部門の1位に輝いたのは、吉田直嗣さんの推40「究極のステイルメイト」最近珍しい作図問題ですが、並べた図の美しさが素晴らしい1作。

2位はチャンプさんの推15「駒柱詰」12馬の巧手が評価されました。3位は、はなさかしろうさんの推18「馬術競技」。難解で意表を付く詰上りは一級品です。

1位 推 40 吉田直嗣 2011/10
詰工房オールカマー2011 局-1
究極のスタイルメイト

13pt

博士「将棋のスタイルメイトを知ってるか？」
 助手「指す手がない局面でしょ。知ってますよ」
 博士「持駒が残るスタイルメイトはどうだ？」
 助手「えー。そんなのできますか？あっそうか、
 持駒9枚までならできますね」
 博士「残す持駒はもっと増やせないか？ちょっと
 考えてみなさい」
 助手「はい。がんばります。博士」

後日・・・

助手「博士。できました」
 博士「そうか、持駒10枚ができたか」
 助手「いいえ。残す持駒は11枚です」
 博士「ほんとうか。それはすごい。成駒は何枚
 使ったの」
 助手「成駒は1枚だけです」
 博士「ちょっとその局面を将棋盤に並べてくれ
 ないか」
 助手「それでは・・・っと」
 助手が並べはじめ、盤面に銀を4枚おいたと
 ころ【出題図】で・・・

【出題図】

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
		銀			銀				一
									二
									三
									四
								香	五
									六
									七
									八
								銀	九

博士「なるほど、わかったよ。よくやったな。
 究極のスタイルメイトの完成だ。おめでとう」
 助手「ありがとうございます」

さて、究極のスタイルメイトとはどのような局
 面でしょうか？二人の会話を元に推理してくだ
 さい。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
金	金	銀	金	金	銀				一
歩	歩	歩	歩	歩	王	歩	香	香	二
					歩		香	王	三
							飛		四
							香	香	五
							香	香	六
							香	桂	七
							香	香	八
							香	香	九

持駒 歩11

受賞コメント 吉田直嗣

本作は持駒が多く残るスタイルメイト局面
 を求める駒並べ問題です。手順ではなく局面を
 推理する「推理将棋」形式での出題となりまし
 た。出題時に実際解いていただいた方は少ない
 と思いますので、投票1位というのは意外で驚
 きました。銀4枚の位置と成駒1枚の指定だけ
 のシンプルな条件で残り駒が全て限定できて謎
 解きの味もあり、自分でもとても気に入った作
 品です。解答ならびに投票してくださった皆様
 に感謝いたします。

たくぼん 1位

正解近いところまで行っていただけに解け
 なかったのは残念。全ての配置が限定されて
 いることにビックリの傑作。

橋本孝治 1位

スタイルメイト時の持駒は最大で10枚…と
 いう思い込みを打破した作品。盤上銀4枚と
 「成駒1枚」という、わずかな指定で配置が
 限定されているのにも感心します。

DD++ 2位

いくらでも非限定が残りそうなのに、銀4枚
 の位置だけで全部限定しているのは奇跡的。

2位 推 15 チャンプ 2011/6

詰将棋メモ 第45回出題 3番

駒柱詰 13手

7pt

少年A「13手で勝ったけど素直に喜べないよな
 ー。」

少年B「どうしたの？」

少年A「六段目の香打ちで駒柱が完成して詰み

だったんだよね。」
少年B「不吉だねー。」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

76歩 34歩 22角成 42玉 12馬 33玉 11馬
24玉 22馬 25玉 24角 14歩 26香 まで 13手

詰上り図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	銀	金		金	銀	科		一
	飛						馬		二
歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩		三
						歩	角	歩	四
							王		五
		歩					香		六
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
							飛		八
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	九

持駒 なし

受賞コメント チャンプ

数ある作品の中からこの作品が2位に選ばれたと連絡があり正直驚いております。手数+1条件ということが(少し甘い?)高評価につながったのではないかと考えています。作品のポイントとしては、縦横無尽に動けるはずの馬が、細かくちょこまかと動く様がユニークだというところが挙げられるかと思えます。上級としては難易度は低いですが手順と条件がピタリと決まったので満足しています。

ではここで今だから言える裏話を一つ。実はこの作品、先頃プロになったばかりのS四段と一緒に作った合作であります。彼の四段昇段の原動力は詰将棋だけではなく推理将棋も一役買っていたということをお伝えしておきます(笑)

これからも優れた作品をお届けできるよう微力ながら将棋普及に貢献して行きたいと思えます。最後になりましたが、たくさんの方々にご投票頂きましたこと厚く御礼申し上げます。

はなさかしろう 1位

一条件で馬の複雑な動きが決まる美しい作品でした。

たくぼん 次点

12馬に1票。

DD++ 次点

この条件で限定する上に12馬の妙手入り。秀作。

🏆 3位 推 18 はなさかしろう 2011/7

詰将棋メモ 第45回出題 3番

馬術競技 10手

6pt

「古い棋譜を見つけたよ。バロン西が作ったらしい」
「また適当なことを言って…ほう、10手で詰みか」
「角成が2回あって、馬の手も2手あるんだ」
「でも詰め上がりで敵陣にいる駒は馬が1枚だけ。慎ましいな」
「そうなんだ。馬術競技みたいだろ？」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

76歩 34歩 77桂 同角成 58玉 87馬 22角成
66桂 68玉 86馬 まで 10手

詰上り図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	銀	金	王	金	銀	科	皇	一
	飛						馬		二
歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	三
						歩			四
									五
	歩	歩	科						六
歩			歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
			王				飛		八
香		銀	金		金	銀	桂	香	九

持駒 なし

受賞コメント はなさかしろう

ありがとうございます。思い入れ深い6手無駄合いのバリエーション作り一枚加わる事ができました。自作でいちばん好きなこの一問を楽しんでいただけてなにより嬉しいです。

DD++ 1位

この手順は度肝を抜かれました。文句なしの傑作。

たくぼん 次点

ヒント無かったら解けなかったかもしれない。
これは凄い。

4位 推29 チャンプ 2011/11
詰将棋メモ 第50回出題 2番
直進流 15手

5pt

少年A「将棋には真っ直ぐ進める駒が多いよねー。」

少年B「そりゃまあ角と桂以外の駒は進めるからね・・・って今更何を言い出すんだい？」

少年A「いやね、昨日▲7八銀△5四歩から始まった将棋を見かけたんだけど。」

少年B「変な出だしたね・・・。それがどうかしたの？」

少年A「実はその後もお互いが駒を成らずに直進する手だけを指し続けて15手で詰んだんだよ。」

少年B「それは何とも皮肉な将棋だね。」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

78銀 54歩 56歩 52玉 55歩 53玉 54歩 同玉 26歩 55玉 25歩 56玉 26飛 57玉 48金 まで 15手

詰上り図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	香	桂	銀	金		銀	桂	香		
二		飛						馬		
三	歩	歩	歩	歩		歩	歩	歩	歩	
四										
五								歩		
六								飛		
七	歩	歩	歩	歩	王	歩	歩		歩	
八		角	銀			金				
九	香	桂		金	王		銀	桂	香	

持駒 歩

若林 1位

余詰は残念でしたが、この条件と手順が一番好きでした。

5位 推34 一乗谷酔象 2011/3

第10回詰四会フェアリー作品展 第2番

馬ががんばった堂々巡り 60手

3pt

「4手目から『同X』を連続して60手で勝ったんだ。同々の最長手数を達成したよ」

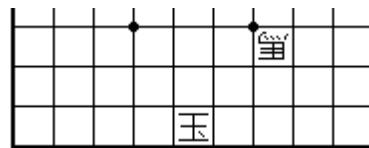
「まさか。ホントかい？理論上は58手が最長と聞いていたんだけど」

「馬が頑張った将棋だったよ。馬を取った角は、成ってから7種の駒を取ったんだ」

「まさか。ホントかい？角が品切れで残りは6種のはずだけど」

「そうなんだ。この局面を見てくれよ。」

--- (図は58手目 初王手の局面) -----



「58手目に37同馬と初王手を掛けた局面なんだ。ここで、合駒のない先手は、玉自ら48に突撃してきたので、60手目にありがたく48同馬と取ったのさ」

「なんだ59手目は反則だったか。もう少し詳しい手順を教えてください」

「後手の大駒が活躍したよ。後手は8回続けて大駒を動かした。3回連続飛車の手もあったし、3回連続角の手もあった。角が成った後、成ったばかりの馬が次の手から3回連続動いた。馬は、角以外の6種の駒を取った後、最後に玉を取ったんだ」

「ほかにはどんな手があったの？」

「22手目と46手目に金を取ったし、16手目と28手目は成香を取った。香が成って飛を取る手があった。端の香打ちがあった。不成はなかった」

さて馬ががんばった「同々」最長手順とは、どんな将棋だったでしょう。推理してください。

76歩 32飛 33角成 同角 66歩 同角 75歩 同角 36歩 同飛 96歩 同飛 86歩 同飛 93香成 同桂 85歩 同桂 77歩 同桂成 78金 同圭 16歩 同飛 26歩 同飛 13香成 同桂 97歩 同香成 46歩 同飛 97桂 同角成 96香 同馬 78銀 同馬 23飛成 同馬 56桂 同飛 同歩 同馬 38金 同馬 25歩 同桂 17飛 同香成 同桂 同桂成 28香 同圭 同銀 同馬 37桂 同馬 48玉 同馬 まで 60手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
		馬	馬	王	馬	馬			一
									二
		歩	歩	歩	歩	歩			三
									四
									五
									六
									七
					銀				八
									九

持駒 なし

橋本孝治 2位

条件が多くて面倒そう…と最初は手を付けなかったのですが、むしろ条件がヒントになる「親切な条件」でした。究極の「堂々巡り」に1票。

5位 推 32 DD++ 2011/12
詰将棋メモ 第51回出題 2番
24年の龍の年 11手

3pt

「今年の指し初めは縁起がよかったよ」
「どんな将棋だったんだい」
「24年の龍年の1月1日に指した将棋が、24龍まで11手の詰みで勝ったんだよ」
「へえ、それはおめでたい話だ」
「相手もゲンを担いだのか最初に24に着手してたよ」
さて、どんな将棋だったのだろうか？

26歩 24歩 25歩 42玉 26飛 32玉 36飛 23玉 33飛成 14玉 24龍 まで 11手

詰上り図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	銀	金		金	銀	科	皇	一
	飛						馬		二
	歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	三
							龍	王	四
							歩		五
									六
	歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	七
	角								八
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	九

持駒 歩2

はなさかしろう 2位

これぞ年賀詰め。

5位 推 37 ミニペロ 2011/10

詰工房オールカマー2011 推-1

9手

3pt

- ・ 9手で詰んだ
- ・ 5手目は5筋以外
- ・ 6手目は角頭
- ・ 7手目は銀の尻
- ・ 8手目は金銀以外の駒

76歩 72銀 66角 71金 93角不成 92飛 71角不成 61玉 62金 まで 9手

詰上り図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	角	王		馬	科	皇		一
飛		馬	金				馬		二
	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	三
									四
									五
		歩							六
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
							飛		八
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	九

持駒 歩

たくぼん 2位

この角のルートはまさに想定外。昨年度1番の完敗。

8位 推 35 一乗谷酔象 2011/10

第37回 WFP 作品展 37-7

指す手がないから仕方がない 29手

2pt

博士「盤上の理論もいいけど、やっぱり実戦が一番。たまには一局やるか」

助手「はい。私の先手番でいいですね。では。お願いします」

・・・ 29手目先手の着手の後、
30手目後手の手番で・・・

博士「まだ、詰まされていないけど後手に指す手がないから仕方ないね。負けました」
 助手「ありがとうございます。感想戦をお願いします」
 博士「ゆるめすぎたか。でも、難しい将棋だったから徹底的に分析してみよう。
 ふむ、この将棋は1～6の数字に関連づけて特徴づけられそうだ」

博士「①1手も指せる手のないスタイルメイトになったのは29手目着手後、30手目後手番の局面だった」
 助手「続けますよ。②2回連続して王手をかけました。③3回連続して不成の手を指しました」
 博士「④4回連続して玉の手を指した」
 助手「⑤5筋に駒を打ちました」
 博士「そして、最後は・・・⑥6手目は4手目と同種の駒の手を指し、6手目と同じ筋に8手目を指した」
 助手「最後の条件が苦しそうですが・・・」
 博士「最短手数スタイルメイトが完璧に分析できたな」

さて、六つの特徴のある「最短手数スタイルメイト」とはどのような将棋でしょうか？
 二人の会話を元に推理してください。

76歩 62玉 33角生 24歩 22角生 94歩 56角 93香 83角生 12香 61角生 84飛 13角生 74飛 31角成 13桂 43角成 72玉 41馬 83玉 63馬 84玉 74馬 95玉 15飛 25歩 53馬 62銀 同馬 まで 29手

詰上り図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	科								一
			馬					皇	二
皇	歩							科	三
歩	馬								四
王							歩	飛	五
		歩							六
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
							飛		八
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	九

持駒 金2銀2歩6

たくぼん 3位

解けなかったので1票。最終図の想定がなかなか難しい。

8位 推36 一乗谷酔象 2011/11
 第38回WFP作品展 38-11修正
 至高のスタイルメイト 29手

2pt

博士「君も腕を上げたな。今度は私が先手番でいいね」
 助手「はい。では。お願いします」

・・・ 29手目先手の着手の後、
 30手目後手の手番で・・・

助手「負けました。まだ、詰まされていないけど後手に指す手がないから仕方ありません。21手目に初王手をかけられたところではまだまだと思ったんですけど・・・馬で取られた駒を三段目に打たれ、更に次の手で三段目の駒を取られてしびれました。私のどの手が悪かったのでしょうか」

博士「4手目と8手目に香の手を指した序盤が甘かったね。でも、君のおかげで『至高のスタイルメイト』が完成したよ」

さて、至高のスタイルメイトとはどのような将棋でしょうか？

二人の会話を元に推理してください。

76歩 42金 33角成 92香 22馬 14歩 21馬 13香 31馬 32金 53馬 84歩 63馬 42玉 73馬 33玉 82馬 24玉 93馬 15玉 95飛 85歩 71馬 33金 61馬 24金 33角 93桂 43馬 まで 29手

詰上り図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
皇									二
科					馬	角	歩	皇	三
							王	歩	四
飛	歩							王	五
		歩							六
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
							飛		八
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	九

持駒 金銀2桂歩6

橋本孝治 3位

修正図ということで多少ためらいはありますが、条件付けのシンプルさを考えると、「指す手がないから仕方がない」よりこちらに票を入れたくなります。元になった「亀山・片岩解」とは逆の玉位置というのもポイントが高いです。

8位 推11 KG 2011/5

詰将棋メモ 第44回出題 2番

打歩詰を知らない二人 (A) 11手

2pt

A君「さっき隣でやってた将棋見たかい？」
 B君「ああ、11手目に指した手が打ち歩詰めだったやつだね」
 A君「そうそう。どうやら二人とも打ち歩詰めが禁じ手だって知らなかったみたいだね」
 B君「つまり打ち歩詰めは禁じ手ではないが、それ以外は通常の指し将棋と同じルールで二人とも対局していたってことだね」
 A君「そして、11手目に持ち駒の歩を打って相手玉を詰ませて終局したわけだ」
 B君「そういうことだね」
 A君「確か、1手目と2手目は玉の手だったね」
 B君「それから、3手目と4手目は歩の手だったよ」
 A君「そうそう、7手目は不成の手だったよね」
 B君「えっ？7手目は駒を成る手じゃなかったっけ？」
 どうやら、A君とB君は両隣の全く別手順の将棋を見ていたようです。
 二人の見ていた将棋はそれぞれどういう将棋だったのでしょうか。

58玉 52玉 76歩 54歩 33角不成 42銀 同角不成 66角 51銀 57角不成 53歩 まで 11手 詰上り図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	銀	銀	銀	銀	科	皇		一
	銀			王	角				二
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	三
				歩					四
									五
		歩							六
歩	歩		歩	銀	歩	歩	歩	歩	七
				王			飛		八
香	桂	銀	金		金	銀	桂	香	九

持駒 なし

はなさかしろう 3位

初手の意味が斬新でした。

8位 推2 タラパ 2011/2

詰将棋メモ 第41回出題 2番

止めはどれも銀(1) 11手

2pt

盛大に開催された、第41回推理将棋全国大会の会場にて。

ぼく「いやぁ派手な将棋を見たよ。先手が3手目に3筋で王手をかけたと思ったら、5手目は4筋で王手、7手目は5筋で王手と、次々に左隣の筋に移して、最後まで王手をかけ続けたんだ」

A君「僕もそんな将棋を見たよ」
 B君「僕の見たのもそんな将棋だったね。これだけ対局があれば似た将棋もあるさ」
 ぼく「でもね、最後まで大駒を成る手がなかったんだ。珍しいだろ？」
 A君、B君「同じ同じ」
 ぼく「え？まさか、止めは銀の手じゃないよね？」(※)

A君、B君「銀の手だったよ」
 全員「どうやら僕たちは3人とも、同じ将棋を見ていたんだね」
 ぼく「たった7手で詰まされた後手、気の毒で見てられなかったよねえ」
 A君「7手だって？違うさ、11手で詰んだんだよ」
 B君「何言ってるんだ。15手だよ、15手で詰み。間違いない」

どうやら、3人とも別の将棋を見ていたようです。ぼくの見た将棋は、言うまでもなく76歩、54歩以下53銀までの7手なのですが、A君、B君の見た将棋とは？

76歩 52金右 33角不成 42銀 同角不成 62玉 53角不成 61玉 62銀 72玉 71銀成 まで 11手



詰上り図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	全			季		科	皇	一
	飛	玉		季			角		二
歩	歩	歩	歩	角	歩		歩	歩	三
									四
									五
		歩							六
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
							飛		八
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	九

持駒 銀歩2

DD++ 次点

同じ条件で7手11手15手と3手順を成立させる妙技。でもこれは投票をあわせて1作枠にしたほうがよいような。

はなさかしろう 次点

延伸というモチーフが素晴らしい。

8位 推 30 DD++ 2011/11

詰将棋メモ 第50回出題 3番

南無三! 150手

2pt

「さっきあっちで『南無三!』って叫んでたけど何があったの?」

「3枚も歩を成って、たった15手で詰ませたものだからつい。」

「『南無三!』ってことは、成った場所は7筋と6筋と3筋?」

「うん。順番はバラバラだけどね。」

さて、どんな将棋だったのだろうか?

36歩 74歩 35歩 75歩 34歩 76歩 33歩成
77歩成 73歩 72歩 同歩成 67と 62歩 52金
右 61歩成 まで 15手



詰上り図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	銀	と	玉	季	銀	科	皇	一
	飛	と		季			角		二
歩	歩		歩	歩	歩	と	歩	歩	三
									四
									五
									六
歩	歩		入	歩	歩		歩	歩	七
	角						飛		八
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	九

持駒 なし

DD++ 3位

この妙手入り15手を簡素1条件で限定したのは自画自賛しても許されるレベルだと思っています。とはいえさすがに1位に自作を推す勇氣はありませんでしたので3位くらいで(笑)

13位 推 21 KG 2011/8

詰将棋メモ 第47回出題 3番

五段にならねば五段になれぬ 10手

1pt

「昨日のプロ対局は見物だったな」

「先手も後手も五段昇格がかかっていたからね」

「結果は10手で詰ませた後手が五段になったよね」

「俺それ見逃したんだ。どういう将棋だったか教えて」

「後手が五段になったんだ」

「それはさっき聞いた」

「いや、そうじゃなくて。後手が五段目に駒を成る手を指したんだ」

「あ、そういうことか。他に覚えていることは無いか?」

「確か、不成の手が4回もあったよ」

「へえ」

「それから偶数筋への着手は5手目のみだったね」

さて、どんな将棋だったのだろうか?

58玉 34歩 59金左 77角不成 48金直 59角

不成 11 角不成 95 角成 55 角不成 59 金 まで 10 手

詰上り図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	將	将	王	将	將	科		一
	飛								二
歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	三
						歩			四
銀				角					五
									六
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
				王	金		飛		八
香	桂	銀		将		銀	桂	香	九

持駒 香

DD++ 次点

解いて初めて会話の真のオチがわかるという構成は斬新。

1 3 位 推 26 鈴川優希 2011/10
詰将棋メモ 第 495 回出題 2 番
とどめは 4 七金 10 手

1pt

「隣の将棋、3 手目の 6 八玉まで見てたけど、あの後どっちが勝ったんだい？」
「10 手目の 4 七金で先手が詰まされてた。角の手が 2 連続したのが印象的だったなあ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

56 歩 34 歩 68 玉 77 角不成 57 玉 59 角成 66 角 69 馬 46 歩 47 金 まで 10 手

詰上り図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	銀	将	王	将	將	科	皇	一
	飛								二
歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	三
						歩			四
									五
			角	歩	歩				六
歩	歩		歩	王	将	歩	歩	歩	七
							飛		八
香	桂	銀	銀		金	銀	桂	香	九

持駒 なし

DD++ 次点

48 玉形の第一感を素敵に外してくれる見透かしたような構成がお見事。

1 3 位 推 3 タラパパ 2011/2
詰将棋メモ 第 41 回出題 3 番
止めはどれも銀 (2) 15 手

1pt

盛大に開催された、第 41 回推理将棋全国大会の会場にて。

ぼく「いやあ派手な将棋を見たよ。先手が 3 手目に 3 筋で王手をかけたと思ったら、5 手目は 4 筋で王手、7 手目は 5 筋で王手と、次々に左隣の筋に移して、最後まで王手をかけ続けたんだ」

A 君「僕もそんな将棋を見たよ」
B 君「僕の見たのもそんな将棋だったね。これだけ対局があれば似た将棋もあるさ」
ぼく「でもね、最後まで大駒を成る手がなかったんだ。珍しいだろ？」
A 君、B 君「同じ同じ」
ぼく「え？まさか、止めは銀の手じゃないよね？」(※)

A 君、B 君「銀の手だったよ」
全員「どうやら僕たちは 3 人とも、同じ将棋を見ていたんだね」
ぼく「たった 7 手で詰まされた後手、気の毒で見てられなかったよねえ」
A 君「7 手だって？違うさ、11 手で詰んだんだよ」
B 君「何言ってるんだ。15 手だよ、15 手で詰み。間違いない」

どうやら、3 人とも別の将棋を見ていたようです。ぼくの見た将棋は、言うまでもなく 76 歩、54 歩以下 53 銀までの 7 手なのですが、A 君、B 君の見た将棋とは？

76 歩 74 歩 33 角不成 42 銀 同角不成 62 玉 53 角不成 73 玉 64 角不成 84 玉 73 角不成 85 玉 86 歩 94 玉 95 銀 まで 15 手



詰上り図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	銀	金		金		科	皇	一
	飛						馬		二
歩	歩	角	歩		歩		歩	歩	三
王		歩							四
銀									五
	歩	歩							六
歩			歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
							飛		八
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	九

持駒 歩2

DD++ 次点

同じ条件で7手11手15手と3手順を成立させる妙技。でもこれは投票をあわせて1作枠にしたほうがよいような。

1 3位 推 27 タラパパ 2011/10
詰将棋メモ 第49回出題 3番
負けて恥かくなり 10手

1pt

「駒打ちがないのに駒取りが5回、激しい将棋だったねえ」

「端に角を成って勝ったと思ったのに、たった10手で詰まされて恥かいちまったよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

76歩 44歩 同角 42飛 35角 47飛不成 13角成 同角 58玉 57飛成 まで 10手

詰上り図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	銀	金	王	金	銀	桂	皇	一
									二
歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	馬	三
									四
		歩							五
歩	歩		歩	王		歩	歩	歩	六
				王			飛		七
									八
香	桂	銀	金		金	銀	桂	香	九

持駒 歩2

はなさかしろう 次点

好手 35角。

1 3位 推 17 DD++ 2011/7
詰将棋メモ 第46回出題 2番
鯨飲馬食 11手

1pt

「この11手で詰んだ将棋おもしろいな」
「初期位置のままの歩を馬が5枚も食ったのか」
「鯨飲馬食とはよく言ったものだ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

76歩 62玉 33角成 72玉 43馬 77角成 68飛 67馬 53馬 57馬 63馬 まで 11手

詰上り図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	銀	金		金	銀	桂	皇	一
	飛	王							二
歩	歩	歩	馬				歩	歩	三
									四
									五
		歩							六
歩	歩			王	歩	歩	歩	歩	七
			飛						八
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	九

持駒 歩4

DD++ 次点

かなり滑稽な応酬が1条件で限定。よくできた問題だと思うので自分で1票。

【推理将棋総評】

橋本孝治

例によって自分が解いた範囲での投票です。詰将棋メモの出題は解いていないので、こちらで出題されている方々には申し訳ありません。

はなさかしろう

更に記憶に残る作品を探したら一昨年のお題でした。時の経つのは速いです。

若林

あまり解いていない中から1作だけ。個別に投票はしませんが、ステイルメイト作品も鑑

賞者として楽しませて頂いたことを触れておきます。

変寝夢

わからないので推せません。一乗谷氏のが強烈な印象だが。

【総評】

DD++

推理将棋部門ですが、WFP お気に入り投票をさせていただきます。

★ 投票ありがとうございます。宣伝頂きありがとうございます。もう少し投票者数が増えるといいのですがねえ。来年もよろしく願いいたします。

はなさかしろう

推理将棋しかわかりませんが、楽しかった作品に投票します。

★ 初投票ありがとうございます。また初受賞おめでとうございます。来年もよろしく願いします。

酒井博久

十分とは言えませんが、ひととおりの目を通すことはできたので投票します。

★ 体調崩された中、投票ありがとうございます。

【その他】

若林

長 11 のパリティは以前ナイトの研究（という名の文献あさり）をしたときに身につけていたので、4 手目が自動的に決定することにはすぐに気づけました。まあその程度ですぐ解けるほど甘くはないのですが、かなり読み幅は狭くなります。最終回ということではほとんど回答を送信しようかと思ったのですが、送りそびれ。

中 31 は雲海氏作があるので見送りましたが、ある種のバージョンとしてはとても好きです。

がんばろう日本！ 祈念作品展、難しかったけど名作ぞろいだったなあ、と書いていたら今(4/1 23:06 東京)地震がありました。うーん。やはりちょいと落ち着きませんね。

40-7 (安南 4 連柱出現) は久しぶりに衝撃のある短編でした。来年投票をするならばおそらく有力候補でしょう。

そういえば推理将棋系が増えたので Top"IX"ではないなあ、とか思いましたがまあ気持ちの問題でこのままいくのが良いでしょう。

これからもサイレント気味とは思いますが、密かに応援させていただくとともに楽しませてもらいます。

神無太郎 (受賞コメント依頼時)

なんだか大変なことになっていますね。たくぼんさんからのメールを最初に見たときには、受賞作一覧が書いてあるのかと思えました。普段、詰将棋にはほとんど興味を示さない嫁さんもそのメールには見入っていました。もちろん、ここぞとばかりに「コメントいっぱい書かないといけない。めんどくさいなあ」と強がってみせましたよ。フェアリーをやってて何ですが、私は結構保守的です。なので、最近やっとステイルメイトの可能性に気づき始めたところで、昨年から集中的に研究した成果が今回の事態を引き起こしたということなのだろうと思いません。今後も気持ちの赴くままにフェアリーと戯れたいと思います。

はなさかしろう (受賞コメント依頼時)

このような場を設けて下さいます本当にありがとうございます。来年もまたたくさん投票できるような優れた作品に出会えることを楽しみにしています。

雲海 (受賞コメント依頼時)

お久しぶりです。雲海です。もう桜の散る時期なのに、詰将棋に関しては最近冬眠中です。。。さて Fairy TopIX の受賞のお知らせを頂き、ありがとうございます。とても嬉しいです。そして Fairy TopIX の投票を忘れてごめんなさい。メールを頂くまですっかり忘れてました (恥)

★ 2011 年は「新約・神話大全」発行含め神無太郎氏の年と言ってもよいでしょう。今年は果たしてどんな作品が発表されることか・・・新しい作家の登場も期待したいところです。

(たくぼん)

背面ばかり自殺スタイルメイト詰の紹介

by 小林看空

対面/背面はよく双対で紹介されることが多いので、いっしょに解説します。ネコネコ鮮同様、発案は、1972年(昭和47年)京都大学将棋部ということです。「対鮮/逆対鮮」という名称でしたが、1990年ころの改名論争や、1987年から始動したfmへのサポートもあって、定着、現在の名称になりました。さて、ルールです。

【対面】 敵駒と向かい合うと、互いに利きが入れ替わる。

【背面】 敵駒と背中合わせになると、互いに利きが入れ替わる。といったシンプルなものです。

それでは例題をみてみましょう。

注

chess に倣って、

ばかり詰 3手 ⇒ h#3

ばかり詰 5手 ⇒ h#5

ばかり自殺詰 6手 ⇒ hs#6

ばかりスタイルメイト詰 3手 ⇒ h=3

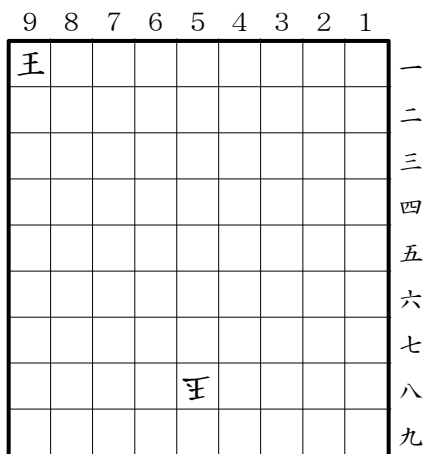
ばかり自殺スタイルメイト詰 6手 ⇒ hs=6

2解 ⇒ 2sol.

と書くことにします。これの方が簡素です。chess は条件を下に書くので、そうします。

今回は hs= という形のものしか出てきませんが、また、(特別)ルールでもし最終手が歩打で目的達成の場合は、打歩スタイルメイトで禁手ということでお願いします。

(1)例題



持駒 歩

hs=18 背面

18手という手数の長さに驚かないでください。最初の10手は必然です。

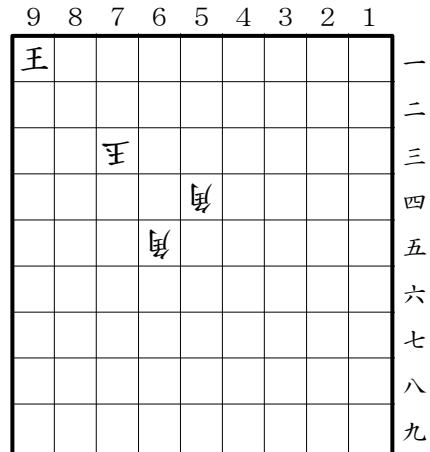
玉一枚ではスタイルメイトは難しいので、玉方の駒が発生(背駒といいます)

しないことには、話になりません。

また玉は王に近づくことになりますので、手順は必然的に。

59歩 57玉 58歩 56玉 57歩 55玉 56歩 54玉 55歩 53玉 54歩 63玉 53歩成 54角 64と 65角打 73と 同玉 まで 18手

(1)例題詰め上がり図



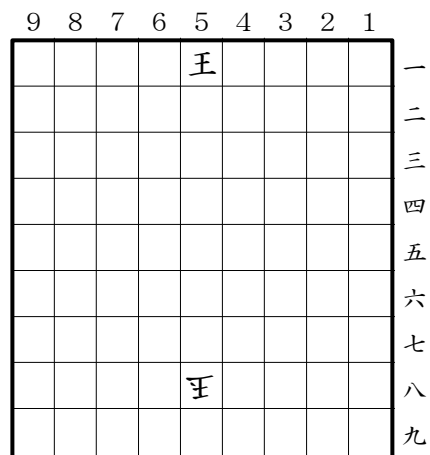
持駒 なし

hs= 背面

角角の背駒で目的達成です。

もう一題みてみましょう。

(2)例題



持駒 歩

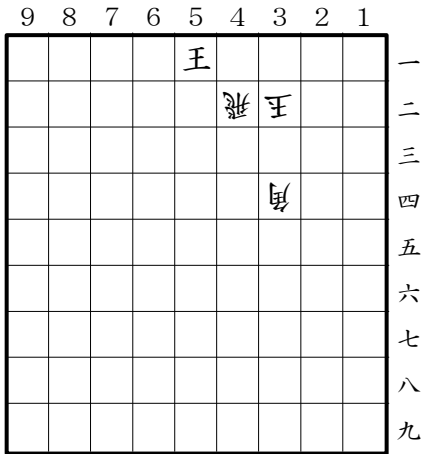
hs=20 背面

これも手数が長いですが、最初の13手位までは必然です。

59歩 57玉 58歩 56玉 57歩 55玉 56歩 54玉 55歩 53玉 54歩 43玉 53歩成 32玉 43

と 44 飛 33 と 34 角 42 と 同飛 まで 20 手

(2) 例題詰め上がり図



持駒 なし

hs=背面

飛車角の背駒で目的達成です。

=====

それでは作品を。

詰アルプスで出題した(評判のよかった)短手数
のものです。

みんなでわいわいがやがや解いて、楽しい作品
を並べました。

1 題でも解けましたら、ご解答ください。

解答はたくぼんさんのところへお願いします。

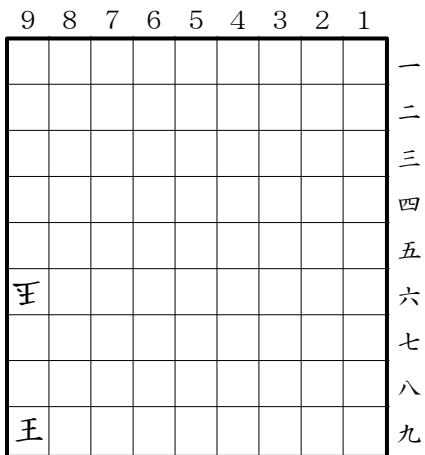
解答送り先

たくぼん : takuji@dokidoki.ne.jp

解答締切 : 2012 年 5 月 15 日

★詰アルプスの皆様解答よろしくお願ひします。
(たくぼん)

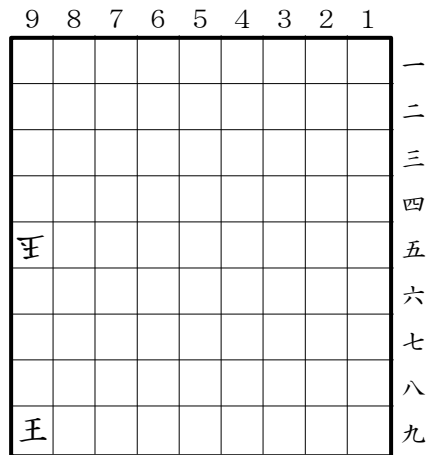
(3)



持駒 角

hs=4 背面

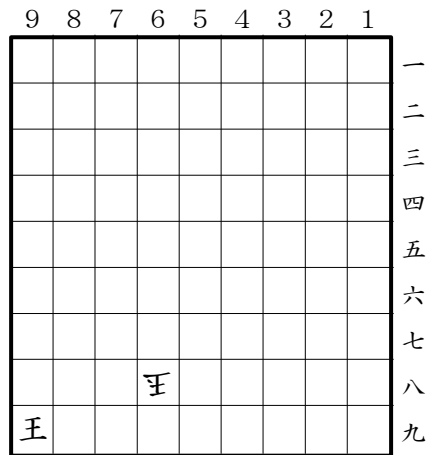
(4)



持駒 角

hs=4 背面

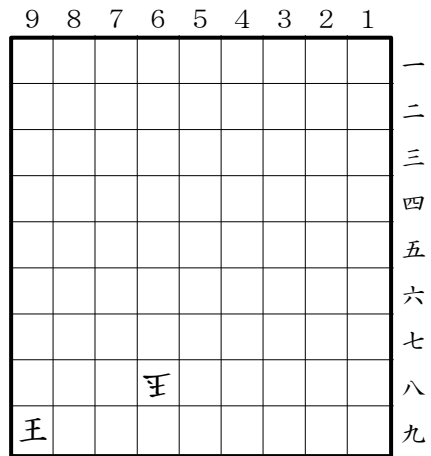
(5)



持駒 角

hs=4 背面

(6)



持駒 角2

hs=4 背面

(7)

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一										
二	王									
三										
四										
五										
六										
七										
八										
九	王									

持駒 香2

hs=4 背面

(8)

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一										
二										
三										
四										
五										
六	王									
七										
八										
九	王									

持駒 桂香

hs=4 背面

(9)

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	王									
二		王								
三										
四										
五										
六										
七										
八										
九										

持駒 歩

hs=4 背面

(10)

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	王									
二		王								
三										
四										
五										
六										
七										
八										
九										

持駒 桂

hs=4 背面

(11)

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一										
二										
三										
四										
五		王								
六										
七										
八	王									
九										

持駒 飛

hs=4 背面

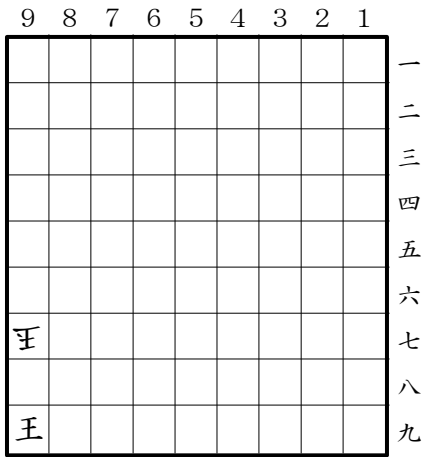
(12)

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一										
二										
三										
四										
五										
六		王								
七										
八										
九				王						

持駒 金

hs=6 背面

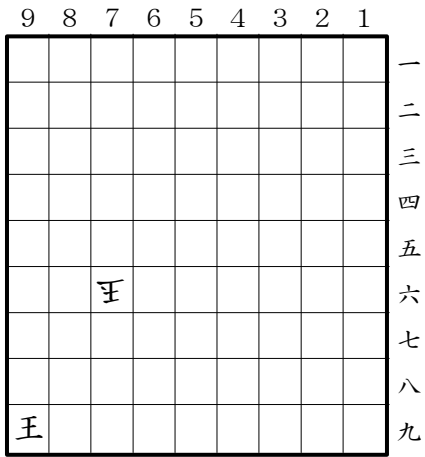
(13)



持駒 飛桂

hs=6 背面

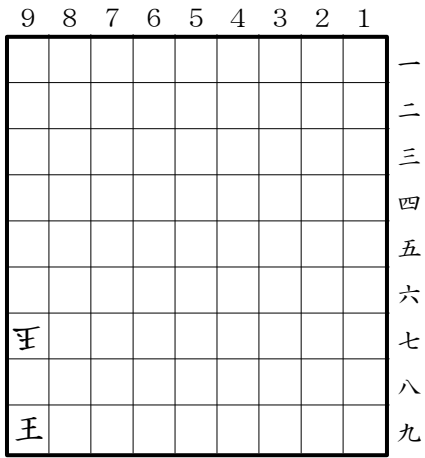
(14)



持駒 飛桂

hs=6 背面 2sol.

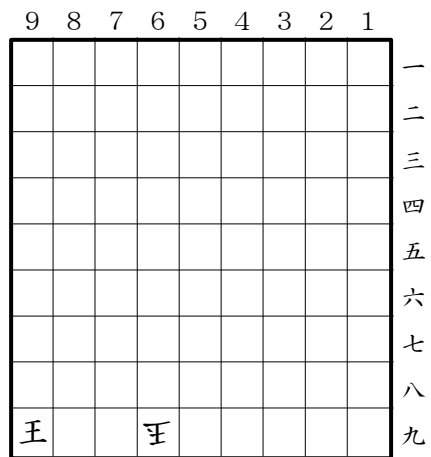
(15)



持駒 桂2

hs=6 背面

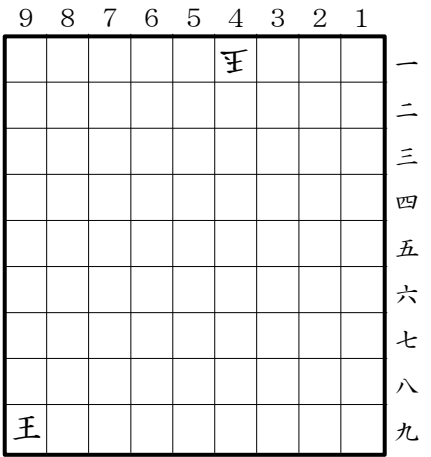
(16)



持駒 角2

hs=6 背面 2sol.

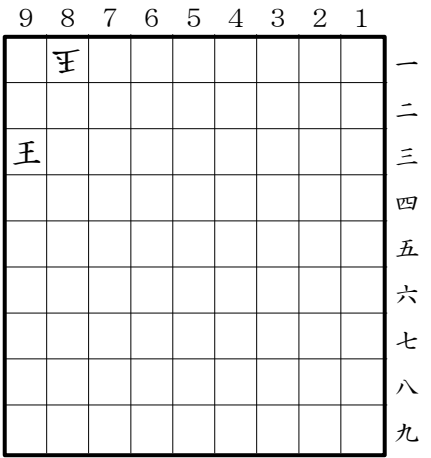
(17)



持駒 角2

hs=6 背面 2sol.

(18)



持駒 香2

hs=6 背面

(19)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	王								一
飛									二
王									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 香2

hs=6 背面

(20)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
王									一
									二
王									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 角桂

hs=6 背面

(21)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
王			王						一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 香2

hs=6 背面

(22)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
		王							一
									二
王									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 桂歩

hs=6 背面

(23)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	王								一
									二
王									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 香歩

hs=6 背面

(24)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
王									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
								王	九

持駒 角2

hs=6 背面

■ Anagram-1

アナグラム協力詰 6手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

			王						一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金

【解答】

53 金 43 金

52 金打 53 金

43 金 52 金打 まで 6手

☆ まずは基本問題。

先後の対応が分かり易いように、2手ずつ縦に並べてみました。

最後が「52 金打」になるよう、受方は 53、52 の順に指します。逆順に指すと 4 手目が「同金」になるのも不都合です。

詰上りに必要な着手から考えるのはアナグラム詰を解く際の基本です。

■ Anagram-2

アナグラム協力詰 8手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								王	一
							飛		二
									三
									四
								飛	五
									六
									七
									八
									九

持駒 桂2

【解答】

14 桂 35 桂

23 桂 26 桂

35 桂 14 桂

26 桂 23 桂 まで 8手

☆ これは「同」を避ける問題。

2 手目 26 桂、4 手目 35 桂にすると、5 手目が「同桂」になってしまいます。その分、攻方に「同桂」を加えようとしてもうまくいきません。

詰上りを先に考えると 23 桂の形は容易に分かるでしょう。逆に 21 桂成の手などは、受方が指すことができないので、初めから除外して構いません。小駒で「成」「不成」の表記を生じる着手を避けるのもアナグラムの手筋です。また、単玉では玉を動かす手も除外しましょう。

■ Anagram-3

アナグラム協力詰 14手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								王	一
									二
						歩			三
									四
							歩		五
									六
									七
									八
									九

攻方持駒 銀2

受方持駒 銀2

【解答】

23 銀 34 銀

12 銀打 25 銀

34 銀 13 歩

同銀 14 銀

25 銀 同銀

14 銀 23 銀

13 歩 12 銀打 まで 14手

☆ こちらは「同」を活用する問題。

アナグラムに参加する駒種が 2 種（本作では銀と歩）になると格段に難しくなります。基本的には「12 銀打」または「22 銀打」の筋を狙うのですが、銀成や銀不成の手が出ないよう、なるべく上部で駒交換が起こる手順を選ばねばなりません。

普通に考えるとそんなことはできないのですが、「同」を使って別の地点の着手を同一表記にすれば可能です。それが 7 手目と 10 手目の「同銀」。前者は 13 への着手、後者は 25 への着手ですが、表記上同一の着手となるのです。

以上

WFP 作品展登場ルールのまとめ

(第30～41回)

担当：神無七郎

私が担当を開始した第30回以降のWFP作品展で実際に出题されたルールをまとめてみました。説明の詳しさにバラツキがあったり、例図がないなど、不足な点多々ありますが、簡易リファレンスとしてご利用いただければと思います。

1. 先後の戦略に関するもの

普通の詰将棋は攻方（王手を掛ける側）が、どう受けられても詰む手を選び、受方（王手を外す側）は手数が最も長くなる受けを選ぶ。しかしフェアリーでは先手や後手が別の戦略を採ることがある。

「どのような手を選ぶか」という先手・後手の戦略に関わる変則ルールをここに挙げる。

【協力詰】

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

【補足】

- ・通称「ばか詰」。
詰パラではこの呼称で表される。
- ・ここでは「協力詰」と書いたが、これは「目的」が「詰」の場合である。目的が変われば「協力千日手」のように変化する。「協力自玉詰」のように、詰める対象が変わる場合もある。

【最悪詰】

攻方はなるべく相手玉が詰まないように王手し、受方はなるべく早く自玉が詰むように応じる。

【補足】

- ・「詰める側」と「詰みを防ぐ側」が通常とは逆になっている。このため用語も逆になっており、「紛れ」を受方に、「変化」を攻方に使う。

2. 目的に関するもの

普通の詰将棋の目的は「詰」（王手が掛かって合法的な応手がない状態）であるが、これを変更したルールもある。

【スタイルメイト】

王手は掛かっていないが合法手のない状態にする。

【補足】

- ・「協力自玉スタイルメイト」の形で出题される場合が多い。
- ・単玉の自玉スタイルメイトの場合は、単に合法手のない状態。

【千日手】

先後協力して最短手数で初形局面に戻す。

【補足】:

- ・「協力千日手」の形で出题される場合が多いが、理論上は他の戦略にも適用できる。

3. 対象に関するもの

普通の詰将棋で詰める対象は受方の玉であるが、これを変更したルールもある。より一般的に言えば攻方を「目的」の状態にすること。

【自玉詰】

攻方の玉を詰める。

【補足】

- ・「自玉詰」は「自殺詰」とも呼ばれる。
詰パラではこの呼称で表される。
- ・「目的」が「詰」以外の場合は、「自玉スタイルメイト」のように変化する。
- ・単玉で自玉がなくても、攻方を「目的」の状態にできるなら「自玉」と呼ぶ。

4. 性能変化

何らかの条件が満たされると駒の性能が変化するルールをここにまとめる。「行きどころのない駒」や、「二歩」の扱いにはくれぐれも注意！

【対面】

敵駒と向かい合ったとき、互いに利きが入れ替わる。

【背面】

敵駒と背中合わせになったとき、互いに利きが入替わる。

【騎面】

八方桂の位置にある敵駒の利きに駒の利きが変わる。異なる複数の敵駒がある場合はそれらを合成した利きを持つようになる。

【安南】

味方の駒が縦に並ぶと、上の駒の利きは下の駒の利きになる。

【安北】

味方の駒が縦に並ぶと、下の駒の利きは上の駒の利きになる。

【安騎】

八方桂の位置にある味方駒の利きに駒の利きが変わる。異なる複数の味方駒がある場合はそれらを合成した駒の利きを持つようになる。

【マドラシ】

同種の敵駒が互いの利きに入ると、利きがなくなる。ただし、玉は互いの利きに入ることはできない。

[補足]

- ・玉が互いの利きに入れ、利きがなくなるものは「Kマドラシ」と表す。
- ・成駒と生駒は別種の駒として区別する

[性能変化ルール全般的の補足]**(1) 二歩について**

性能変化ルールで「玉を取ったとき、二歩になる手を有効とするか否か」でルール設定が分かれる。これを有効とするのが「利き二歩有効」、無効とするのが「利き二歩無効」。何も書いていなければ、WFP 作品展では前者の設定を適用する。

(2) 行きどころのない駒について

性能変化ルールでは、性能変化により利きが復活しうる位置であれば、一時的に利き所の無い駒の存在も許される。具体的には以下のようなになる。

安南：何も問題なし

安北：一段目の桂香歩は禁止

対面：一段目の桂香歩は禁止

背面：何も問題なし

WFP 作品展では他の性能変化ルールでも特に指定がない限り、この方式を適用する。

5. 手の選択に関するもの

条件によって手が制限されたり、禁手の概念が変更されたもの。

「詰み」や「王手」の概念が通常通りかどうか、くれぐれも注意！

【取禁】

手順中に駒を取る手があってはならない。

【全取禁】

駒を取る手は禁手。詰み等の概念も駒を取れないことを前提とする。

[補足]

- ・取禁で詰み等の概念も駒を取れないことを前提とする場合は「全」を付ける。

【成禁】

手順中に成る手があってはならない。

【強欲】

駒を取る手を優先して着手を選ぶ。

[補足]

- ・逆に、駒を取らない着手を優先するのが「禁欲」。

【打歩】

打歩詰以外の詰手を禁手とする。これは先後双方に再帰的に適用される（完全打歩）。

[補足]

- ・打歩以外の詰手を禁手とする場合は「完全打歩」、打歩以外の詰手を単なる失敗と扱う場合は「単純打歩」と呼ぶ。

【Isardam】

同種の敵駒の利きに入る手を禁止する。玉を取ると同種の敵駒の利きに入る場合は王手とみなさない。(タイプA)

[補足]

- ・玉を取るとき敵駒の利きに入るかどうかを問わない場合は、「タイプB」。
- ・成駒と生駒は別種の駒として区別する

【千日手禁】

同一局面が4回現われる手を禁手とする。

[補足]

- ・将棋の実戦と異なり、連続王手かどうかは無関係。持駒の駒数が無限の場合は、有限回の増減があっても同一とみなす。

【Koko】

着手は、そのまわりの8マスに何らかの駒が存在するような地点のみ有効。王手にもこの条件は適用される。

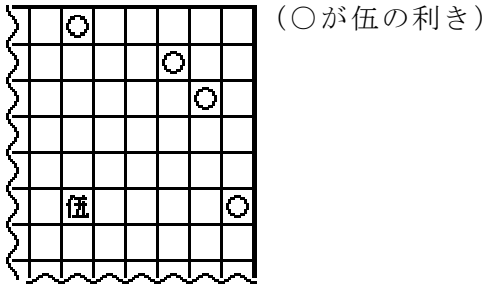
6. フェアリー駒

フェアリーでは、通常の将棋駒とは異なる駒を使う場合がある。そのような駒は無限に考えられるが、ここでは WFP 作品展で実際に出題されたものだけを紹介する。

中将棋系の駒は「成」のルールが面倒なので、成らない設定で出題されることも多い。

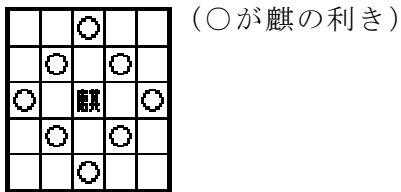
【Five-Leaper】(伍)

Five-Leaper はフェアリーチェスの駒。距離 5 のマスに跳ぶ。



【麒麟】(麒)

中将棋の麒麟。斜めと 1 間跳んだ前後左右に利く。



7. 復活系ルール

駒を取られたときや取ったときの挙動が通常と異なるものを、ここでまとめて説明する。

【キルケ】

駒が取られると最も近い将棋での指し始め位置に戻される。戻せないときは持駒になる。

〔補足〕

戻り方等は以下の細則に従う

- 1) 成駒は生駒になって戻る。
- 2) 戻り位置が埋まっていたり、二歩や行き所の無い駒になったりする場合は戻れない。
- 3) 駒取り時、駒が戻るまでを一手と見なす。
- 4) 金銀桂香（成駒も含む）が 5 筋で取られ、複数の戻り先候補がある場合、戻る位置を選択できる。

【アンチキルケ】

駒取りがあったとき取った方の駒が、最も近い将棋での指し始め位置に戻される。

〔補足〕

戻り方等は以下の細則に従う

- 1) 成駒は成ったまま戻る。
- 2) 戻り位置に駒があったり、自玉に王手が掛かっていたりするため、戻れない場合は戻らない。
- 3) 駒取り時、駒が戻るまでを一手と見なす。
- 4) 金銀桂香（成駒も含む）が 5 筋で駒取りを行い、複数の戻り先候補がある場合、戻る位置を選択できる。片方にのみ戻れる場合は強制的にそちらに戻る。

8. その他

以上の分類に属さないものをここでまとめて説明する。

【受先】

受方から指し始める。

〔補足〕

- ・手数の偶奇やルールから判別できる場合は省略されることもある

【手余り可】

最後に攻方持駒が余っても良い。

【駒詰】

玉が指定駒の性能になる。

〔補足〕

- ・指定駒が成れる駒の場合、玉も成れる。
- ・玉の性能が変わるだけなので、指定がない限り、使用できる駒種・駒数は通常通り。
- ・ルール名は玉がどの駒になるか分かるよう「駒名＋玉」で表わす。例えば玉が龍の性能の場合は「龍王詰」。
- 「駒名＋玉」としないのは“大人の事情”。
- 例えば玉の性能が金の場合…（以下略）。

【二玉詰】

複数の玉のどれかを詰ます。
王手もどれかの玉に掛ければ良い。
王手を外せなければ詰み。

〔補足〕

- ・玉が 3 枚以上の「多玉詰」も「二玉詰」で表す。

【非標準駒数】

使用駒の数や種類が通常と異なる。

【持駒：∞】

指定駒を無限に持っていることを示す。
指定が特でない場合は、全種類の駒を無限に持っていることを示す。

【非連続王手】

攻方に王手の義務がない。
(王手をしても良い)

【n 解】

解が複数あり、指定された n 個の解を求める
出題形式。

【レトロ -m/n 手】

m 手逆算して n 手で詰む手順を求める。

【推理将棋】

将棋についての会話をヒントに将棋の指し
手を復元する。

■ 41-9 改 一乗谷酔象氏作解答

▲76 歩 △42 飛
▲33 角成 △32 銀
▲同馬 △33 角
▲43 馬 △32 飛
▲33 馬 △同飛
▲32 角 △43 飛
▲同角成 △32 金
▲33 銀 △43 金
▲32 銀成 △33 金
▲43 飛 △42 角
▲同飛成 まで 21 手

各条件を満たすことを赤字で示します。

条件：

- 1) 21 手目に 2 回目の王手で詰み
→ 9 手目、21 手目
- 2) 駒を打った場所は四カ所
→ 32(11 手目)、33 (15 手目)、43(19 手目)、
42(20 手目)
- 3) 駒を成った場所は四カ所
→ 33(3 手目)、43(13 手目)、32(17 手目)、
42(20 手目)
- 4) 小駒の着手点は四カ所だけ
→ 76(初手)、32(4,14,17 手目)、
33(15,33 手目)、43(16 手目)
- 5) 大駒の着手点は四カ所だけ
→ 42(初手,20,21 手目)、33(2,6,8,9,10 手目)、
32(5,7,11 手目)、43(7,12,13,19 手目)
- 6) 2 手目以降の着手点は、ある 2×2 の範囲内の四カ所だけ
→ 2 手目以降 32,33,42,43 の 2×2 枠内
- 7) 先手の着手に (棋譜上) 重複なし
→ 上記棋譜で確認できる
- 8) 後手の着手に (棋譜上) 重複なし
→ 上記棋譜で確認できる

(問題文は P24.25 に掲載)

前回のWFP 45号に神無太郎氏の読み物「絨毯爆撃免許皆伝?!」が載っていました。面白い記事でこれを読んだ他の人がfm使ってまた面白い図を見つけてくれるといいなあ、と思いました（基本他人任せ）。

ところで、この記事の中で何故か（笑）拙作の図が取り上げられていてビビりました。太郎さんの直感が「この構図は何か甘い気がする」と思ったのでしょうか。爆撃の結果はこれを上回る枚数の発見に至らず。やれやれと思ったんですが、太郎さんの文面に気になる箇所を見つけました。

----- 以下 引用 -----

左下の空き枡が最善なのか（もっと龍を配置できないのか）、と思って勝手に確かめてみました。

作意の78手まで（下図参照）に動く駒は稠密な配置になっています。

----- 引用終わり -----

ここでは、「左下の空き枡が最善なのか」と「もっと龍を配置できないのか」が等価として扱われているのですが、厳密にいうとこの二つは完全に一致ではないはずです。

「78手までに動く駒は稠密」なので、ここまでは最善と思いたくなりますが、実はここまですべて稠密に埋めたせいで後半に無理が生じ、左下の空き枡が多くなっているのかもしれません。

（前半の稠密さに比べ後半がスカスカすぎるので視覚的に太郎さんが「もっと置けるのではないか?」という疑問を持ったとも考えられる）

ということで、全体を触ってみたら、こんな図が見つかりました。

【図1】

ばか自殺スタイルメイト 94手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	王		龍	龍	龍	龍	龍	龍		
二		龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	
三		龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	
四		龍		龍	龍	龍	龍	龍	龍	
五		龍			龍	龍	龍	龍	龍	
六		龍				龍	龍	龍	龍	
七							龍	龍		
八		王		龍	龍	龍	龍	龍		
九										

持駒なし

ただしこの図も行き当たりばったりで探して見つけた図なので、さらに配置できる図があるかもしれません。「それこそ絨毯爆撃を使えばいいじゃないか!」と思われるかもしれませんが、例えば1～8段目、1～8筋目に龍を配置する／しないの組み合わせを考えると2の64乗のパターンをチェックすることになります。

（だいたい1兆のさらに1000万倍）これは極端にしても、よく考えて爆撃をしないと一生かけてもfmのチェックが終わらないことになります。（要するに今回うまい爆撃方法を思いつかなかった）

今回の図と元の図を比べると、元の図は馬と龍の移動を妨害しないように斜めに配置できない部分があったので、1段目と1筋目の龍の配置を多少犠牲にしても斜めラインの自由を確保したことにより1枚龍の配置を増やすことに成功しています。

では今回の図の方が出題図としてよかったのか、と言われるとちょっと微妙です。氾濫出題図は少しとは言え龍の順番が変わります（本当に僅かですが）。一方今回の図はその僅かの順番の違いもなくほぼ同じ順で龍を動かせば解けます。ですので自分は2手犠牲にしても出題図としては前の図の方がよかったのではないかと思います。

龍を多く配置したい、ということについて言えば実はもう1図あります。

【図2】

ばか自殺スタイルメイト 98手
9 8 7 6 5 4 3 2 1

王						龍		王	一
	龍	龍	龍	龍	龍				二
龍	龍	龍				龍	龍		三
龍	龍	龍	龍				龍		四
龍	龍	龍	龍	龍			龍		五
龍	龍	龍	龍	龍	龍		龍		六
龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍		七
龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍		八
	龍	龍	龍	龍	龍				九

持駒なし

この「盤面をひっくり返す」というのは氾濫での出題図でも同じことができますが、最初が蛇足に感じたので出題図の方にしました。

今回の再検討でfmを使う前に、よくよく図について考えて作らなければいけないことを痛感させられました。

以上

解答募集締切一覧

ネットでのフェアリー詰将棋の解答募集締切一覧です。締切日が早いもの順です。解答先は各々異なりますのでお間違えにないように。

5月15日(火)

第42回WFP作品展(Aコース)

フェアリー作品 8作

Fairy of the Forest #31

協力詰 13作

背面ばか自殺ステイルメイト詰の紹介

背面ばか自殺スタイルメイト 22作

6月15日(金)

第42回WFP作品展(Bコース)

フェアリー作品 3作

推理将棋 1作

【あとがき】

今月は総会のシーズンです。4月に入ってからすでに3つ消化しました。そのうち2つは自分が資料を作る側ですので大変でした。作る苦労にもかかわらず、総会時は、質問・意見も出ず拍手パチパチで承認、はい終了。あの苦労は何だったんでしょう？と首を傾げたくになります。

今月あと1つと来月は2つとまだありますが、こちらは参加する側ですので気楽です。

WFPでは1年の総決算が、Fairy TopIX2011のお気に入り投票です。毎回投票者の投票状況を見ていると人それぞれでなかなか興味深いです。実際に解図した人と結果稿読んだだけの人の反応が違うのは当たり前ですし、投票したくなる雰囲気を持った作品というのも不思議にあるものです。詰パラの妖精賞は担当者1人が選ばれていますのでこれは完全に担当者の好みにかかわる所が大きいでしょうね。それだけに選考するのは大変だと思います。Fairy TopIXは数字で結果が出るので気が楽と言えば楽ですね。とは言えまだまだ投票者が少ないのは気になる所。WFPへ投稿や解答などどんどん参加していただける環境作りが今後の課題です。

しかし今月は解答者にとってはちょっとハード。発表作は47題！さあ皆さん早めに取り掛かってどしどし解答送ってくださいね。

たくぼん

2012年 第46号

Web Fairy Paradise

非売品

平成二十四年四月号

平成二十四年四月廿日発行

発行所 愛媛県新居浜市

発行兼編集人 須川卓二

発行所 Web Fairy Paradise 編集部

問合せ先 takuji@dokidoki.ne.jp